

平成29年度

境港市男女共同参画に関する市民意識調査

---

調査結果報告書

境港市

# 目 次

	ページ
調査の概要	1
I あなたご自身のことについて	3
II 男女共同参画全般について	5
III 仕事について	30
IV 子育て・介護について	38
V 地域活動等について	43
VI 政策・方針決定の場への参画について	46
VII 配偶者や恋人等から受ける暴力等について	52
VIII 今後の取り組みについて	63

## 調査の概要

### 《調査の目的》

この調査は、境港市男女共同参画推進計画「境港市女(ひと)と男(ひと)とのいきいきプラン」の見直しと今後の施策推進の基礎資料とするため実施した。

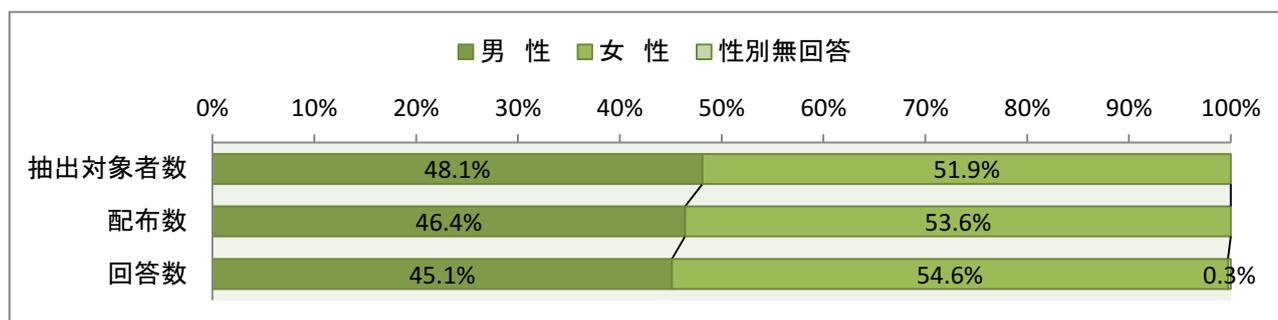
### 《調査の方法》

- ①調査対象… 市内に在住の満18歳以上の男女
- ②調査地域… 市内全域
- ③調査客体… 1,000人
- ④抽出方法… 起算日を平成29年4月1日として住民基本台帳からの無作為抽出  
※男女別のほか、町別・年齢別にも按分率を使用して抽出
- ⑤調査方法… 郵送
- ⑥調査期間… 平成29年8月1日～8月31日
- ⑦実施主体… 境港市総務部地域振興課
- ⑧調査項目…
  - I あなたご自身のことについて
  - II 男女共同参画全般について
  - III 仕事について
  - IV 子育て・介護について
  - V 地域活動等について
  - VI 政策・方針決定の場への参画について
  - VII 配偶者や恋人等から受ける暴力等について
  - VIII 今後の取り組みについて

### 《回答数》

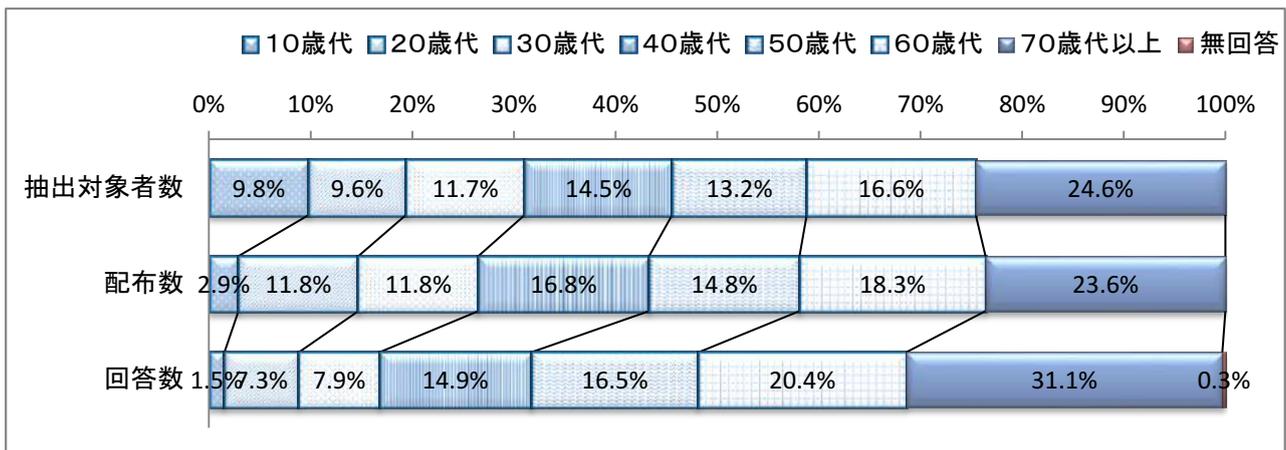
【性別】

区分	抽出対象者数		配布数		回答数		回答率
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
男性	15,087	48.1%	464	46.4%	148	45.1%	31.9%
女性	16,289	51.9%	536	53.6%	179	54.6%	33.4%
性別無回答					1	0.3%	
合計	31,376	100.0%	1,000	100.0%	328	100.0%	32.8%



【年齢階層】

区分	抽出対象者数		配布数		回答数		回答率
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
10歳代	3,081	9.8%	29	2.9%	5	1.5%	17.2%
20歳代	3,000	9.6%	118	11.8%	24	7.3%	20.3%
30歳代	3,661	11.7%	118	11.8%	26	7.9%	22.0%
40歳代	4,550	14.5%	168	16.8%	49	14.9%	29.2%
50歳代	4,150	13.2%	148	14.8%	54	16.5%	36.5%
60歳代	5,231	16.7%	183	18.3%	67	20.4%	36.6%
70歳代以上	7,703	24.6%	236	23.6%	102	31.1%	43.2%
無回答					1	0.3%	
合計	31,376	100.0%	1,000	100.0%	328	100.0%	33.8%



◎調査客体の抽出は、《調査方法》④に記載したとおり行ったが、回答者の性別・年齢構成は、上記のとおり差異が見られる。  
性別では女性の回答率がやや高くなっており、年齢別では40歳以上の回答率が高くなっている。

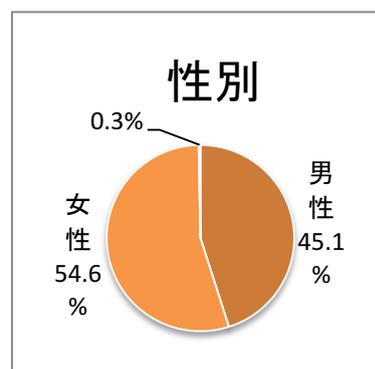
《調査結果のみかた》

- (1) 設問での調査結果の数値は、集計対象者数に対する回答率(%)で表記している。
- (2) 回答率(%)及び構成比率(%)は、少数点以下第2位を四捨五入し、第1位までを表記している。
- (3) 複数回答設問(「3つまで」「いくつでも」というように一対象者が一つの設問に対し複数の選択肢を選ぶことができる設問)においては、得られる回答率(%)は各選択肢に対する回答数の集計対象者数に対する百分率である。よって、各回答率(%)の合計は100%を超える。
- (4) 図表は、読みやすさを目的として各設問における選択肢を、回答がないものなどについて、適宜省略している箇所がある。

## I あなたご自身のことについて

### 【問1】性別

区分	人数	構成比
男性	148	45.1%
女性	179	54.6%
性別無回答	1	0.3%
合計	328	100.0%



### 【問2】年齢階層

区分	全体		男性		女性		性別無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
10歳代	5	1.5%	4	2.7%	1	0.6%	0	0.00%
20歳代	24	7.3%	11	7.4%	13	7.3%	0	0.00%
30歳代	26	7.9%	13	8.8%	13	7.3%	0	0.00%
40歳代	49	14.9%	25	16.9%	24	13.4%	0	0.00%
50歳代	54	16.5%	20	13.5%	34	19.0%	0	0.00%
60歳代	67	20.4%	33	22.3%	34	19.0%	0	0.00%
70歳代以上	102	31.1%	42	28.4%	60	33.5%	0	0.00%
無回答	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
合計	328	100.0%	148	100.0%	179	100.0%	1	100.0%

### 【問3】自身の職業

区分	全体		男性		女性		性別無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
勤め人(正規)	95	29.0%	61	41.2%	34	19.0%	0	0.0%
勤め人(非正規)	43	13.1%	11	7.4%	32	17.9%	0	0.0%
農林漁業	3	0.9%	2	1.4%	1	0.6%	0	0.0%
自営・自由・家業	24	7.3%	12	8.1%	12	6.8%	0	0.0%
家事専業	46	14.0%	0	0.0%	46	25.7%	0	0.0%
学生	7	2.1%	4	2.7%	3	1.7%	0	0.0%
無職	99	30.2%	54	36.5%	45	25.1%	0	0.0%
その他	10	3.1%	4	2.7%	6	3.4%	0	0.0%
無回答	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
合計	328	100.0%	148	100.0%	179	100.0%	1	100.0%

### 【問4】結婚(事実婚を含む)の状況

区分	全体		男性		女性		性別無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
結婚している	228	69.5%	107	72.3%	120	67.0%	1	100.0%
結婚していない	50	15.2%	28	18.9%	22	12.3%	0	0.0%
離別した	17	5.2%	6	4.1%	11	6.1%	0	0.0%
死別した	29	8.8%	5	3.4%	24	13.4%	0	0.0%
無回答	4	1.2%	2	1.4%	2	1.1%	0	0.0%
合計	328	100.0%	148	100.0%	179	100.0%	1	100.0%

【問4-1】共働き(事実婚を含む)の状況

区分	全体		男性		女性		性別無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
共働きをしている	95	29.0%	43	29.1%	51	28.5%	1	100.0%
夫婦ともに働いていない	59	18.0%	34	23.0%	25	14.0%	0	0.0%
夫のみ働いている	50	15.2%	20	13.5%	30	16.8%	0	0.0%
妻のみ働いている	16	4.9%	7	4.7%	9	5.0%	0	0.0%
無回答	108	32.9%	44	29.7%	64	35.8%	0	0.0%
合計	328	100.0%	148	100.0%	179	100.0%	1	100.0%

【問4-2】配偶者(パートナー)の職業

区分	全体		男性		女性		性別無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
勤め人(正規)	77	23.5%	22	14.9%	54	30.2%	1	100.0%
勤め人(非正規)	31	9.5%	22	14.9%	9	5.0%	0	0.0%
農林漁業	2	0.6%	0	0.0%	2	1.1%	0	0.0%
自営・自由・家業	20	6.1%	9	6.1%	11	6.1%	0	0.0%
家事専業	17	5.2%	13	8.8%	4	2.2%	0	0.0%
学生	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無職	70	21.3%	36	24.3%	34	19.0%	0	0.0%
その他	6	1.8%	2	1.4%	4	2.2%	0	0.0%
無回答	105	32.0%	44	29.7%	61	34.1%	0	0.0%
合計	328	100.0%	148	100.1%	179	100.0%	1	100.0%

【問5】家族の構成

区分	全体		男性		女性		性別無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
一人暮らし	44	13.4%	25	16.9%	19	10.6%	0	0.0%
夫婦のみ	92	28.1%	36	24.3%	56	31.3%	0	0.0%
親と子(2世代家族)	133	40.5%	59	39.9%	73	40.8%	1	100.0%
親と子と孫(3世代家族)	34	10.4%	15	10.1%	19	10.6%	0	0.0%
その他	21	6.4%	11	7.4%	10	5.6%	0	0.0%
無回答	4	1.2%	2	1.4%	2	1.1%	0	0.0%
合計	328	100.0%	148	100.0%	179	100.0%	1	100.0%

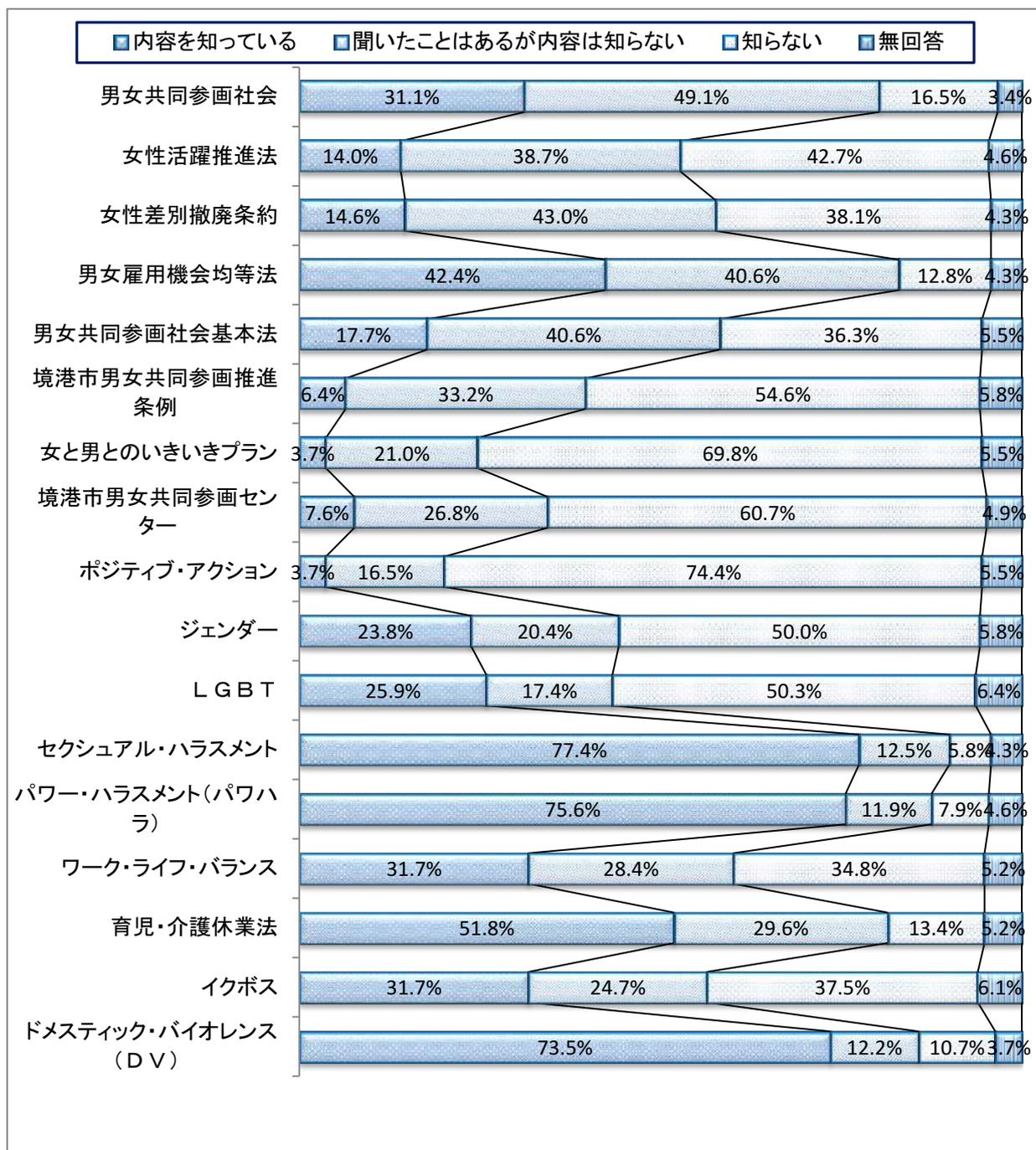
【問6】お子さんの状況

区分	全体		男性		女性		性別無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
未就学児	23	7.0%	10	6.8%	13	7.3%	0	0.0%
小学生	17	5.2%	10	6.8%	7	3.9%	0	0.0%
中学生・高校生	27	8.2%	14	9.5%	13	7.3%	0	0.0%
その他	117	35.7%	1	0.7%	115	64.2%	1	100.0%
子どもはいない	106	32.3%	79	53.4%	27	15.1%	0	0.0%
無回答	38	11.6%	34	23.0%	4	2.2%	0	0.0%
合計	328	100.0%	148	100.0%	179	100.0%	1	100.0%

## Ⅱ 男女共同参画全般についておたずねします

【問7】 あなたは次の言葉を聞いたことがありますか。(○はそれぞれ1つ)

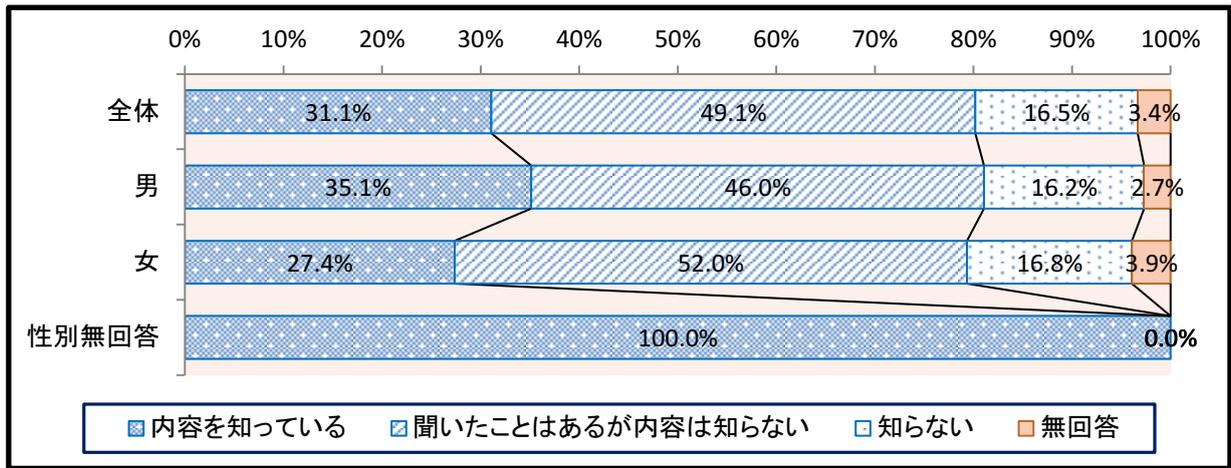
	項 目	内容を知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	知らない	無回答
1	男女共同参画社会	31.1%	49.1%	16.5%	3.4%
2	女性活躍推進法	14.0%	38.7%	42.7%	4.6%
3	女性差別撤廃条約	14.6%	43.0%	38.1%	4.3%
4	男女雇用機会均等法	42.4%	40.6%	12.8%	4.3%
5	男女共同参画社会基本法	17.7%	40.6%	36.3%	5.5%
6	境港市男女共同参画推進条例	6.4%	33.2%	54.6%	5.8%
7	女(ひと)と男(ひと)とのいきいきプラン	3.7%	21.0%	69.8%	5.5%
8	境港市男女共同参画センター	7.6%	26.8%	60.7%	4.9%
9	ポジティブ・アクション(積極的改善措置)	3.7%	16.5%	74.4%	5.5%
10	ジェンダー(社会的性差)	23.8%	20.4%	50.0%	5.8%
11	LGBT	25.9%	17.4%	50.3%	6.4%
12	セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)	77.4%	12.5%	5.8%	4.3%
13	パワー・ハラスメント(パワハラ)	75.6%	11.9%	7.9%	4.6%
14	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	31.7%	28.4%	34.8%	5.2%
15	育児・介護休業法	51.8%	29.6%	13.4%	5.2%
16	イクボス	31.7%	24.7%	37.5%	6.1%
17	ドメスティック・バイオレンス(DV)	73.5%	12.2%	10.7%	3.7%



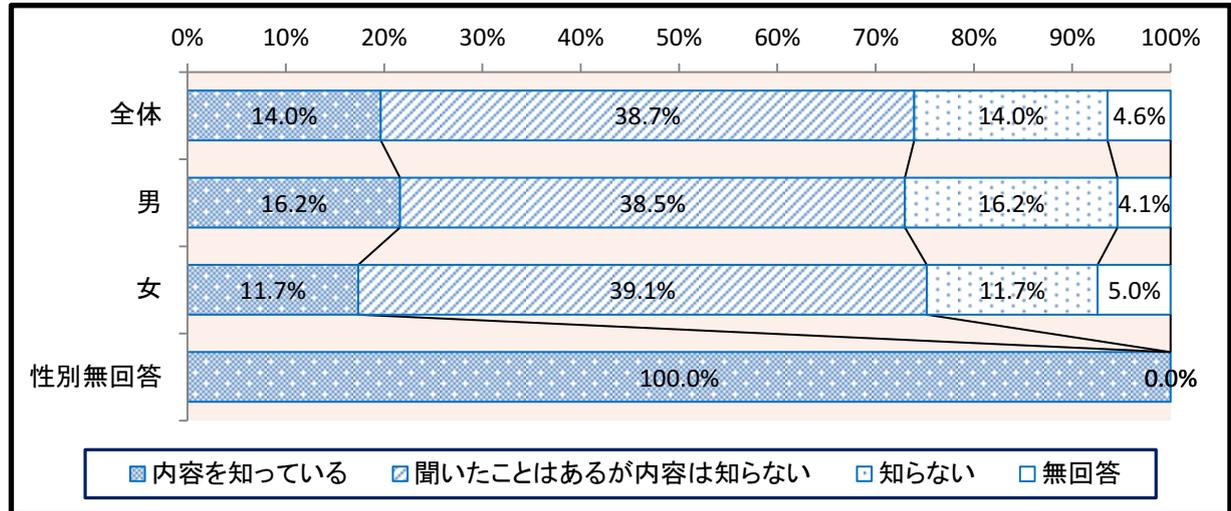
《分析》

- ◆「内容を知っている」割合は、『セクシュアル・ハラスメント』（77.4%）が最も高い。次いで『パワー・ハラスメント《パワハラ》』（75.6%）、『ドメスティック・バイオレンス《DV》』（73.5%）が高く、この3項目が7割を超えている。『境港市男女共同参画センター』（7.6%）、『境港市男女共同参画推進条例』（6.4%）、『女と男のいきいきプラン』（3.7%）は、いずれも1割未満となっている。
- ◆「聞いたことはあるが内容は知らない」割合は、『女性差別撤廃条約』（43.0%）、『男女共同参画社会』（49.1%）、『男女共同参画社会基本法』（40.6%）が、ほぼ横並びで高く、いずれも4割を超えている。
- ◆性別では、「内容を知っている」割合で、『男女雇用機会均等法』が、女性（38.6%）よりも男性（46.6%）が約10%高くなっているほかは、ほとんど違いは見られない。

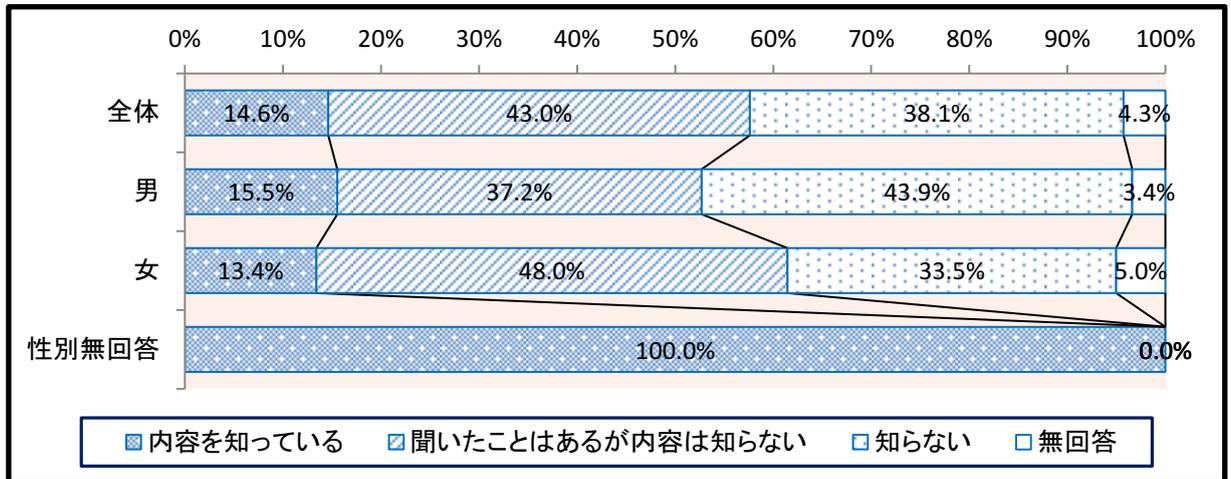
1 男女共同参画社会



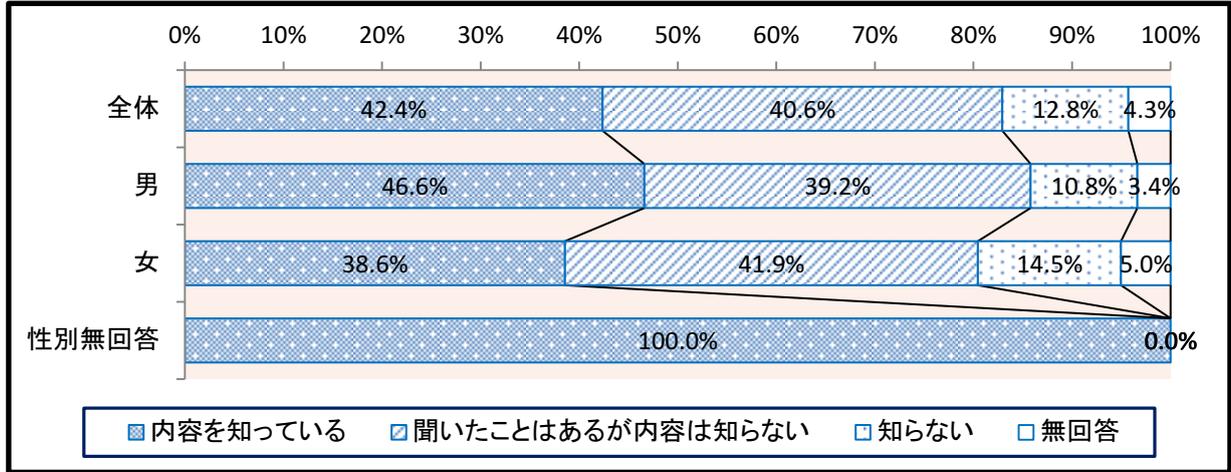
2 女性活躍推進法



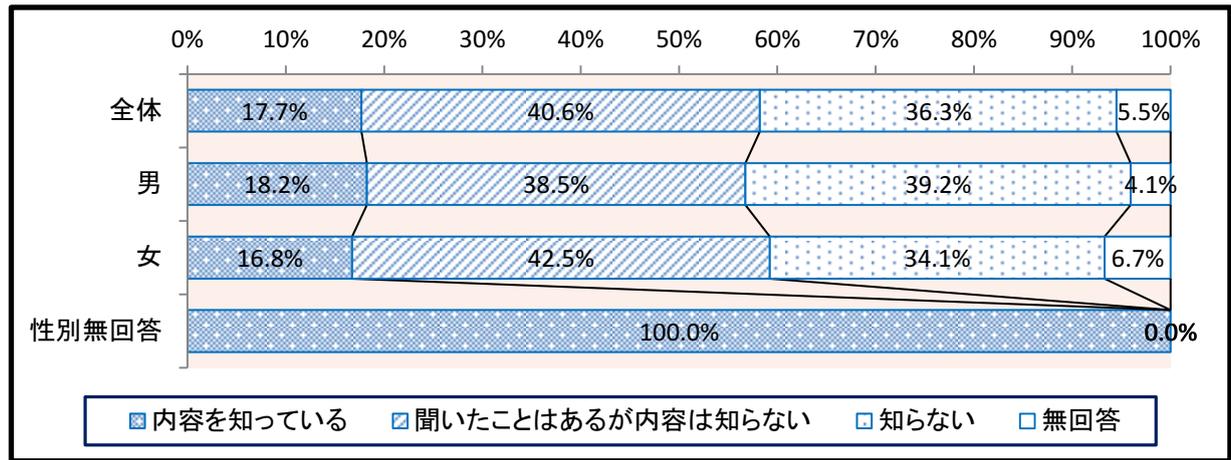
3 女性差別撤廃条約



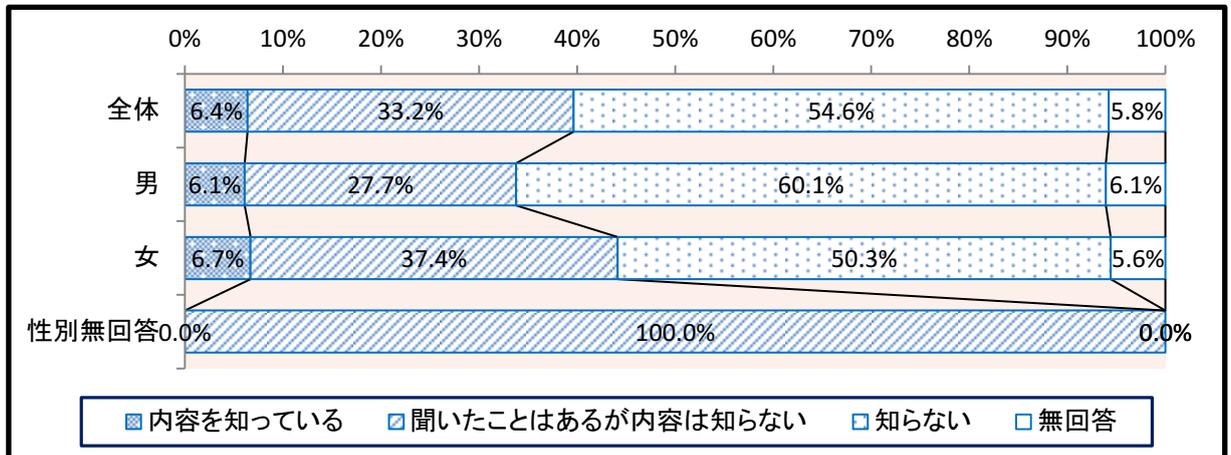
4 男女雇用機会均等法



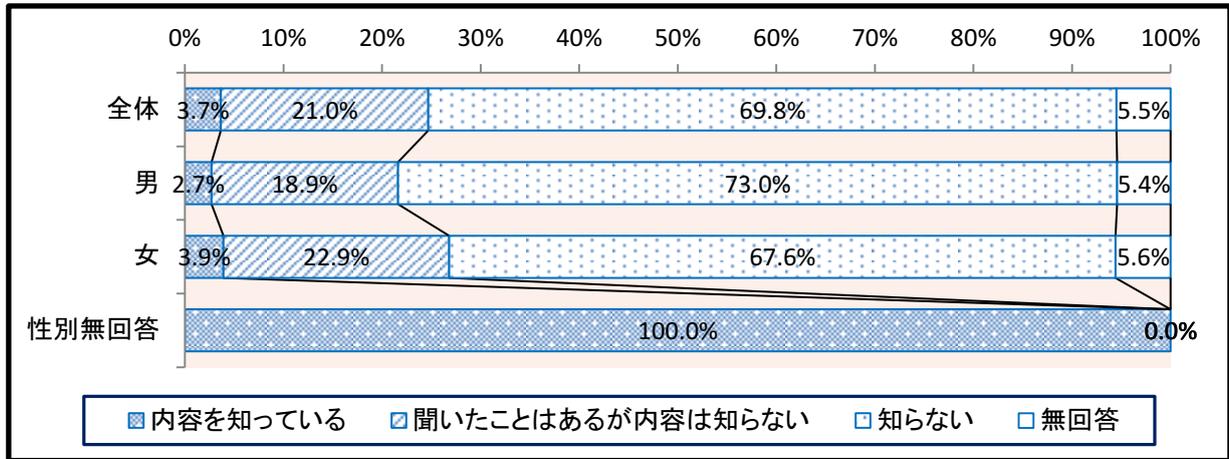
5 男女共同参画社会基本法



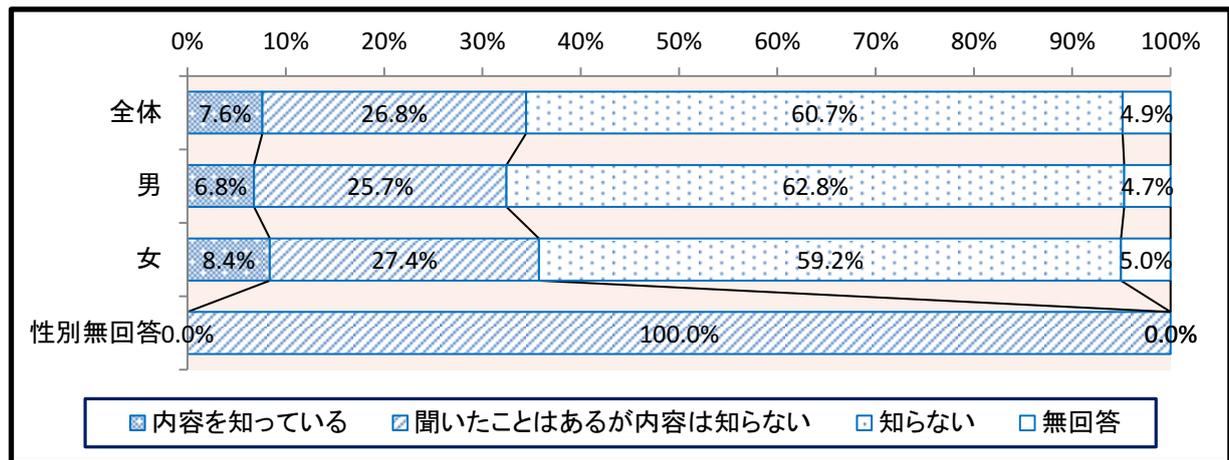
6 境港市男女共同参画推進条例



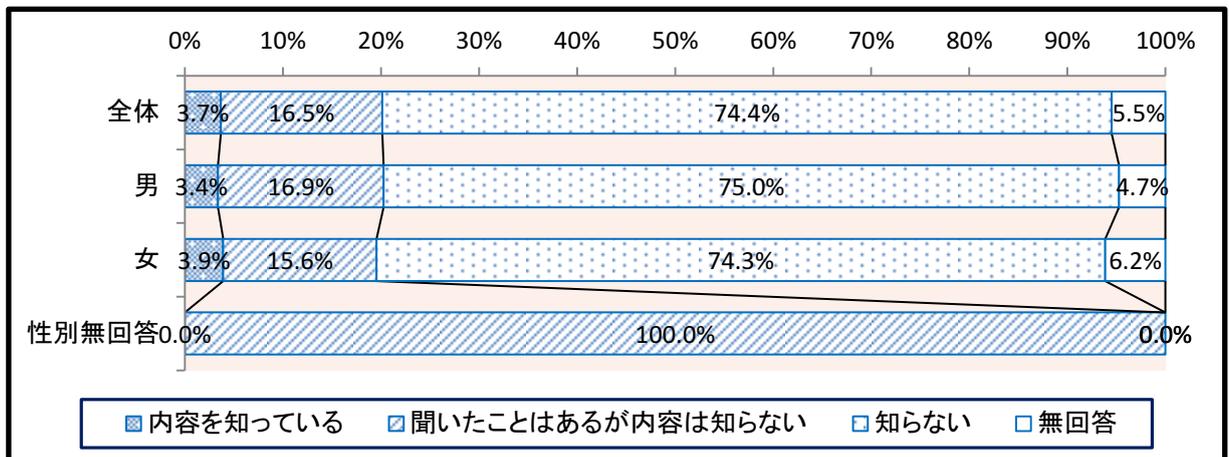
7 女(ひと)と男(ひと)とのいきいきプラン



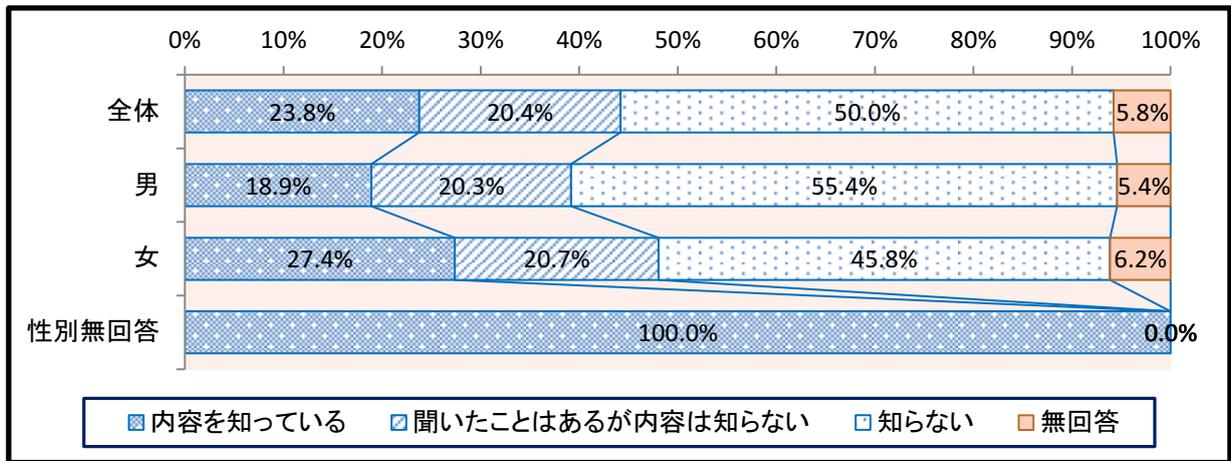
8 境港市男女共同参画センター



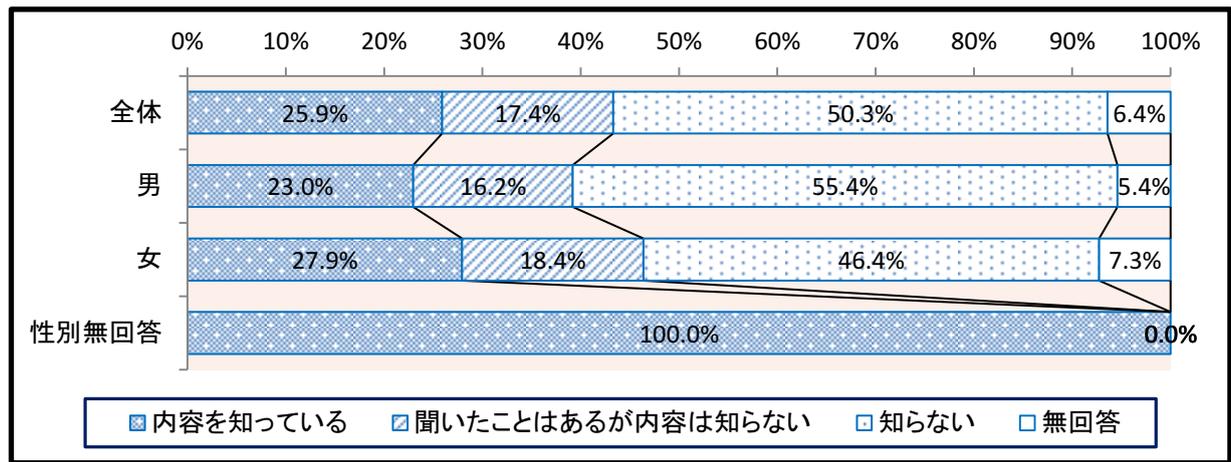
9 ポジティブ・アクション(積極的改善措置)



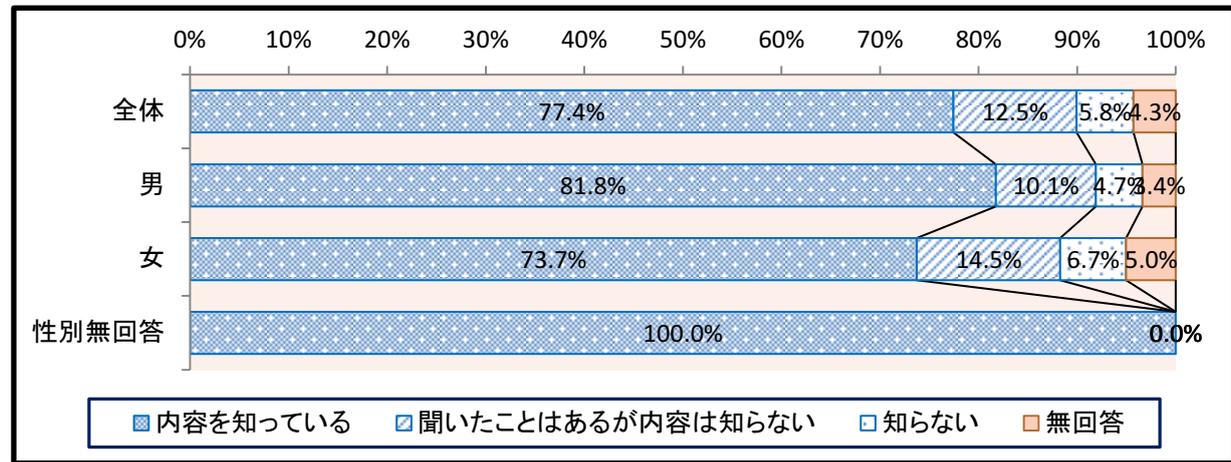
10 ジェンダー(社会的性差)



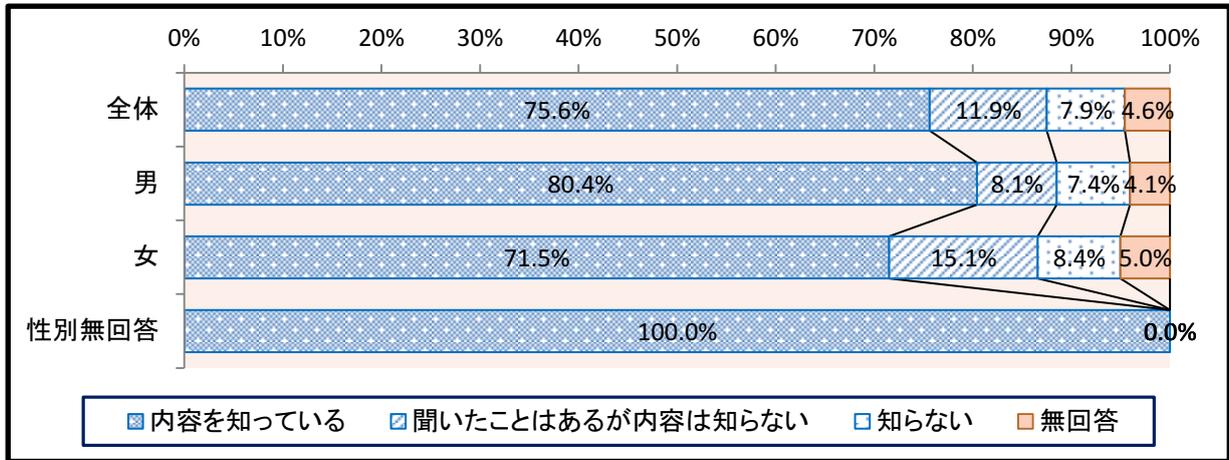
11 LGBT



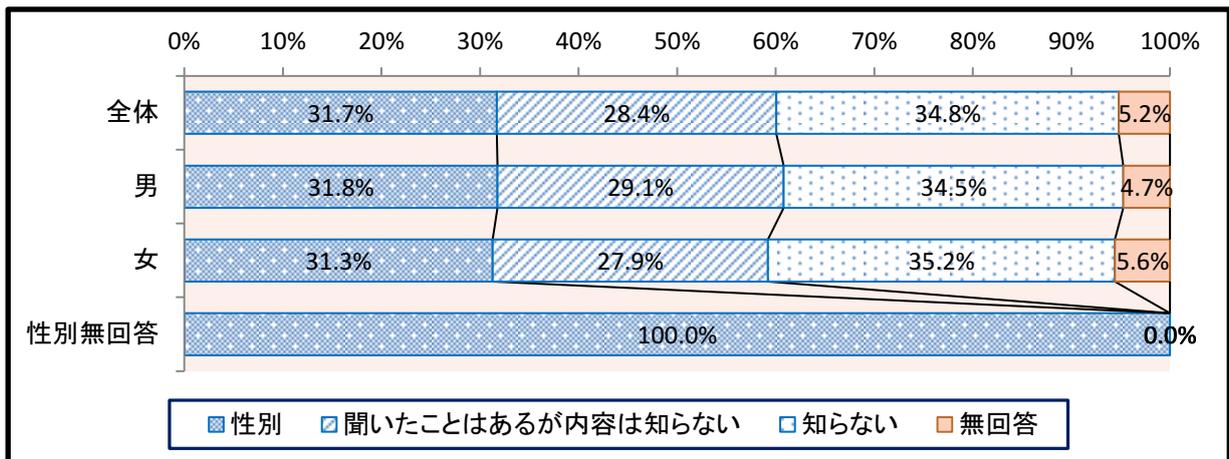
12 セクシュアル・ハラスメント《セクハラ》



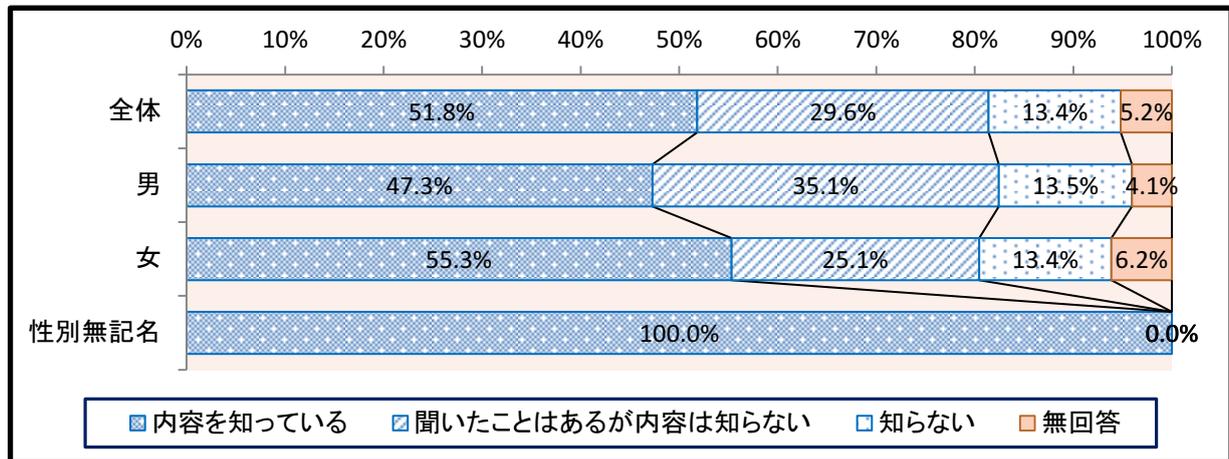
13 パワー・ハラスメント《パワハラ》



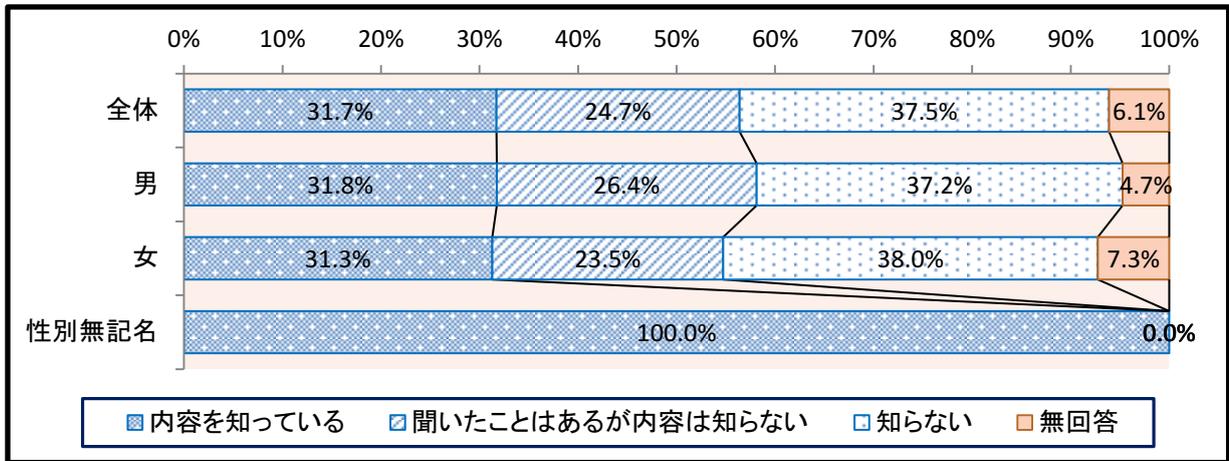
14 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)



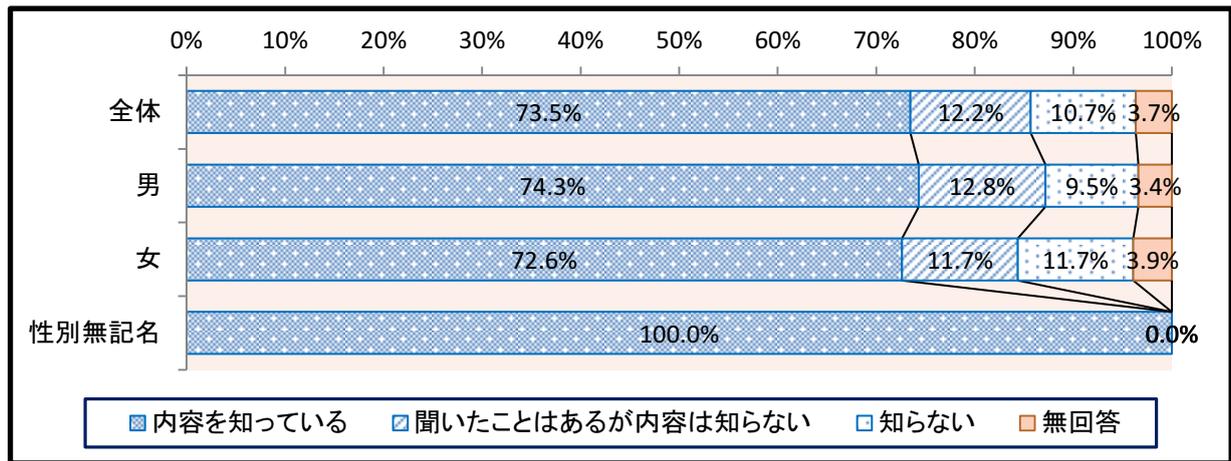
15 育児・介護休業法



16 | イクボス

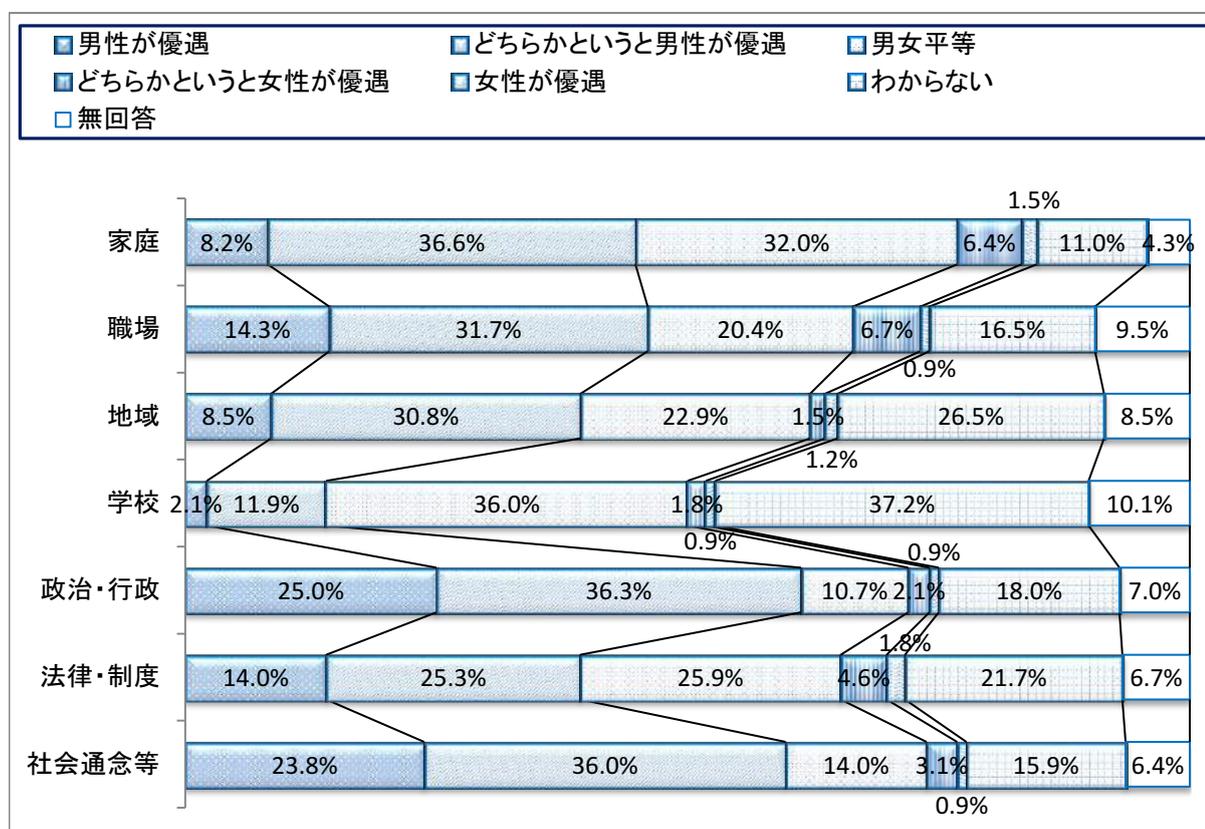


17 | ドメスティック・バイオレンス《DV》



【問8】あなたは次の各項目の分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(〇はそれぞれ1つ)

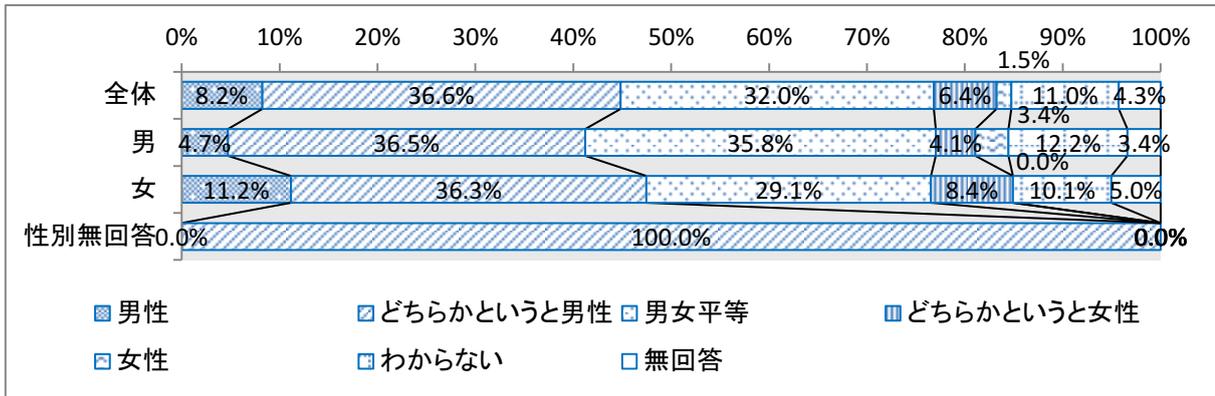
	項目	男性が優遇	どちらかという と男性が 優遇	男女 平等	どちらか という と女性 が優遇	女性が 優遇	わから ない	無回答
1	家庭で	8.2%	36.6%	32.0%	6.4%	1.5%	11.0%	4.3%
2	職場で	14.3%	31.7%	20.4%	6.7%	0.9%	16.5%	9.5%
3	地域で	8.5%	30.8%	22.9%	1.5%	1.2%	26.5%	8.5%
4	学校で	2.1%	11.9%	36.0%	1.8%	0.9%	37.2%	10.1%
5	政治や行政の場で	25.0%	36.3%	10.7%	2.1%	0.9%	18.0%	7.0%
6	法律や制度上で	14.0%	25.3%	25.9%	4.6%	1.8%	21.7%	6.7%
7	社会通念・慣習などで	23.8%	36.0%	14.0%	3.1%	0.9%	15.9%	6.4%



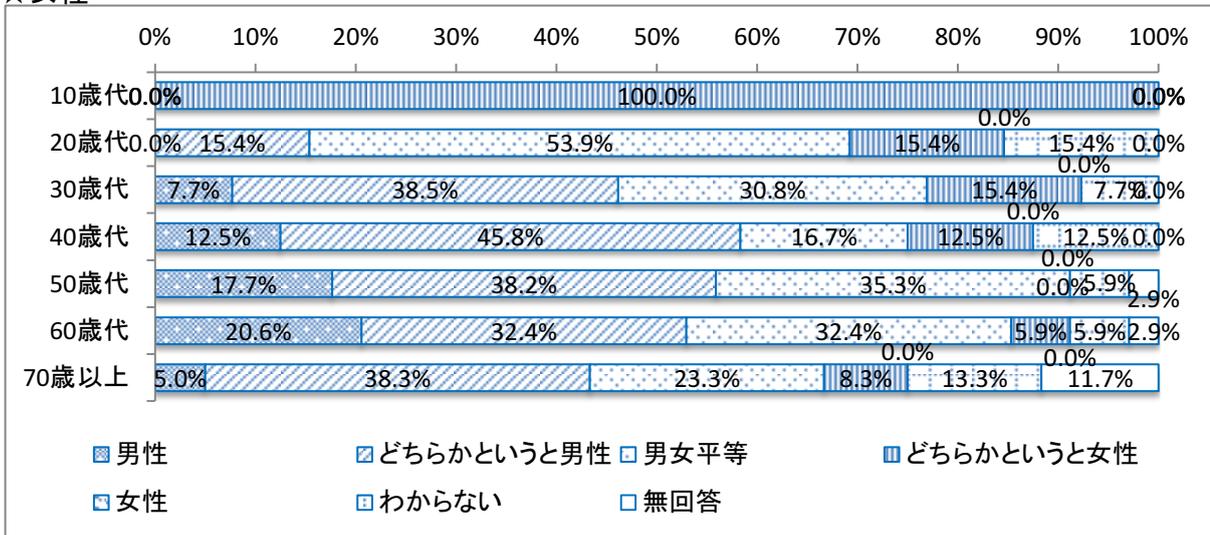
《分析》

- ◆「男性が優遇」「どちらかというと男性が優遇」を合わせた割合は、『政治・経済』（61.3%）と『社会通念・慣習など』（59.8%）が前回調査と同様に高くなっている。
- ◆「男女平等」の割合は、『学校』（36.0%）が最も高く、次いで『家庭』（32.9%）となっている。
- ◆「どちらかというと女性が優遇」「女性が優遇」を合わせた割合は、前回調査では、すべての項目で6%未満となっていたが『家庭』と『職場』が7%以上となっている。

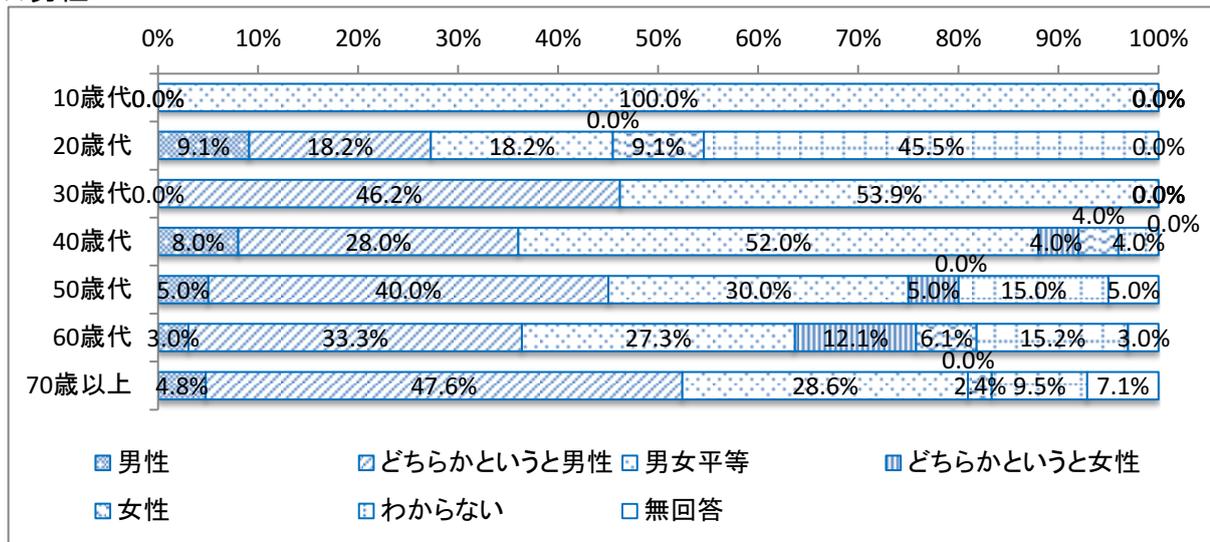
1 家庭で



★女性



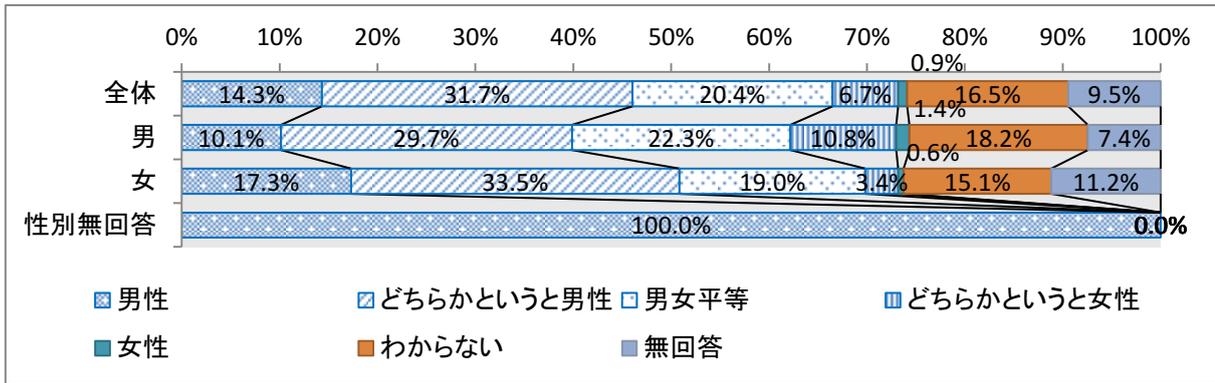
★男性



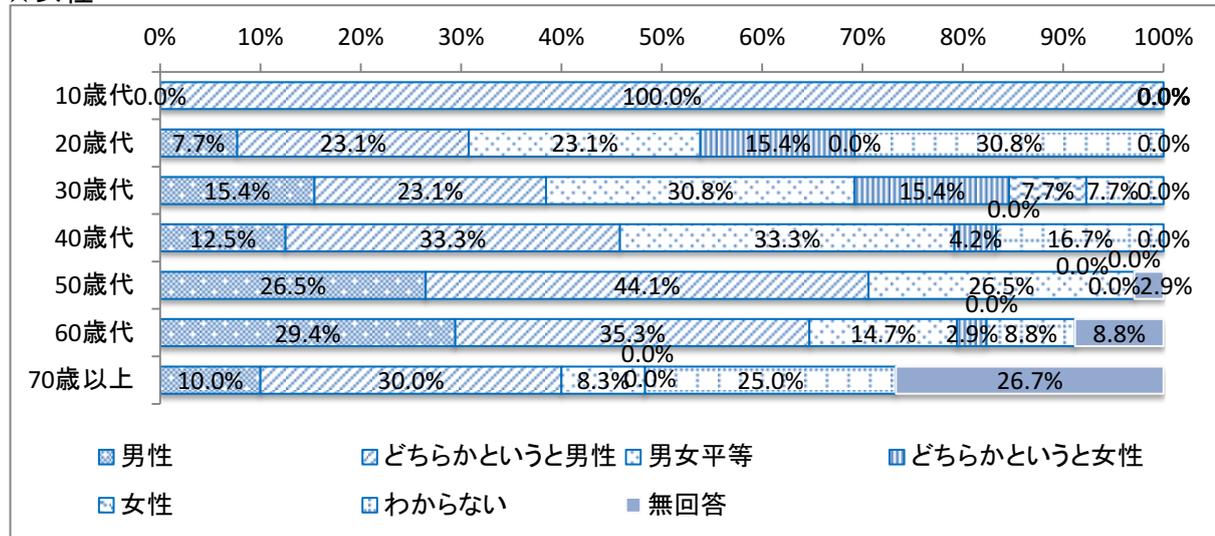
《分析》

- ◆「男性が優遇」「どちらかというとも男性が優遇」を合わせた割合は、女性では47.5%、男性では41.2%となっている。
- ◆「男女平等」の割合は、女性では29.1%、男性では35.8%となっている。

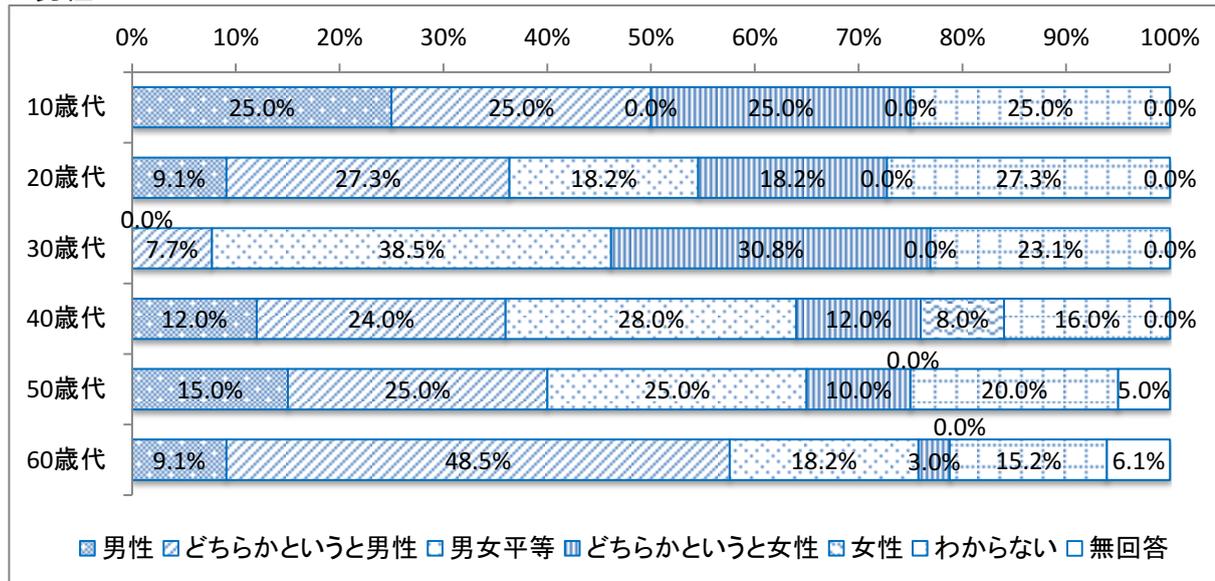
2 職場で



★女性



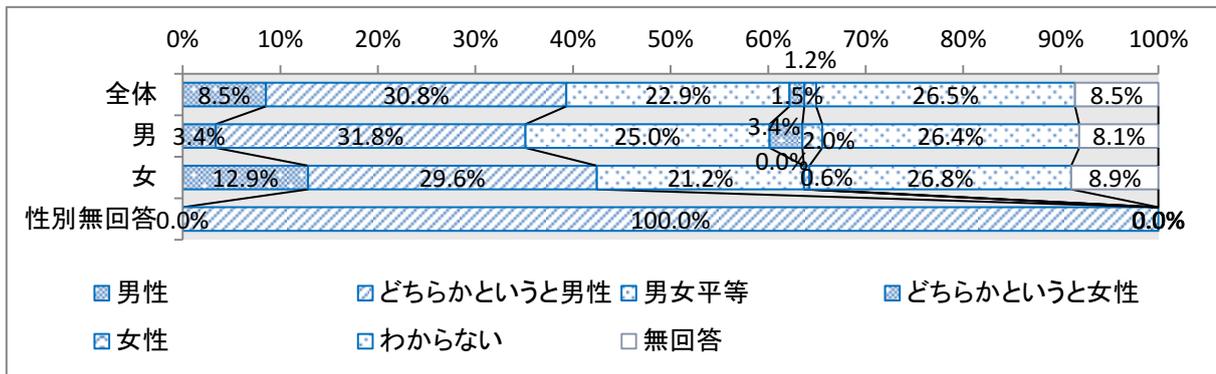
★男性



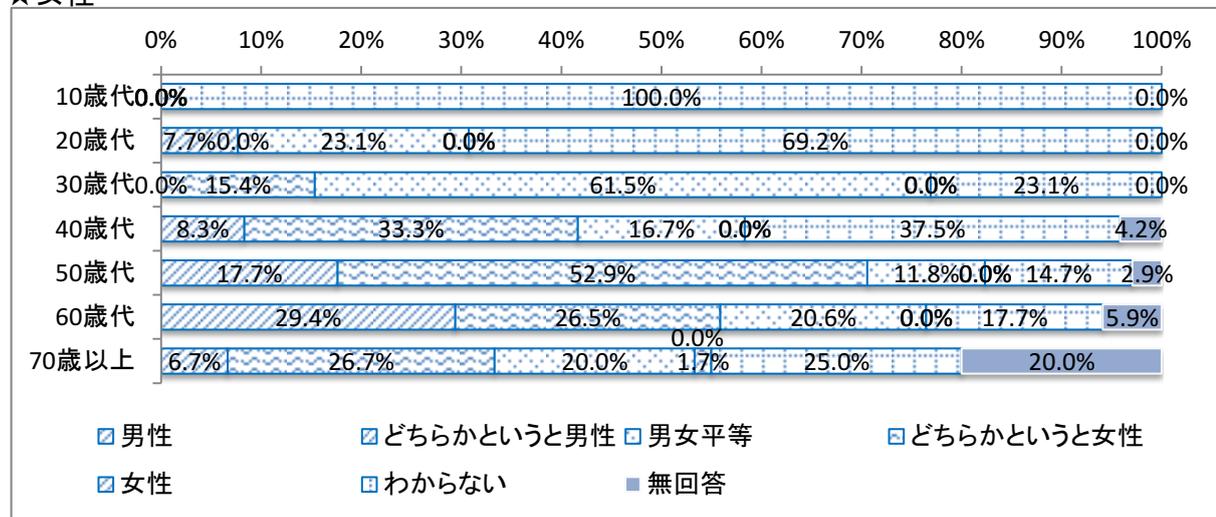
《分析》

◆「男性が優遇」「どちらかというと男性が優遇」を合わせた割合は、女性では20歳代を除き、40%弱以上となっており、50歳代が70.6%、次いで60歳代が64.7%と高い。男性では、60歳代以上が56.0%を超えており、30歳代を除き40%前後となっている。

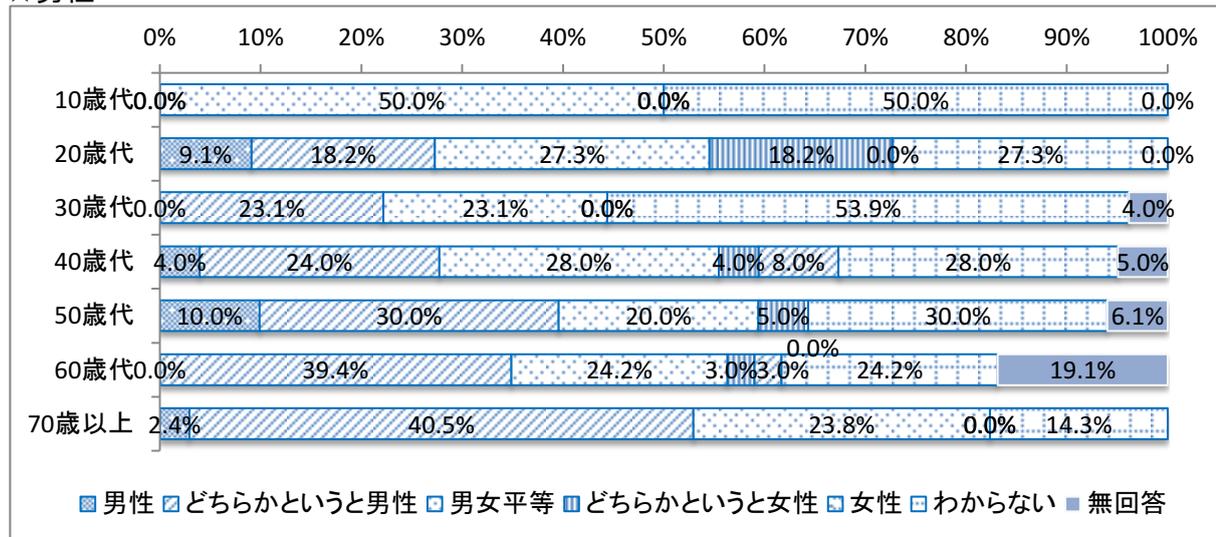
3 地域で



★女性



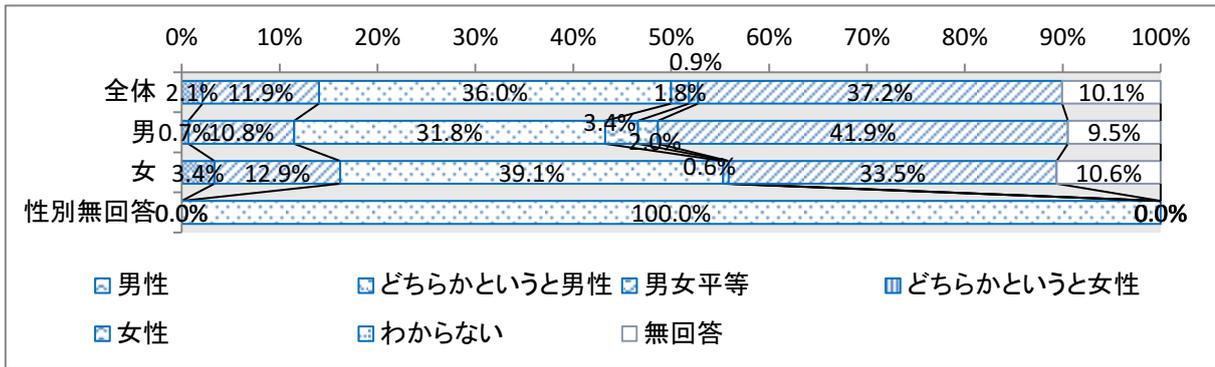
★男性



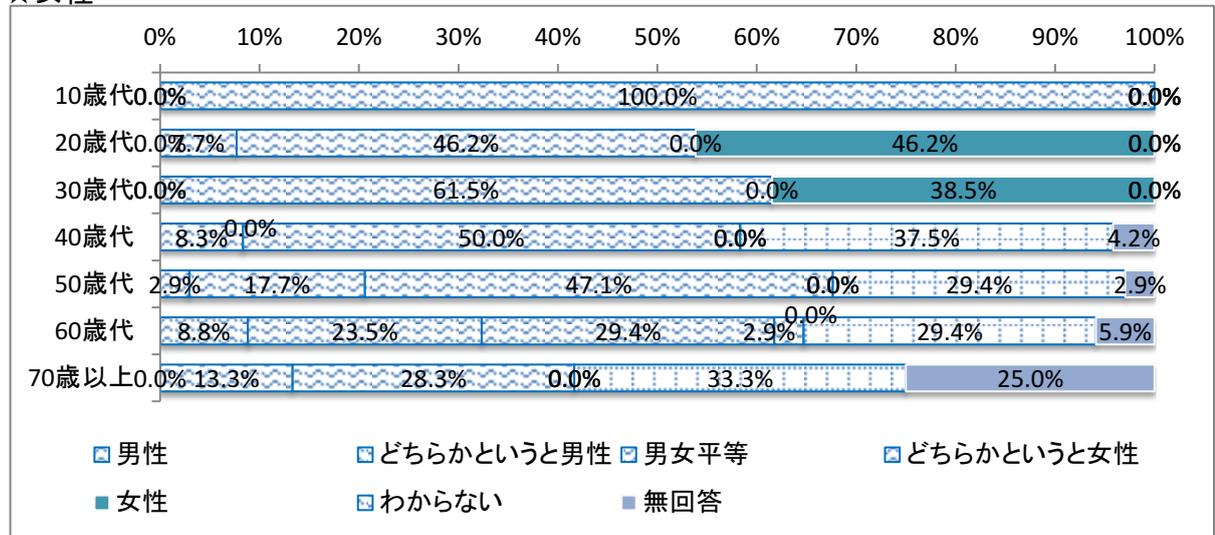
《分析》

- ◆「男性が優遇」の割合が、60歳代の女性では29.4%に対して、60歳代の男性では0%となっている。
- ◆「男女平等」の割合が、30歳代の女性では61.5%に対して、10歳代の男性では50.0%、ほかは20%台となっている。

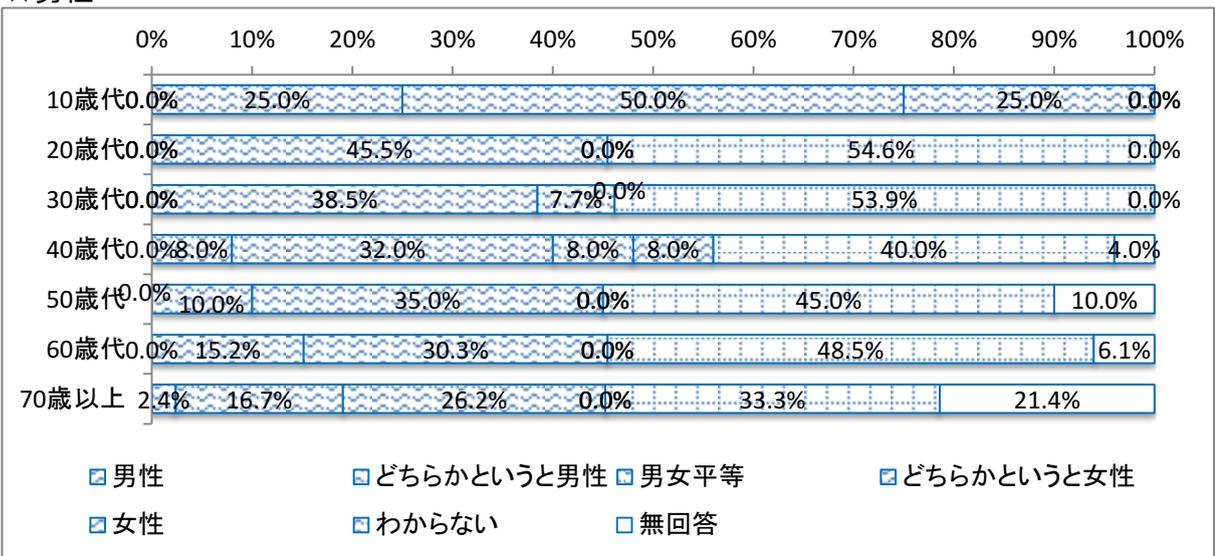
4 学校で



★女性



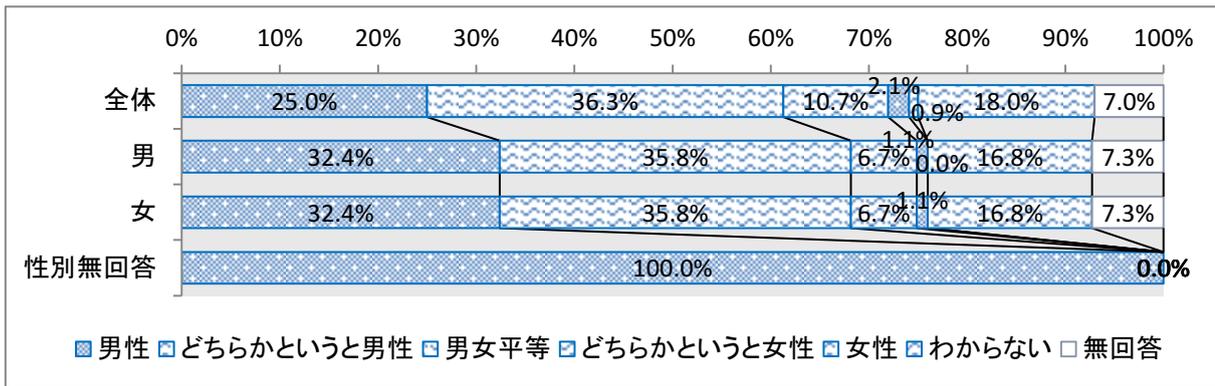
★男性



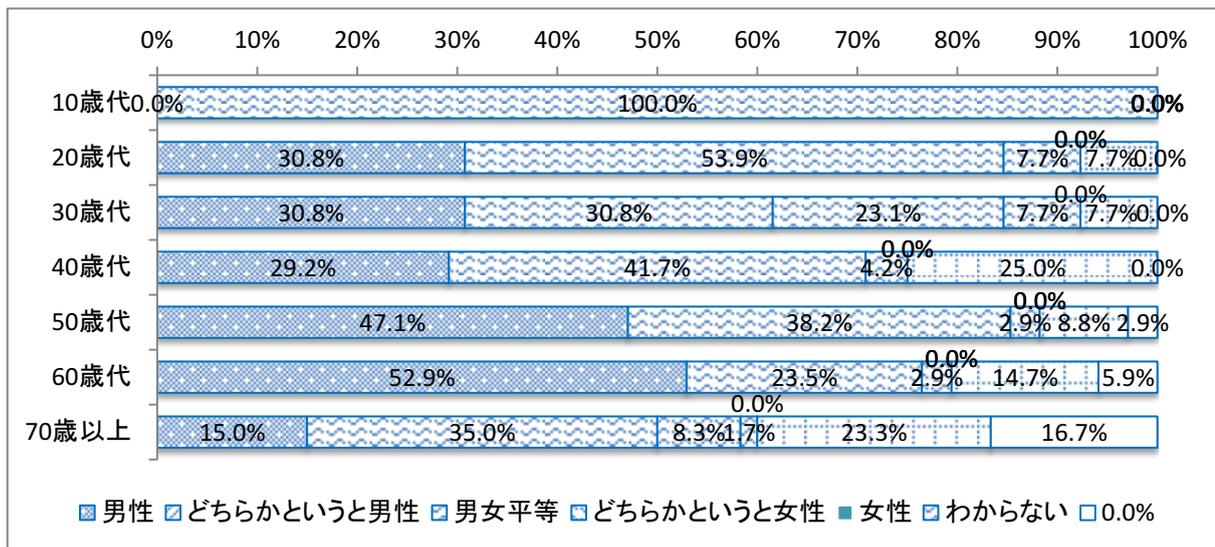
《分析》

◆他の場面と比べて、全体として「男女平等」の割合が36.0%と最も高いが、前回調査時45.1%より、9.9%程度低くなっている。

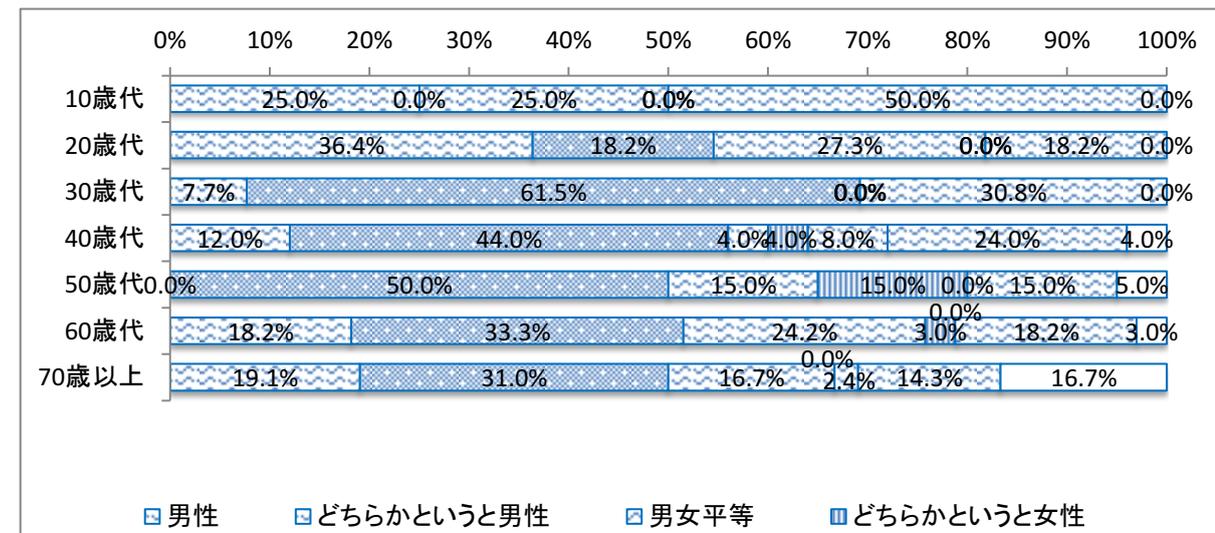
5 政治や行政の場で



★女性



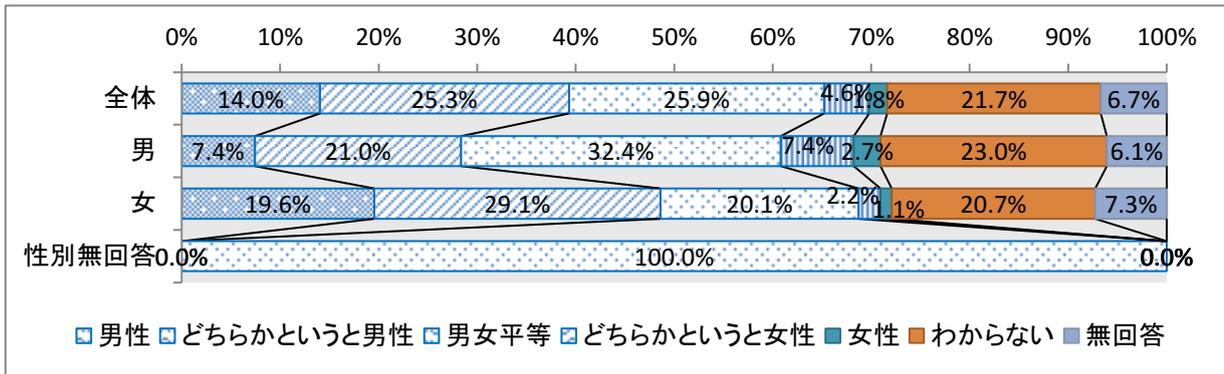
★男性



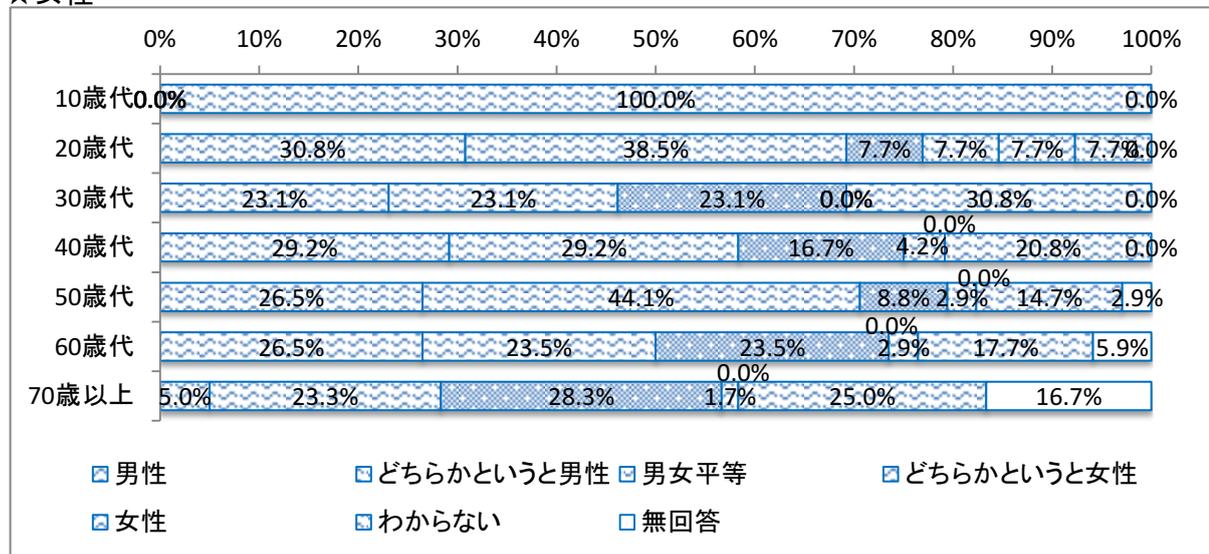
《分析》

- ◆「男性が優遇」の割合が、男女ともに32.4%となっている。
- ◆他の場面と比べて、全体として「男性が優遇」「どちらかという男性が優遇」を合わせた割合が61.3%と最も高い。

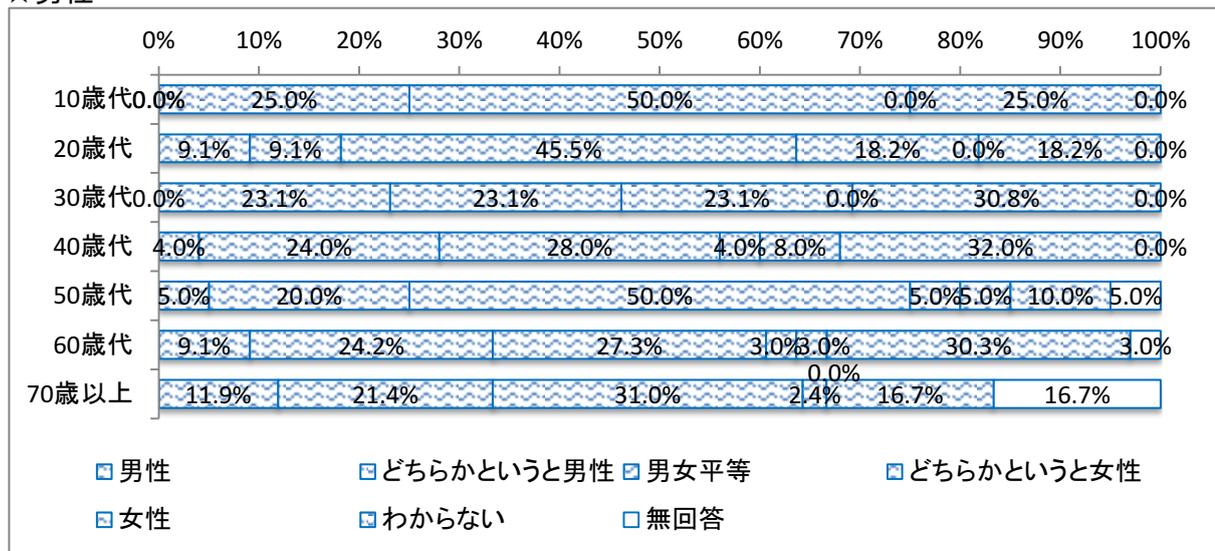
6 法律や制度上で



★女性



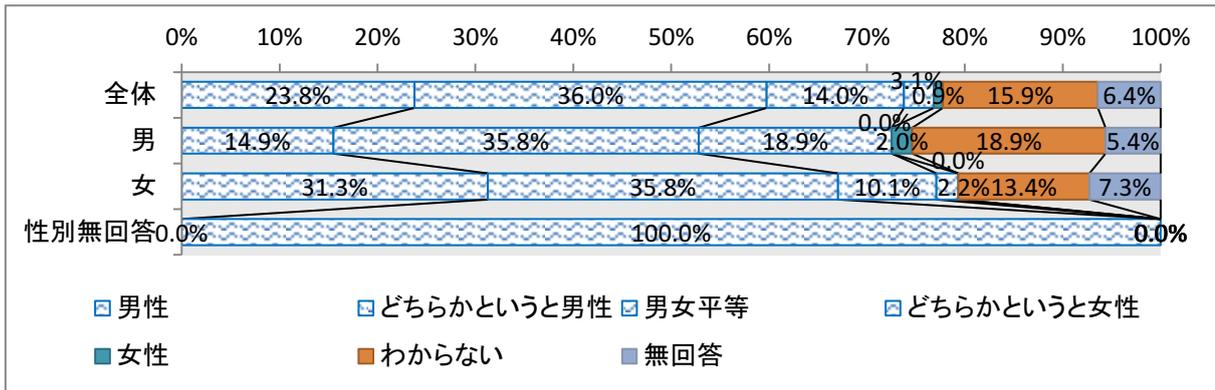
★男性



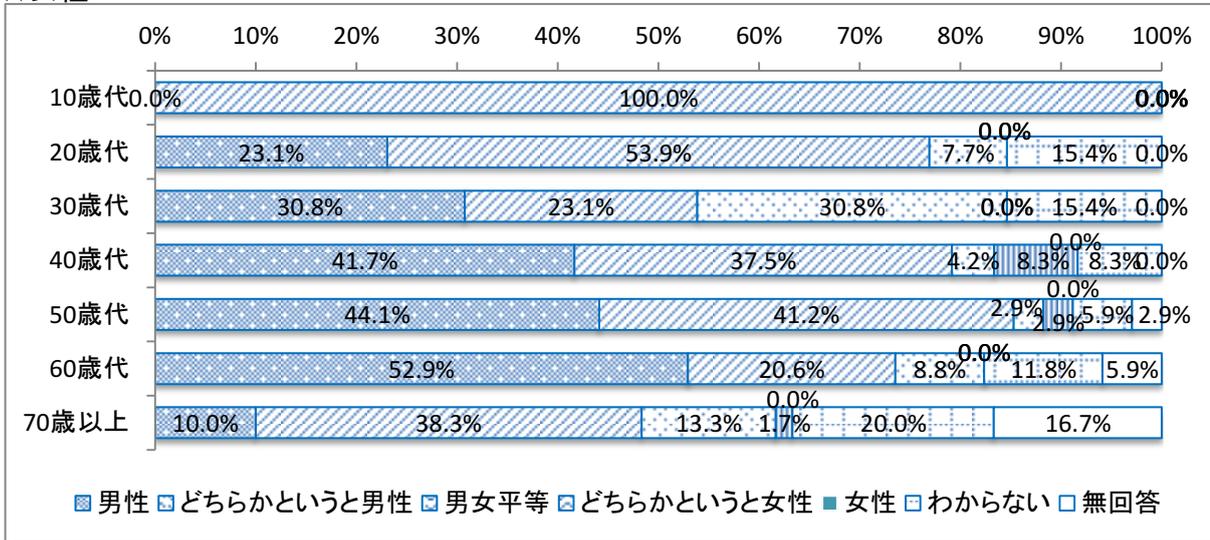
《分析》

- ◆「男女平等」の割合が、女性では25.9%、男性では32.4%となっている。
- ◆年齢別で、「男女平等」の割合は、20歳代および50歳代で、男女の差異が、40%前後と大きくなっている。

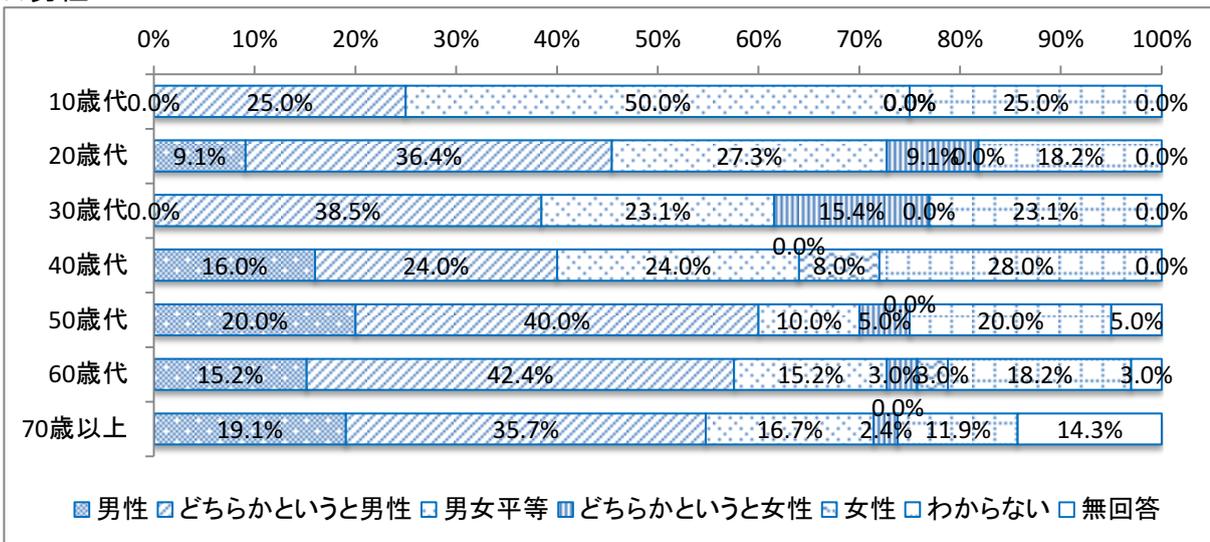
7 社会通念・慣習などで



★女性



★男性



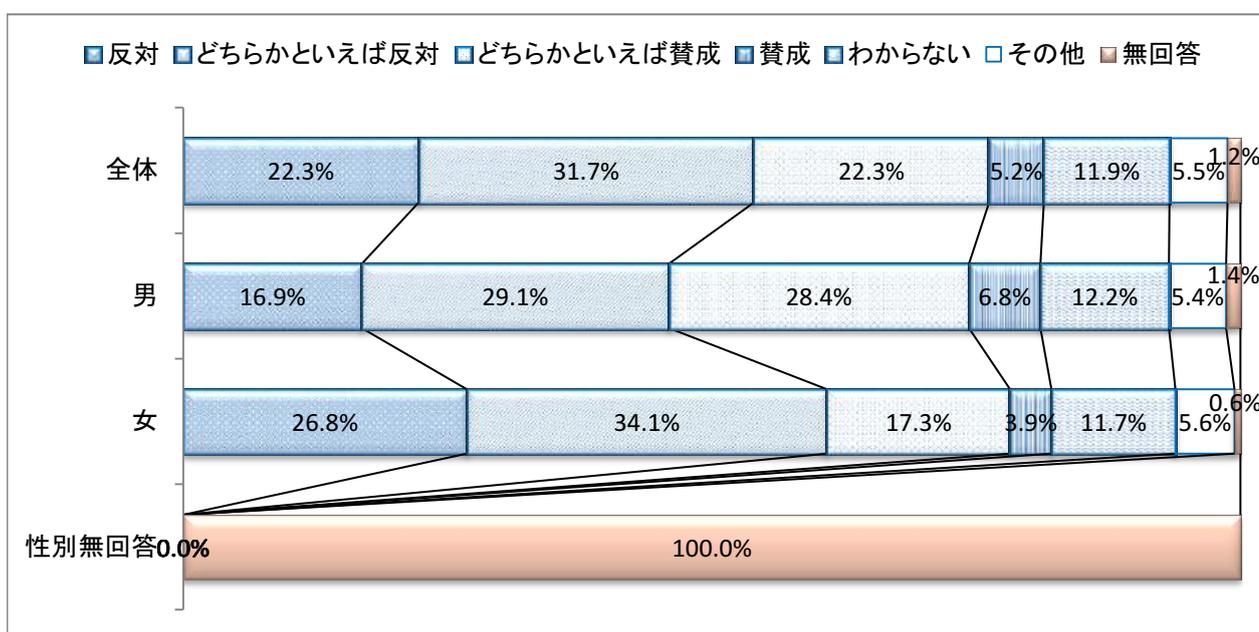
＜分析＞

◆『政治や行政』に次ぎ、「男性が優遇」「どちらかというと男性が優遇」を合わせた割合が59.8%と前回調査と変わらず高い。

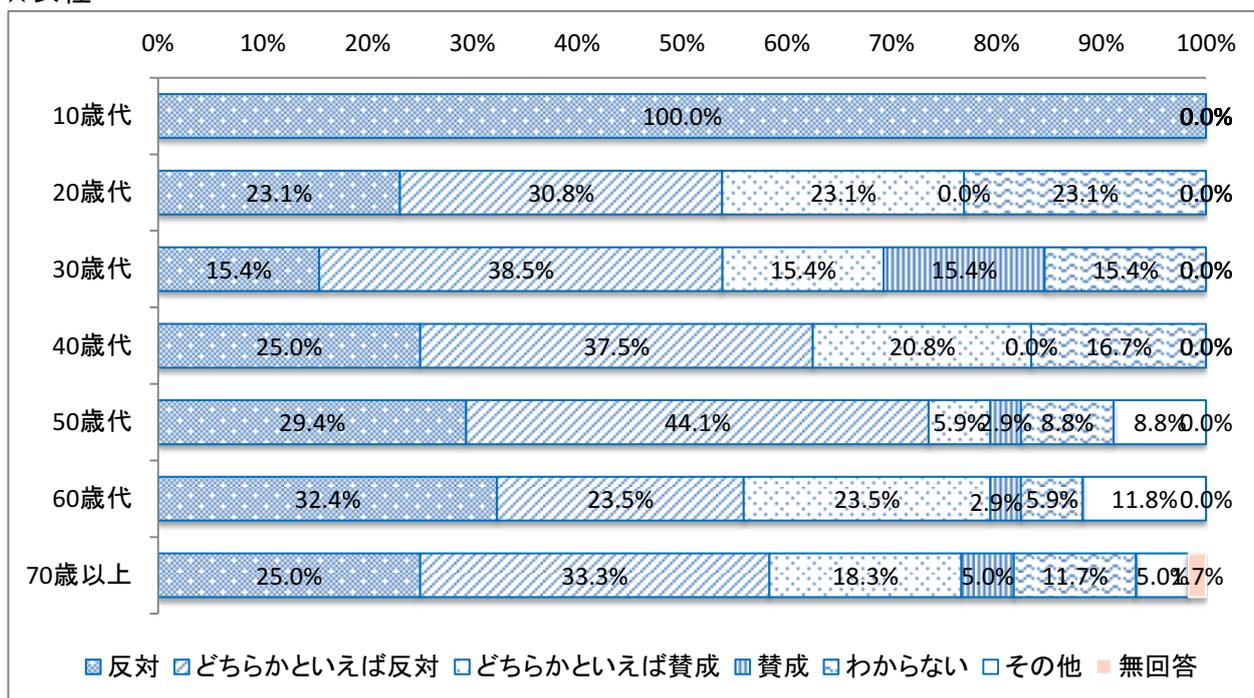
【問9】「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか？

(○は1つ)

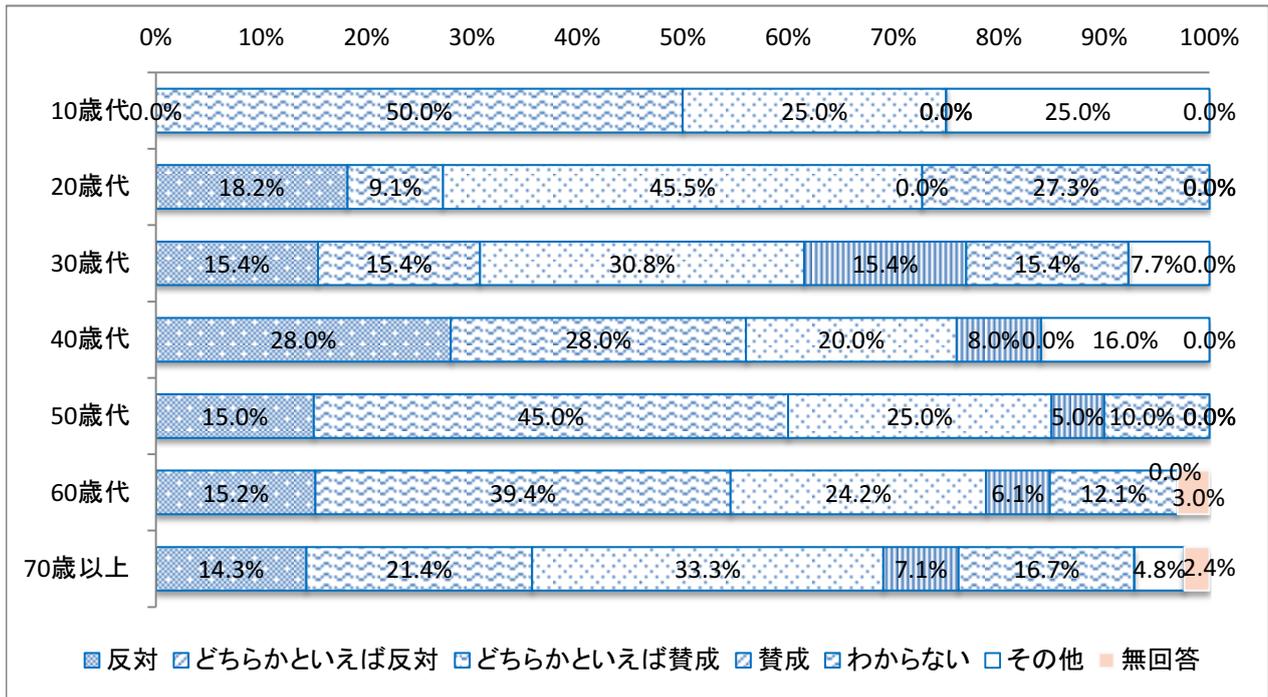
性別	反対	どちらかといえば反対	どちらかといえば賛成	賛成	わからない	その他	無回答
全体	22.3%	31.7%	22.3%	5.2%	11.9%	5.5%	1.2%
男	16.9%	29.1%	28.4%	6.8%	12.2%	5.4%	1.4%
女	26.8%	34.1%	17.3%	3.9%	11.7%	5.6%	0.6%
性別無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



★女性



★男性



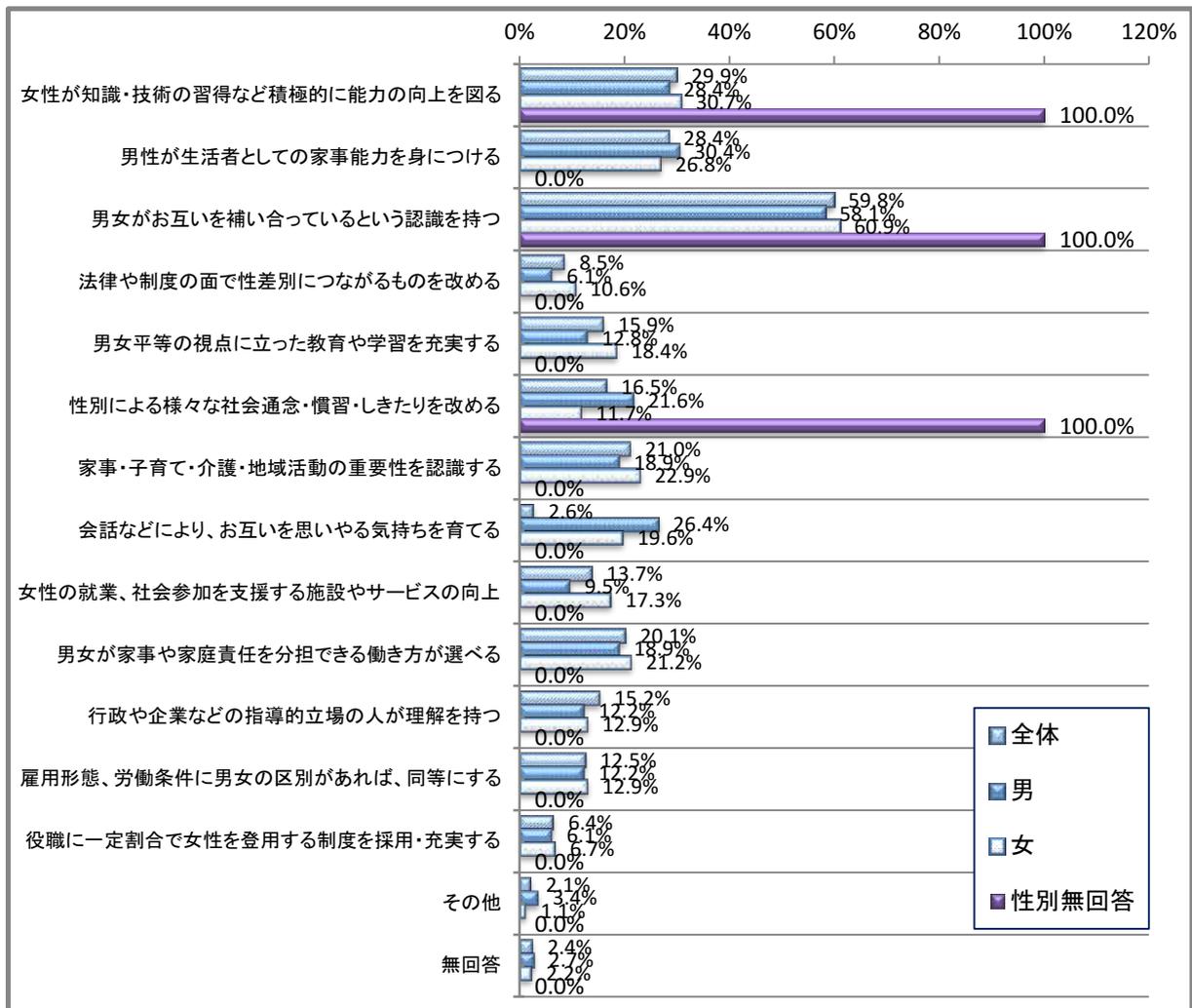
《分析》

- ◆「反対」「どちらかといえば反対」の割合が、54.0%と半数を超えている。
- ◆「反対」「どちらかといえば反対」の割合が、女性では60.9%、男性では46.0%となっている。
- ◆「どちらかといえば賛成」「賛成」の割合が、女性では21.2%、男性では35.2%となっている。

【問10】男女が平等な立場で協力しあっていくためには、どんなことが大切だと思いますか？

(〇は3つまで)

	項目	全体	男	女	性別無回答
1	女性が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど積極的に能力の向上を図る	29.9%	28.4%	30.7%	100.0%
2	男性自身が生活者としての家事能力を身につける	28.4%	30.4%	26.8%	0.0%
3	男女がお互いの個性・能力を認め合い、補い合っているという認識を持つ	59.8%	58.1%	60.9%	100.0%
4	法律や制度の面で見直しを行い、性差別につながるものを改める	8.5%	6.1%	10.6%	0.0%
5	男女平等の視点に立った教育や学習を充実する	15.9%	12.8%	18.4%	0.0%
6	性別による様々な社会通念・慣習・しきたりを改める	16.5%	21.6%	11.7%	100.0%
7	家事・子育て・介護・地域活動についても、重要性を認識する	21.0%	18.9%	22.9%	0.0%
8	会話やコミュニケーションにより、お互いを思いやる気持ちを育てる	2.6%	26.4%	19.6%	0.0%
9	女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの向上	13.7%	9.5%	17.3%	0.0%
10	労働時間を短縮するなど、男女が家事や家庭責任を分担できる働き方が選べる	20.1%	18.9%	21.2%	0.0%
11	行政や企業などの指導的立場の人が理解を持つ	15.2%	12.2%	12.9%	0.0%
12	雇用形態、労働条件に男女の区別があれば、同等にする	12.5%	12.2%	12.9%	0.0%
13	行政や企業などの役職に一定割合で女性を登用する制度を採用・充実する	6.4%	6.1%	6.7%	0.0%
14	その他	2.1%	3.4%	1.1%	0.0%
15	無回答	2.4%	2.7%	2.2%	0.0%



《分析》

◆全体として、「男女がお互いの個性・能力を認め合い、補い合っているという認識を持つ」の割合が59.8%と、突出して高くなっている。

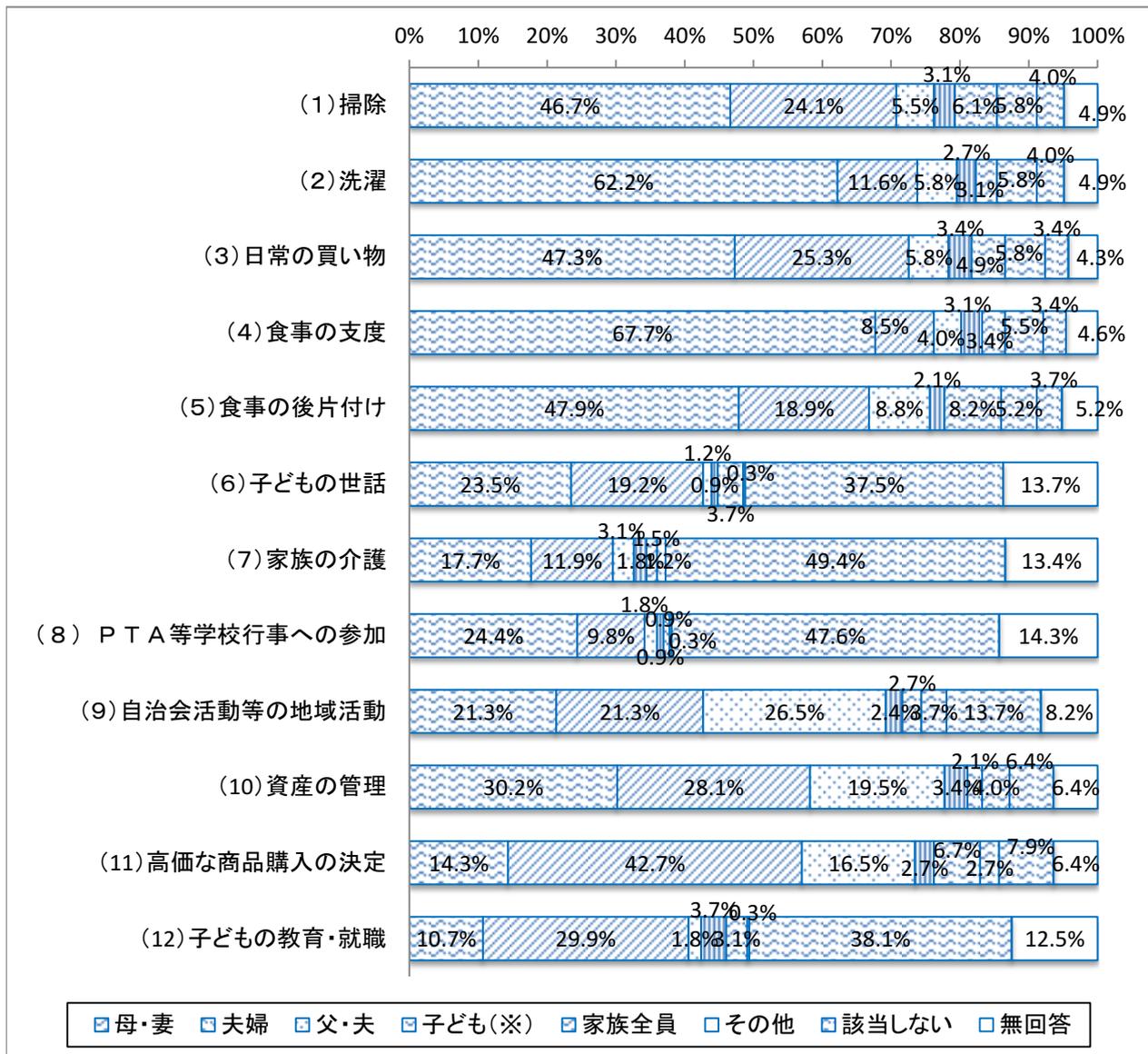
◆次いで割合が高いのは、女性では「女性が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど積極的に能力の向上を図る」(30.7%)、「男性自身が生活者としての家事能力を身につける」(26.8%)、「家事・子育て・介護・地域活動についても重要性を認識する」(22.9%)、「労働時間を短縮するなど、男女が家事や家庭責任を分担できる働き方が選べる」(21.2%)となっており、以上の項目で20%を超えている。

男性では、「男性自身が生活者としての家事能力を身につける」(28.4%)、「女性が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど積極的に能力の向上を図る」(28.4%)、「会話やコミュニケーションにより、お互いを思いやる気持ちを育てる」(26.4%)「性別による様々な社会通念・慣習・しきたりを改める」(21.6%)となっている。

**【問11】普段の生活において次の事柄をあなたのご家庭では、主にどなたが行っていますか。**

(○はそれぞれ1つ)

	項 目	母・妻	夫婦	父・夫	子ども (※)	家族 全員	その他	該当 しない	無回答
1	掃除	46.7%	24.1%	5.5%	3.1%	6.1%	5.8%	4.0%	4.9%
2	洗濯	62.2%	11.6%	5.8%	2.7%	3.1%	5.8%	4.0%	4.9%
3	日常の買い物	47.3%	25.3%	5.8%	3.4%	4.9%	5.8%	3.4%	4.3%
4	食事の支度	67.7%	8.5%	4.0%	3.1%	3.4%	5.5%	3.4%	4.6%
5	食事の後片付け	47.9%	18.9%	8.8%	2.1%	8.2%	5.2%	3.7%	5.2%
6	子どもの世話	23.5%	19.2%	1.2%	0.9%	3.7%	0.3%	37.5%	13.7%
7	家族の介護	17.7%	11.9%	3.1%	1.8%	1.5%	1.2%	49.4%	13.4%
8	PTA等学校行事への参加	24.4%	9.8%	1.8%	0.9%	0.9%	0.3%	47.6%	14.3%
9	自治会活動等の地域活動	21.3%	21.3%	26.5%	2.4%	2.7%	3.7%	13.7%	8.2%
10	資産の管理	30.2%	28.1%	19.5%	3.4%	2.1%	4.0%	6.4%	6.4%
11	高価な商品購入の決定	14.3%	42.7%	16.5%	2.7%	6.7%	2.7%	7.9%	6.4%
12	子どもの教育・就職	10.7%	29.9%	1.8%	3.7%	3.1%	0.3%	38.1%	12.5%

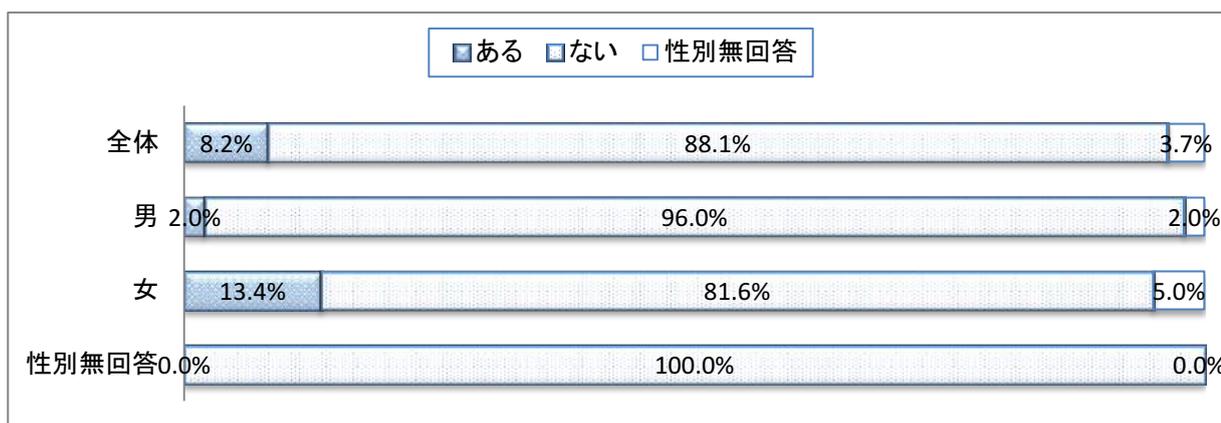


《分析》

- ◆全体として、ほぼすべての項目で、「母・妻」と「夫婦」に割合が集中している。
- ◆「母・妻」の割合は、『食事の支度』（67.7%）、『洗濯』（62.2%）、『食事の後片付け』（47.9%）、『日常の買い物』（47.3%）、『掃除』（46.7%）の順で高くなっている。
- ◆「夫婦」の割合は、『高価な商品購入の決定』（42.7%）、『子どもの教育・就職』（29.9%）、『資産の管理』（28.1%）、『日常の買い物』（25.3%）、『掃除』（24.1%）の順で高くなっている。
- ◆「父・夫」の割合は、『自治会活動等の地域活動』（26.5%）、『資産の管理』（19.5%）、『高価な商品購入の決定』（16.5%）の順で高くなっている。
- ◆「子ども」・「その他」の割合は、10%を超えている項目がない。
- ◆「家族全員」の割合は、『食事の後片付け』（8.2%）が最も高い。

【問12】 あなたは「育児休業制度」を利用したことがありますか。(○は1つ)

性別	ある	ない	性別無回答
全体	8.2%	88.1%	3.7%
男	2.0%	96.0%	2.0%
女	13.4%	81.6%	5.0%
性別無回答	0.0%	100.0%	0.0%



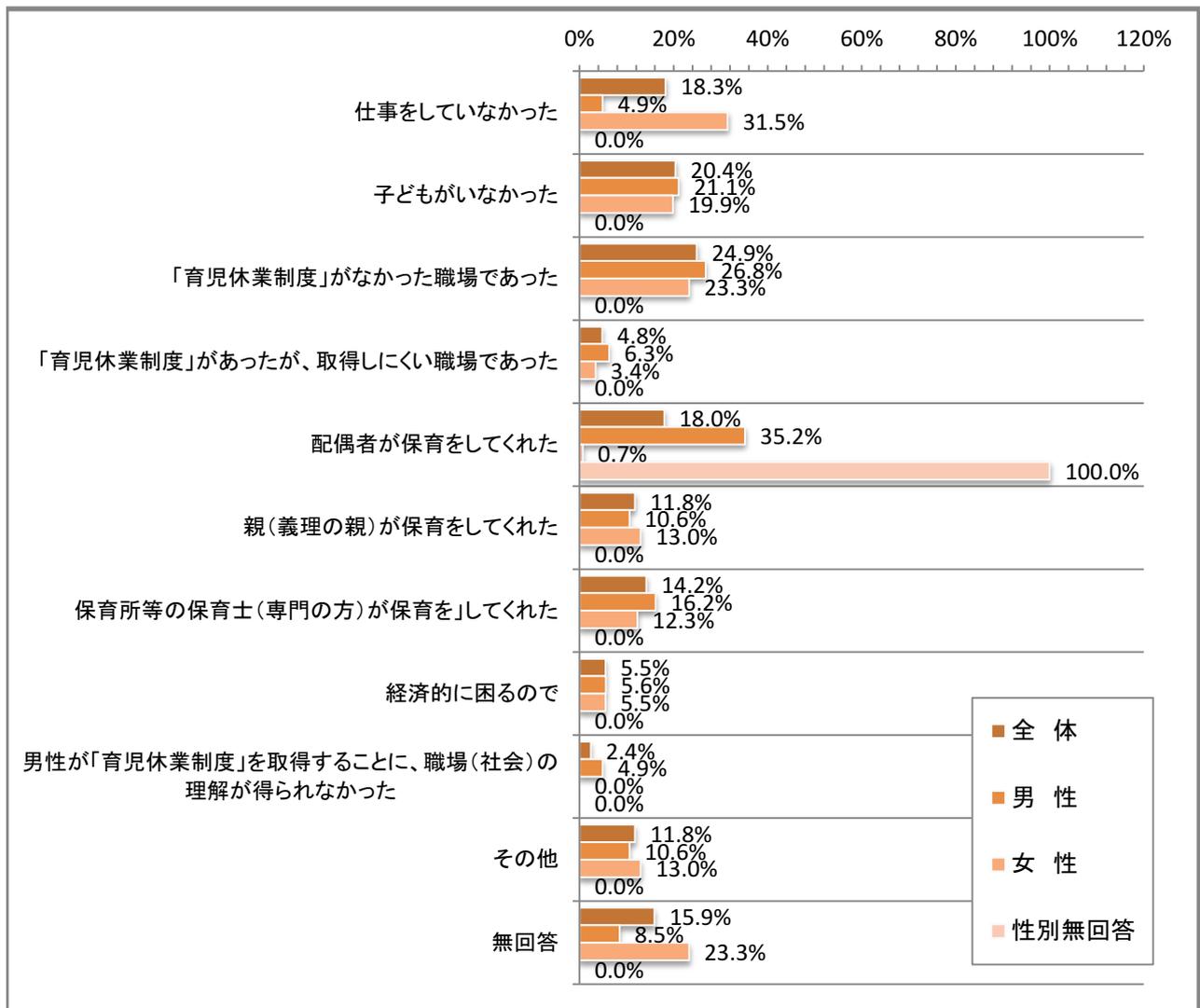
《分析》

- ◆全体として、育児休業制度を『利用したことがない』が、88.1%となっており、男女ともに利用したことがない割合が多くなっている。

【問12-1】 問12で、「2 利用したことがない」と回答された方にお聞きします。

あなたが「育児休業制度」を利用せずに、仕事をしている(していた)理由は何ですか。  
(○はいくらでも)

	項目	全体	男性	女性	性別無回答
1	仕事をしていなかった	18.3%	4.9%	31.5%	0.0%
2	子どもがいなかった	20.4%	21.1%	19.9%	0.0%
3	「育児休業制度」がなかった職場であった	24.9%	26.8%	23.3%	0.0%
4	「育児休業制度」があったが、取得しにくい職場であった	4.8%	6.3%	3.4%	0.0%
5	配偶者が保育をしてくれた	18.0%	35.2%	0.7%	100.0%
6	親(義理の親)が保育をしてくれた	11.8%	10.6%	13.0%	0.0%
7	保育所等の保育士(専門の方)が保育をしてくれた	14.2%	16.2%	12.3%	0.0%
8	経済的に困るので	5.5%	5.6%	5.5%	0.0%
9	男性が「育児休業制度」を取得することに、職場(社会)の理解が得られなかった	2.4%	4.9%	0.0%	0.0%
10	その他	11.8%	10.6%	13.0%	0.0%
11	無回答	15.9%	8.5%	23.3%	0.0%

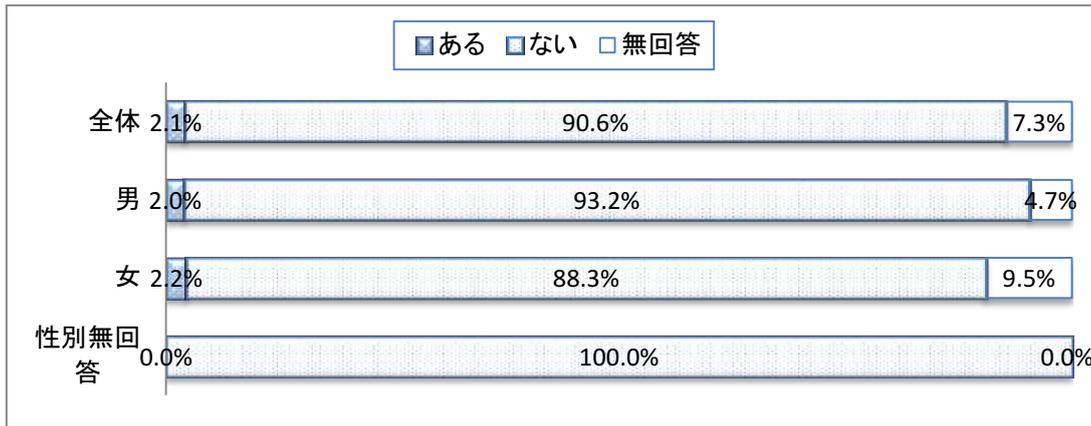


《分析》

- ◆全体として、『育児休暇制度』がなかった職場であった（24.9%）の割合が最も高い。
- ◆性別では、女性は『仕事をしていなかった』（31.5%）、男性では『配偶者が保育をしてくれた』（35.2%）となっている。

【問13】あなたは「介護休業制度」を利用したことがありますか。（○は1つ）

性別	ある	ない	無回答
全体	2.1%	90.6%	7.3%
男	2.0%	93.2%	4.7%
女	2.2%	88.3%	9.5%
性別無回答	0.0%	100.0%	0.0%

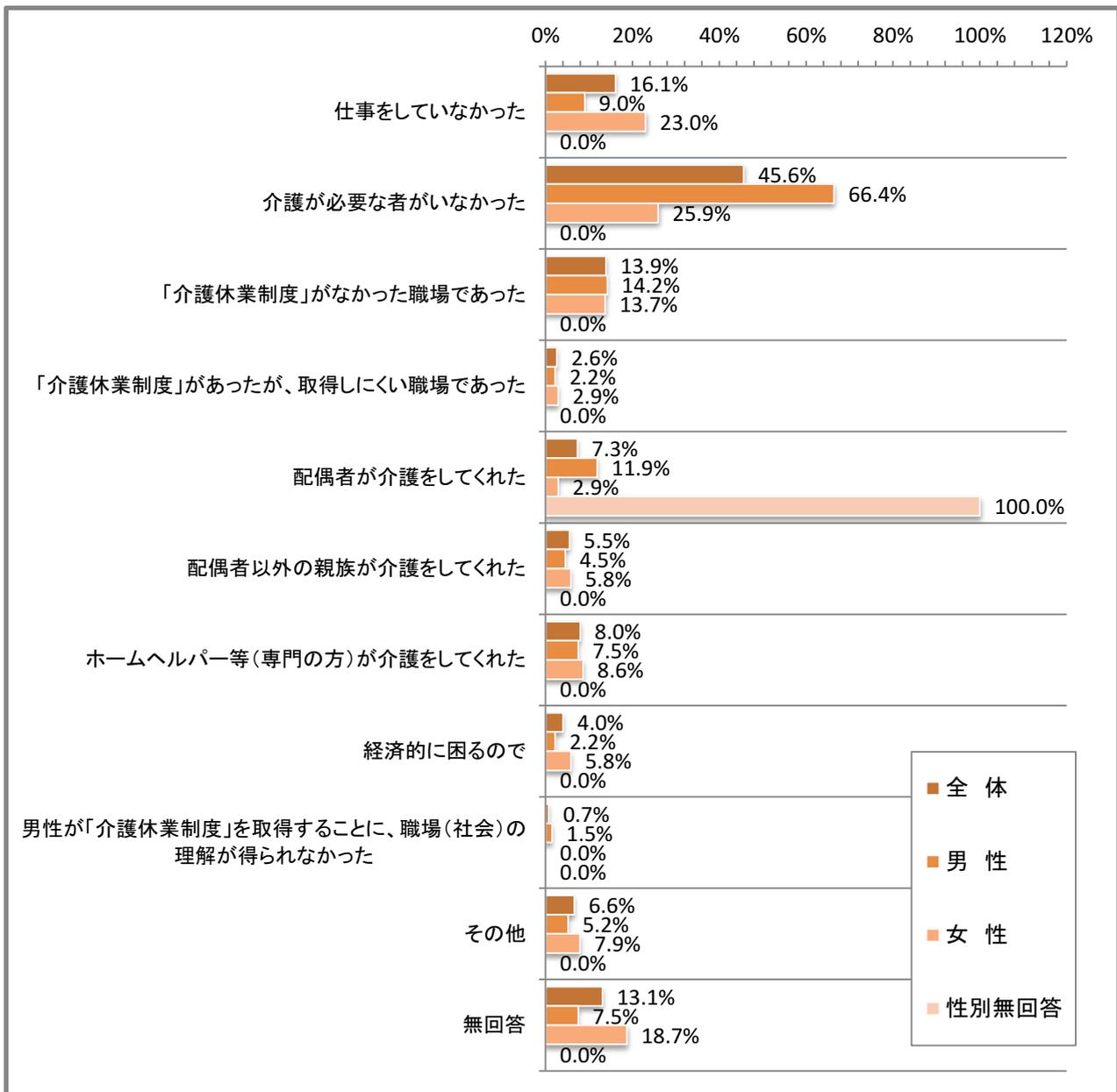


《分析》

◆全体として、介護休業制度を『利用したことがない』が、90.6%となっており、男女ともに利用したことがない割合が多くなっている。

【問13-1】問13で、「2 利用したことがない」と回答された方にお聞きします。  
あなたが「介護休業制度」を利用せずに、仕事をしている(していた)理由は何ですか。  
(〇はいくらでも)

	項 目	全 体	男 性	女 性	性別無回答
1	仕事をしていなかった	16.1%	9.0%	23.0%	0.0%
2	介護が必要な者がいなかった	45.6%	66.4%	25.9%	0.0%
3	「介護休業制度」がなかった職場であった	13.9%	14.2%	13.7%	0.0%
4	「介護休業制度」があったが、取得しにくい職場であった	2.6%	2.2%	2.9%	0.0%
5	配偶者が介護をしてくれた	7.3%	11.9%	2.9%	100.0%
6	配偶者以外の親族が介護をしてくれた	5.5%	4.5%	5.8%	0.0%
7	ホームヘルパー等(専門の方)が介護をしてくれた	8.0%	7.5%	8.6%	0.0%
8	経済的に困るので	4.0%	2.2%	5.8%	0.0%
9	男性が「介護休業制度」を取得することに、職場(社会)の理解が得られなかった	0.7%	1.5%	0.0%	0.0%
10	その他	6.6%	5.2%	7.9%	0.0%
11	無回答	13.1%	7.5%	18.7%	0.0%



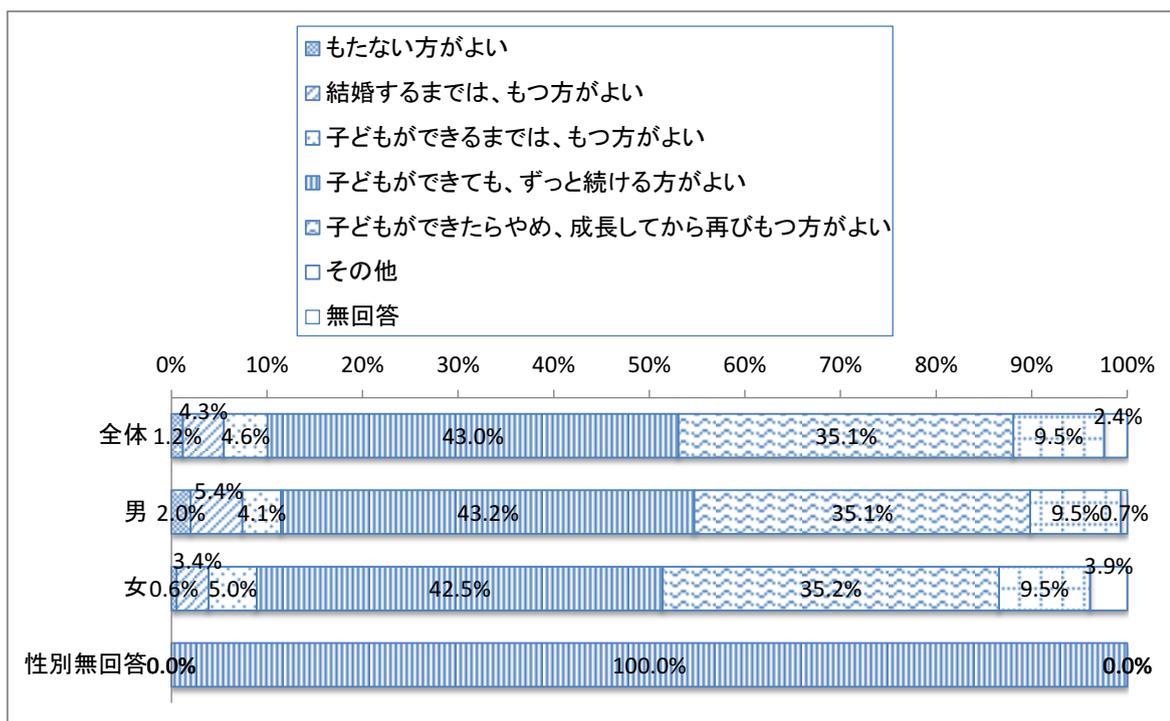
《分析》

- ◆全体として、『介護が必要な者がいなかった』（45.6%）の割合が最も高い。
- ◆その他性別では、女性は『仕事をしていなかった』（23.0%）、男性では『「介護休業制度」がなかった職場であった』（14.2%）となっている。

### Ⅲ 仕事について

【問14】 女性が職業を持つことについて、あなたはどのようにお考えですか。(〇は1つ)

性別	もたない方がよい	結婚するまでは、もつ方がよい	子どもができるまでは、もつ方がよい	子どもができて、ずっと続ける方がよい	子どもができたらやめ、成長してから再びもつ方がよい	その他	無回答
全体	1.2%	4.3%	4.6%	43.0%	35.1%	9.5%	2.4%
男	2.0%	5.4%	4.1%	43.2%	35.1%	9.5%	0.7%
女	0.6%	3.4%	5.0%	42.5%	35.2%	9.5%	3.9%
性別無回答	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%



#### ◆『その他』（主なもの）

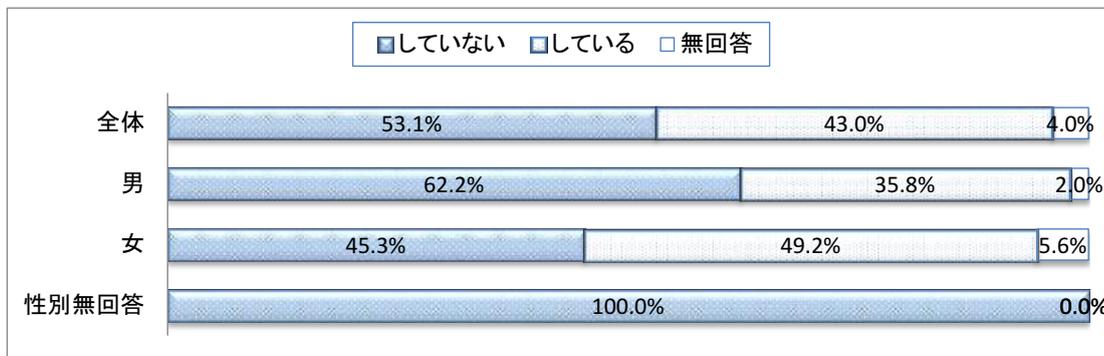
- ・人それぞれの事情がある。経済的な不安がないのであれば理想としては5が子どもの成長に関わっていいかな
- ・この質問は差別です。
- ・続けるも辞めるも本人(女性)の自由
- ・各々の家庭の事情もあるので、一概には言えません。ただ続けたくても簡単に休める仕事先は、早々ないと思う
- ・3歳まで。以後は社会参加する親の下で育つ子が望ましい。年齢に合わせた仕事期間とする
- ・各家庭の状況に応じて異なると思う。(年齢、既婚、未婚)
- ・家族は一緒にいることが大切。転勤しないようやめさせたことがある。できれば続ける必要があると思う
- ・個人の思いを尊重し、仕事をしたければすれば良い。いつの時点で仕事をしているかは、その人自身が決めればよ
- ・女性を優遇している限りは平等にならない
- ・子どもができるまでは職業を持ち、子どもが社会的責任を持つまでは男女で見る

#### 《分析》

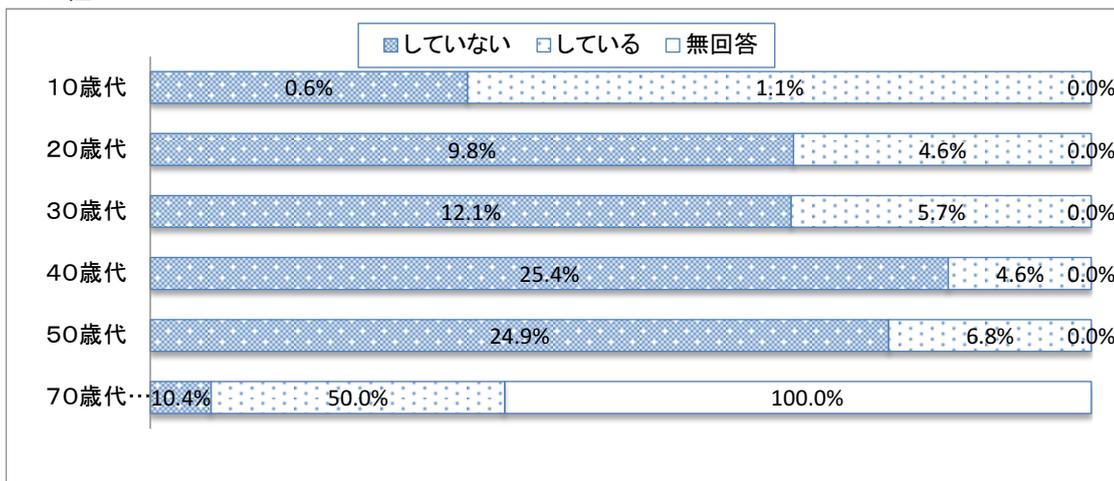
- ◆全体として、『子どもができて、ずっと続ける方がよい』、『子どもができたらやめ、成長してから再びもつ方がよい』に割合が集中している。
- ◆性別で、男女ともに『子どもができて、ずっと続ける方がよい』が最も高くなっており、女性が44.4%、男性が36.9%となっている。

【問15】 あなたは仕事をしていますか。(〇は1つ)

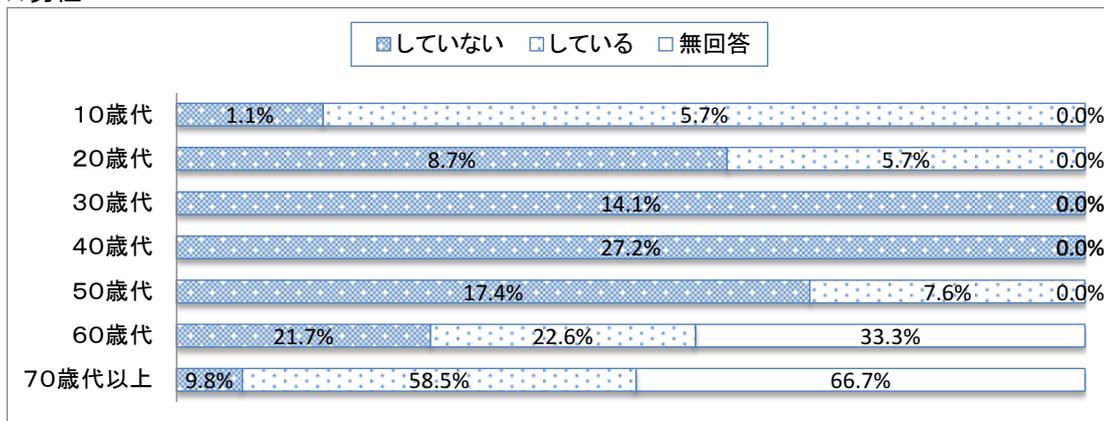
性別	していない	している	無回答
全体	53.1%	43.0%	4.0%
男	62.2%	35.8%	2.0%
女	45.3%	49.2%	5.6%
性別無回答	100.0%	0.0%	0.0%



★女性



★男性



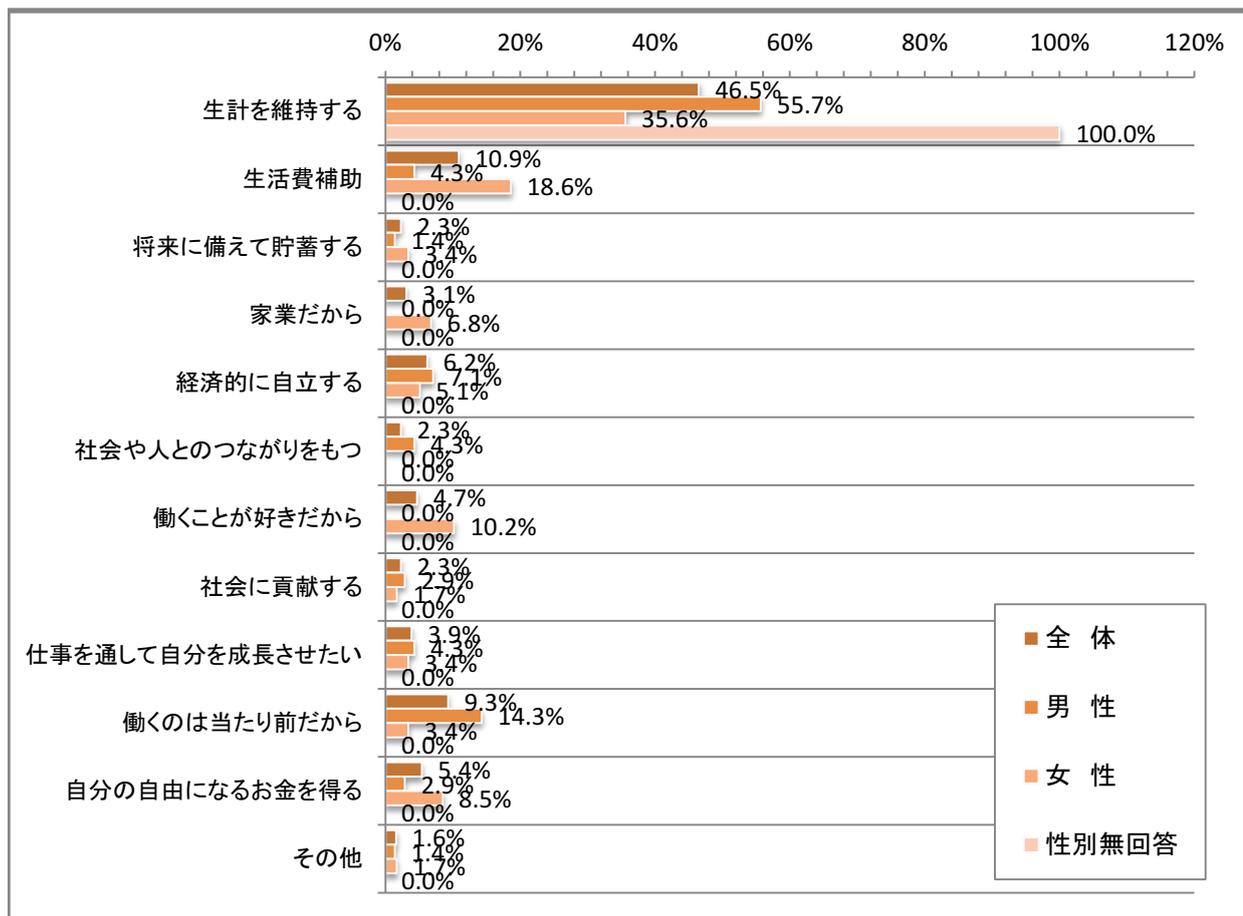
《分析》

- ◆ 『している』割合は、女性が49.2%、男性が35.8%となっている。
- ◆ 年齢別で、男女の差異で10%以上の差異は見られない。

【問15-1】 問15で、「2 仕事をしている」と回答された方にお聞きます。

あなたが仕事をしている理由は何ですか。(〇は3つまで)

項目	全体	男性	女性	性別無回答
1 生計を維持する	46.5%	55.7%	35.6%	100.0%
2 生活費補助	10.9%	4.3%	18.6%	0.0%
3 将来に備えて貯蓄する	2.3%	1.4%	3.4%	0.0%
4 家業だから	3.1%	0.0%	6.8%	0.0%
5 経済的に自立する	6.2%	7.1%	5.1%	0.0%
6 社会や人とのつながりをもつ	2.3%	4.3%	0.0%	0.0%
7 働くことが好きだから	4.7%	0.0%	10.2%	0.0%
8 社会に貢献する	2.3%	2.9%	1.7%	0.0%
9 仕事を通して自分を成長させたい	3.9%	4.3%	3.4%	0.0%
10 働くのは当たり前だから	9.3%	14.3%	3.4%	0.0%
11 自分の自由になるお金を得る	5.4%	2.9%	8.5%	0.0%
12 その他	1.6%	1.4%	1.7%	0.0%



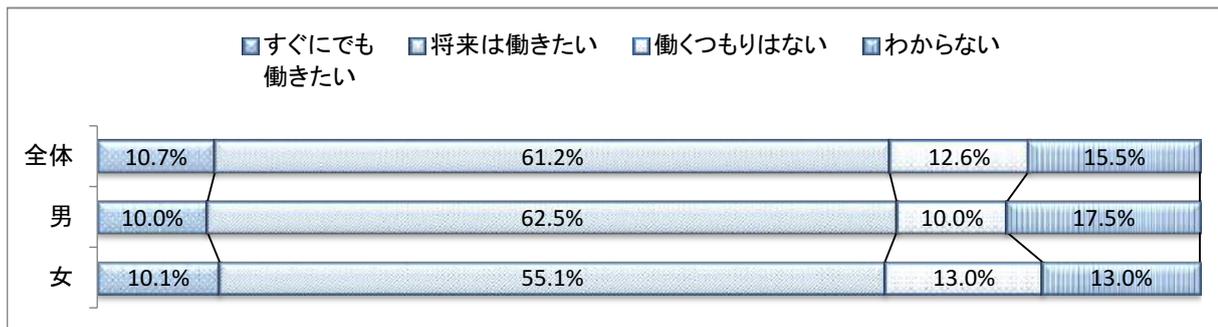
《分析》

- ◆全体として、『生計を維持する』（46.5%）の割合が最も高い。
- ◆性別では、女性は『生計を維持する』（35.6%）、『生活費補助』（18.6%）の順で割合が高くなっており、男性は『生計を維持する』（55.7%）、『働くのは当たり前』（14.3%）の順で割合が高くなっている。

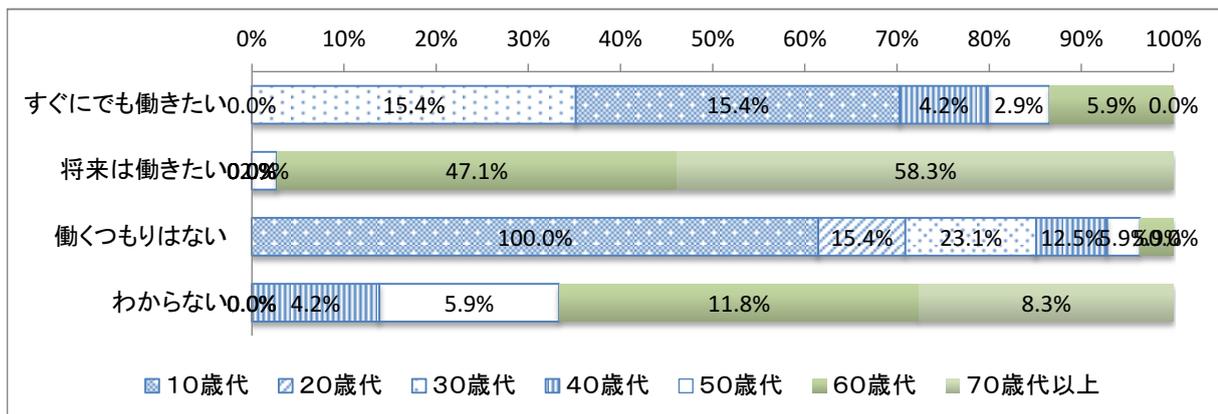
【問15-2】 問15で、「1 仕事をしていない」と回答された方におたずねします。  
これから働きたいと思いますか。(〇は1つ)

※注:「無回答」の方は除いています。

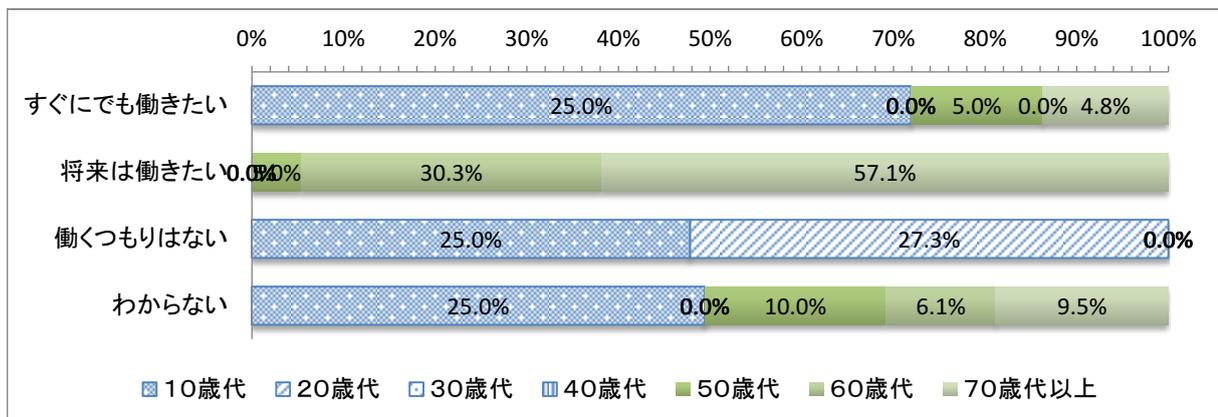
性別	すぐにでも働きたい	将来は働きたい	働くつもりはない	わからない
全体	10.7%	61.2%	12.6%	15.5%
男	10.0%	62.5%	10.0%	17.5%
女	10.1%	55.1%	13.0%	13.0%
性別無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



★女性



★男性



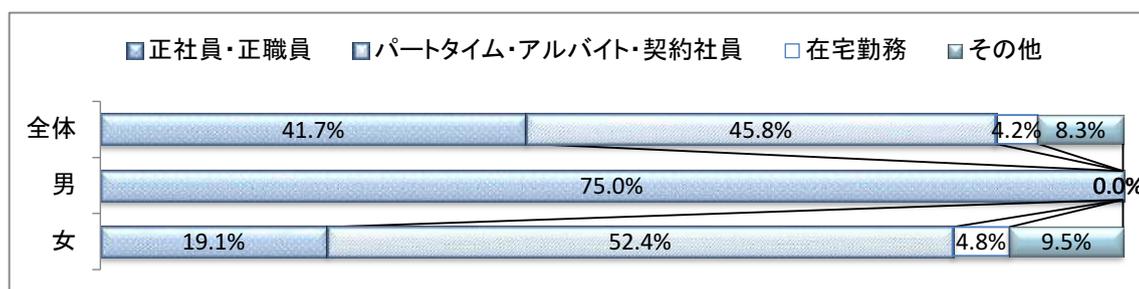
《分析》

- ◆全体として前回調査で高かった回答（『働くつもりはない』69.5%）は今回は12.6%と、低い割合となっている。
- ◆性別では、男女ともに『将来は働きたい』が50%を超えており、女性55.1%、男性62.5%となっている。

【問15-3】問15-2で、「1 すぐにでも働きたい」または「3 将来は働きたい」に回答された方にお聞きします。  
あなたは、どのような形で働きたいとお考えですか。(○は1つ)

※注:「無回答」の方は除いています。

性別	正社員・正職員	パートタイム・アルバイト・契約社員	在宅勤務	その他
全体	41.7%	45.8%	4.2%	8.3%
男	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女	19.1%	52.4%	4.8%	9.5%
性別無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



《分析》

◆全体として、『正社員・正職員』（41.7%）と『パートタイム・アルバイト・契約社員』（45.8%）となっている。

◆性別で、女性では『パートタイム・アルバイト・契約社員』（52.4%）『正社員・正職員』（19.1%）の順で高くなっており、男性では『正社員・正職員』（75.0%）となっている。

【問15-4】問15-2で、「1 すぐにでも働きたい」または「3 将来は働きたい」にお聞きします。あなたが働きたい理由は何ですか。(○は3つまで)

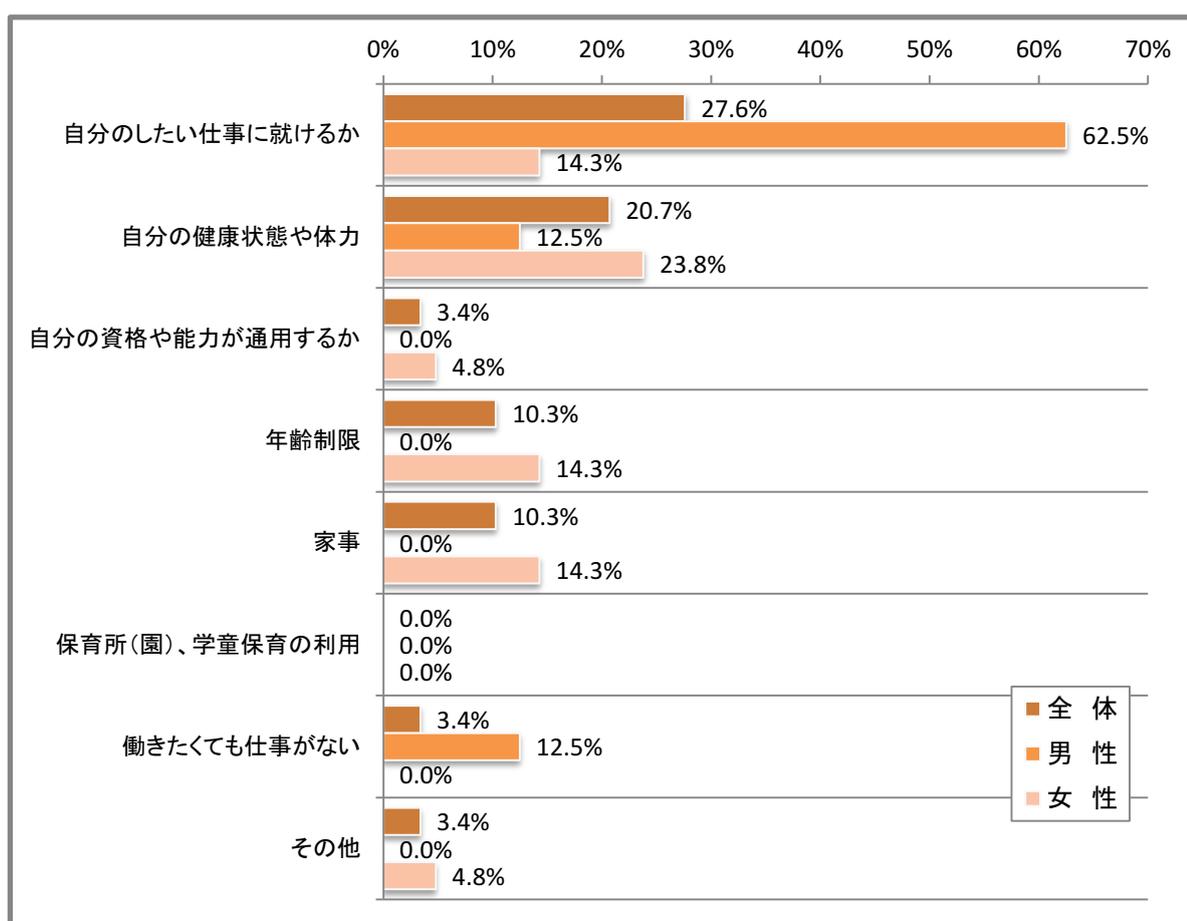
	項目	全体	男性	女性	性別無回答
1	もともと就職するつもりだった	24.1%	50.0%	14.3%	0.0%
2	外で働くのは好きである	13.8%	12.5%	14.3%	0.0%
3	社会に貢献したい	6.9%	25.0%	0.0%	0.0%
4	時間的余裕ができた	3.4%	0.0%	4.8%	0.0%
5	教育費や老後の資金のため	27.6%	0.0%	38.1%	0.0%
6	専門知識や経験を活かしたい	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7	自由に使えるお金を稼ぎたくなった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8	社会から取り残されそうだから	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9	経済的余裕がなくなった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10	その他	3.4%	0.0%	4.8%	0.0%

《分析》

◆全体として、『教育費や老後の資金のため』（27.6%）の割合が高くなっている。

【問15-5】 問15-2で、「1 すぐにも働きたい」または「3 将来は働きたい」に回答された方にお聞きします。あなたが働きたいと思ったとき、支障となることは何ですか。(〇は3つまで)

	項目	全体	男性	女性	性別無回答
1	自分のしたい仕事に就けるか	27.6%	62.5%	14.3%	0.0%
2	自分の健康状態や体力	20.7%	12.5%	23.8%	0.0%
3	自分の資格や能力が通用するか	3.4%	0.0%	4.8%	0.0%
4	家族の理解	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5	年齢制限	10.3%	0.0%	14.3%	0.0%
6	家事	10.3%	0.0%	14.3%	0.0%
7	職場の人間関係	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8	保育所(園)、学童保育の利用	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9	賃金など望む労働条件	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10	仕事の受注や資金繰り	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
11	働きたくても仕事がない	3.4%	12.5%	0.0%	0.0%
12	その他	3.4%	0.0%	4.8%	0.0%



《分析》

- ◆全体として、『自分のしたい仕事に就けるか』（27.6%）の割合が高くなっている。
- ◆性別で、女性は『自分の健康状態や体力』（23.8%）、男性は『自分のしたい仕事に就けるか』（62.5%）が高くなっている。

【問16】①理想とする「仕事」と「生活」の割合をご記入ください。

仕事	生活	全体 (人)	男性 (人)	女性 (人)	性別無回答(人)				
0.0%	100.0%	0.3%	1	0.7%	1	0.0%	0	0.0%	0
10.0%	90.0%	0.6%	2	1.4%	2	0.0%	0	0.0%	0
20.0%	80.0%	1.5%	5	0.7%	1	2.2%	4	0.0%	0
30.0%	70.0%	9.1%	30	7.4%	11	10.6%	19	0.0%	0
35.0%	65.0%	0.3%	1	0.0%	0	0.6%	1	0.0%	0
40.0%	60.0%	11.9%	39	9.5%	14	14.0%	25	0.0%	0
45.0%	55.0%	1.5%	5	0.7%	1	2.2%	4	0.0%	0
50.0%	50.0%	31.7%	104	31.1%	46	32.4%	58	0.0%	0
60.0%	40.0%	8.5%	28	10.8%	16	6.7%	12	0.0%	0
65.0%	35.0%	0.6%	2	0.7%	1	0.0%	0	100.0%	1
70.0%	30.0%	7.0%	23	12.2%	18	2.8%	5	0.0%	0
80.0%	20.0%	0.9%	3	2.0%	3	0.0%	0	0.0%	0
90.0%	10.0%	0.3%	1	0.0%	0	0.6%	1	0.0%	0
100.0%	0.0%	0.3%	1	0.7%	1	0.0%	0	0.0%	0
無回答		25.3%	83	22.1%	33	27.9%	50	0.0%	0

【問16】②理想とするバランスは実現していますか。(〇はひとつ)

項目	全体	男性	女性	性別無回答
1 実現している	7.6%	6.1%	8.9%	0.0%
2 どちらかと言えば実現している	21.6%	28.4%	15.6%	100.0%
3 あまり実現していない	12.2%	11.5%	12.9%	0.0%
4 実現していない	22.3%	20.3%	24.0%	0.0%
5 わからない	12.8%	12.8%	12.9%	0.0%
6 その他	4.0%	4.7%	3.4%	0.0%
7 無回答	19.5%	16.2%	22.3%	0.0%

◆『その他』(主なもの)

- ・仕事をしていない
- ・過去の経験から答えています。
- ・今は夫婦だけの生活です。これは子育てををしていたら、と思うパーセントです。
- ・実現していた
- ・在職中は仕事を中心でした。特に家庭をかえりみない頃もありました。
- ・実現しなかった
- ・今は働いていないのでもし働いているとすればを想定して記しました。

《分析》

- ◆①理想とする「仕事」と「生活」の割合は、全体および男女別でも、「仕事50%」「生活50%」が30%を超えて高くなっている。
- ◆②理想とするバランスの実現については、「実現している」と「どちらかと言えば実現している」を合わせた割合が29.2%、「実現していない」と「どちらかと言えば実現していない」を合わせた割合が34.5%となっており、5パーセントの僅かな差異となっている。

【問17】現在、就業されている方にお聞きします。あなたの職場において次のようなことをされたことがありますか。以下のそれぞれについて回答してください。(○はそれぞれ1つ)

※注:「無回答」の方は除いています。

	項 目	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
1	男女差がある(賃金・待遇など)	12.5%	19.7%	16.5%	4.6%	34.9%	11.8%
2	男女差がある(管理職は男性が多い)	27.5%	26.8%	11.1%	3.3%	26.1%	5.2%
3	有給休暇制度が取得しづらい	22.2%	13.1%	8.5%	9.2%	36.6%	10.5%
4	育児休業制度が取得しづらい	14.6%	8.6%	10.6%	5.3%	37.8%	23.2%
5	介護休業制度が取得しづらい	11.8%	11.2%	13.8%	5.9%	25.0%	32.2%
6	セクハラがある(性的嫌がらせ)	0.7%	2.0%	12.5%	5.9%	63.8%	15.1%
7	パワハラがある(上司による嫌がらせ等)	6.6%	11.2%	13.2%	10.5%	47.4%	11.2%
8	仕事が多忙である	28.8%	24.2%	20.9%	7.8%	15.7%	2.6%
9	ストレスが多い	28.8%	28.1%	19.0%	6.5%	14.4%	3.3%
10	男女ともにいきいきと仕事をしている	6.6%	28.3%	35.5%	11.8%	7.2%	10.5%
11	職場環境が良く充実して仕事ができる	9.3%	31.1%	33.1%	9.3%	13.3%	4.0%
12	有給休暇制度に理解がある	28.3%	28.3%	11.8%	7.9%	11.8%	11.8%
13	育児休業制度の取得に理解がある	27.2%	17.9%	13.3%	4.6%	9.9%	27.2%
14	介護休業制度の取得に理解がある	15.9%	17.2%	17.9%	6.0%	9.9%	33.1%

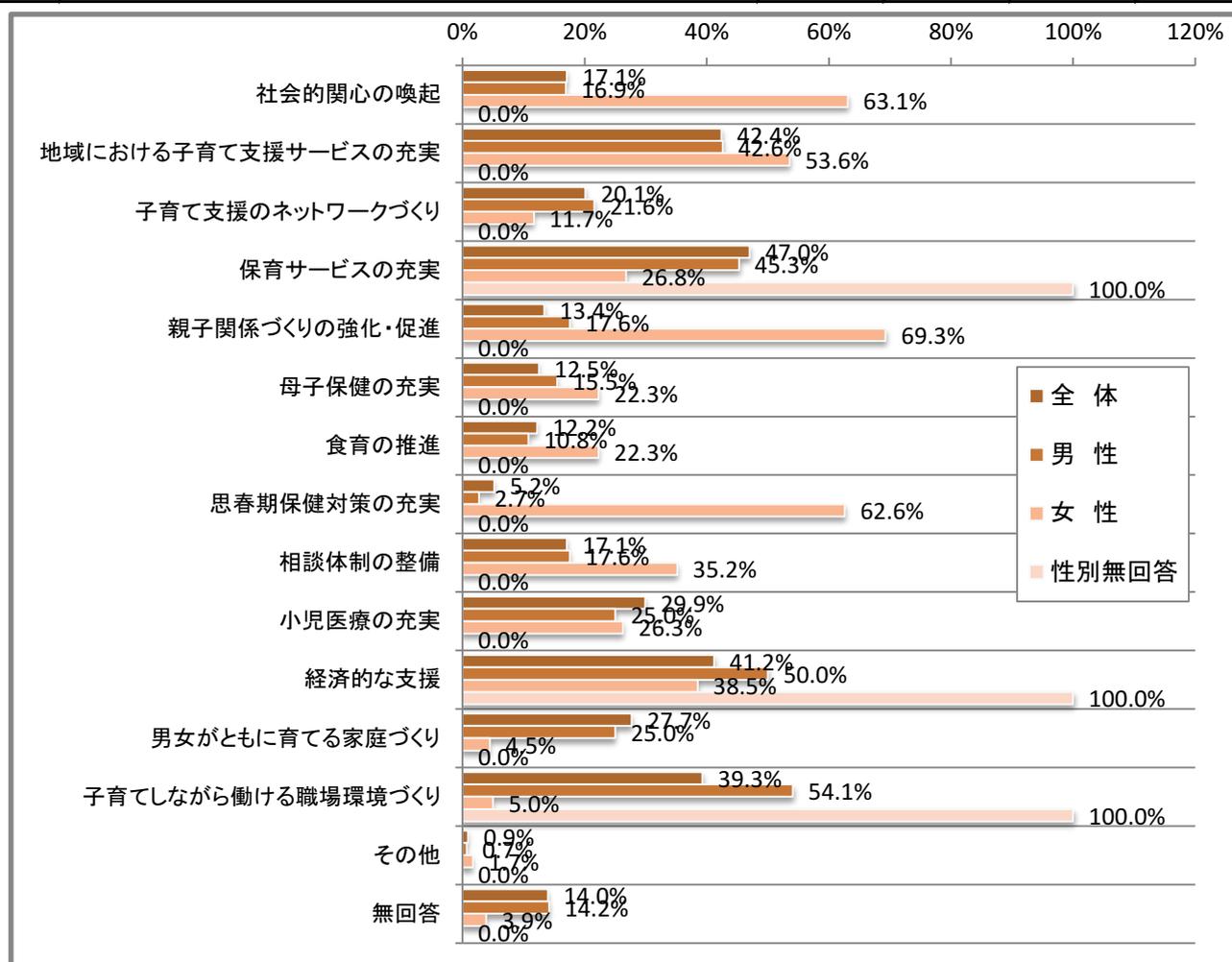
#### 《分析》

- ◆全体としては『仕事が多忙』と『ストレスが多い』が28.8%と同じ割合であり、次いで『有給休暇制度に理解がある』(28.3%)、『男女差がある(賃金・待遇など)』(12.5%)となっている。
- ◆『有給休暇制度に理解がある』(28.3%)、『育児休業制度の取得に理解がある』(27.2%)となっているのに対し『介護休業制度の取得に理解がある』が15.9%、『育児休業制度』、『介護休暇制度が取得しづらい』が10%台となっている。

## IV 子育て・介護について

【問18】 子育てについて、どのような支援が必要だと思いますか。(〇は5つまで)

	項目	全体	男性	女性	性別無回答
1	社会的関心の喚起	17.1%	16.9%	63.1%	0.0%
2	地域における子育て支援サービスの充実	42.4%	42.6%	53.6%	0.0%
3	子育て支援のネットワークづくり	20.1%	21.6%	11.7%	0.0%
4	保育サービスの充実	47.0%	45.3%	26.8%	100.0%
5	親子関係づくりの強化・促進	13.4%	17.6%	69.3%	0.0%
6	母子保健の充実	12.5%	15.5%	22.3%	0.0%
7	食育の推進	12.2%	10.8%	22.3%	0.0%
8	思春期保健対策の充実	5.2%	2.7%	62.6%	0.0%
9	相談体制の整備	17.1%	17.6%	35.2%	0.0%
10	小児医療の充実	29.9%	25.0%	26.3%	0.0%
11	経済的な支援	41.2%	50.0%	38.5%	100.0%
12	男女がともに育てる家庭づくり	27.7%	25.0%	4.5%	0.0%
13	子育てしながら働ける職場環境づくり	39.3%	54.1%	5.0%	100.0%
14	その他	0.9%	0.7%	1.7%	0.0%
15	無回答	14.0%	14.2%	3.9%	0.0%



◆『その他』(主なもの)

- ・核家族化しているところは税をかける

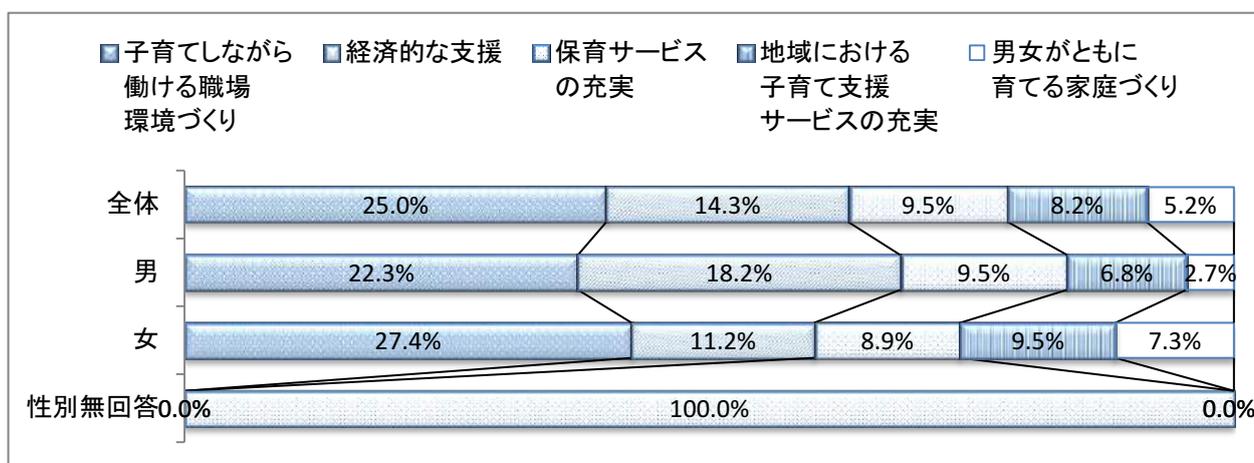
《分析》

- ◆全体として、『保育サービスの充実』(47.0%)、次いで『地域における子育て支援サービスの充実』(42.4%)、『経済的な支援』(41.2%)、『子育てしながら働ける職場環境づくり』(39.3%)となっている。
- ◆性別で、女性は『親子関係づくりの強化・促進』(69.3%)、『社会的関心の喚起』(63.1%)、『思春期保健対策の充実』(62.6%)と、60%を超え、高くなっている。男性は『子育てしながら働ける職場環境づくり』(54.1%)、『経済的支援』(50%)となっている。

【問18-1】問18で、特に子育て支援に重要だと思われる項目を選んでください。(〇は1つ)

これから働きたいと思えますか。(〇は1つ)

性別	子育てしながら働ける職場環境づくり	経済的な支援	保育サービスの充実	地域における子育て支援サービスの充実	男女がともに育てる家庭づくり
全体	25.0%	14.3%	9.5%	8.2%	5.2%
男	22.3%	18.2%	9.5%	6.8%	2.7%
女	27.4%	11.2%	8.9%	9.5%	7.3%
性別無回答	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

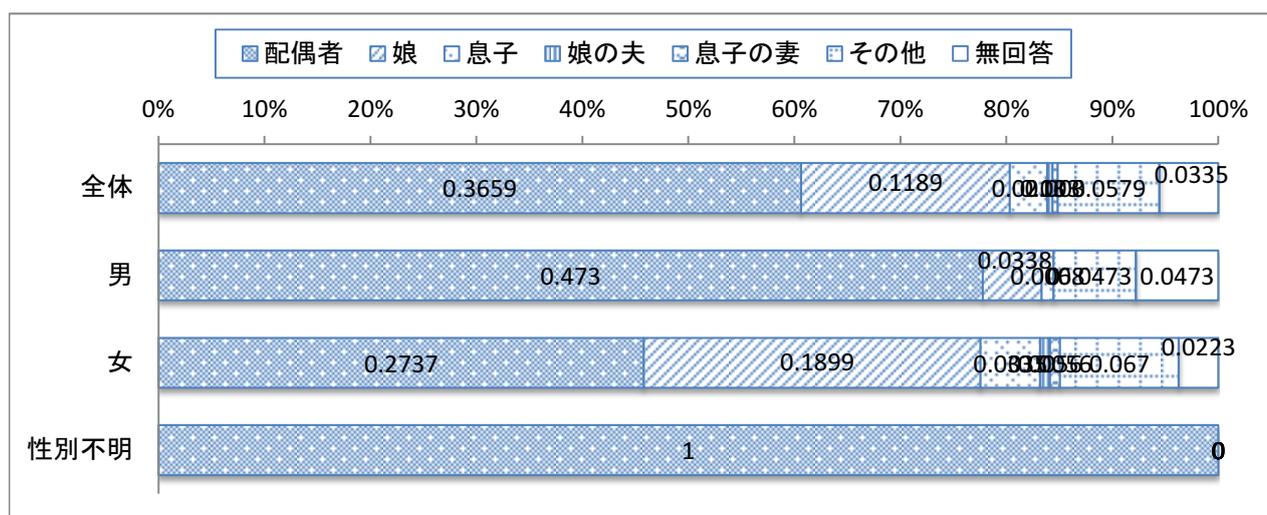


《分析》

- ◆全体と性別で、『子育てしながら働ける職場環境づくり』が20%を超えており、全体が25.0%、女性27.4%、男性22.3%となっている。

【問19】あなたが自身が「介護」が必要となった時、誰に介護をしてもらいたいと思いますか。  
(○は1つ)

性別	配偶者	娘	息子	娘の夫	息子の妻	ホームヘルパー	介護施設等の職員	その他	無回答
全体	36.6%	11.9%	2.1%	0.3%	0.3%	8.5%	31.1%	5.8%	3.4%
男	47.3%	3.4%	0.7%	0.0%	0.0%	6.8%	32.4%	4.7%	4.7%
女	27.4%	19.0%	3.4%	0.6%	0.6%	10.1%	30.2%	6.7%	2.2%
性別無回答	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



◆『その他』（主なもの）

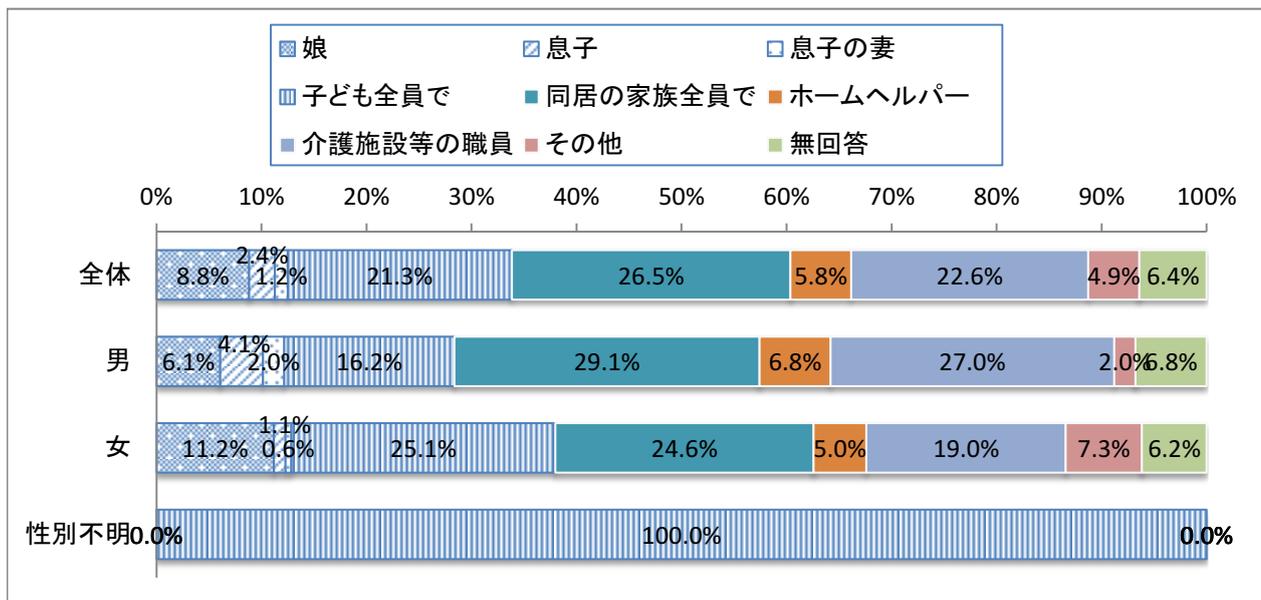
- ・介護してもらいたくない
- ・1人暮らし
- ・特に考えたことがない
- ・介護施設に入居したい。
- ・今はわかりません
- ・誰でもいい
- ・出身地に帰る
- ・介護してもらおう状態になりたくない

《分析》

- ◆全体として、『配偶者』（36.6%）、『介護施設等の職員』（31.1%）の割合が高い。
- ◆性別で、女性では『介護施設等の職員』（30.2%）、『配偶者』（27.4%）となっており、男性では、『配偶者』（47.3%）、『介護施設等の職員』（32.4%）の割合が高くなっている。

【問20】 親の「介護」について、主に誰が介護をしたらよいと思いますか。(〇は1つ)

性別	娘	息子	息子の妻	娘の夫	子ども全員で	同居の家族全員で	ホームヘルパー	介護施設等の職員	その他	無回答
全体	8.8%	2.4%	1.2%	0.0%	21.3%	26.5%	5.8%	22.6%	4.9%	6.4%
男	6.1%	4.1%	2.0%	0.0%	16.2%	29.1%	6.8%	27.0%	2.0%	6.8%
女	11.2%	1.1%	0.6%	0.0%	25.1%	24.6%	5.0%	19.0%	7.3%	6.2%
性別無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



◆『その他』（主なもの）

- ・介護の出来る状況にある人なら誰でもよい
- ・家族と介護施設の充実・併用 家族だけでは無理
- ・同居していなくても、家族全員で
- ・家族とホームヘルパーさんとの協力体制で
- ・子ども夫婦
- ・ホームヘルパーのようなプロと子ども
- ・介護の程度にもよると思います。家族が心身ともに負担にならないように、施設を利用したりしています。
- ・その時の状況によって色々選択だといひ。必要時に施設入所がすぐできる環境
- ・出来れば介護ができる者は複数いた方が望ましい
- ・出来る範囲で、皆で
- ・家族全員で介護施設、ホームヘルパーを利用する
- ・地域、家族、ヘルパー

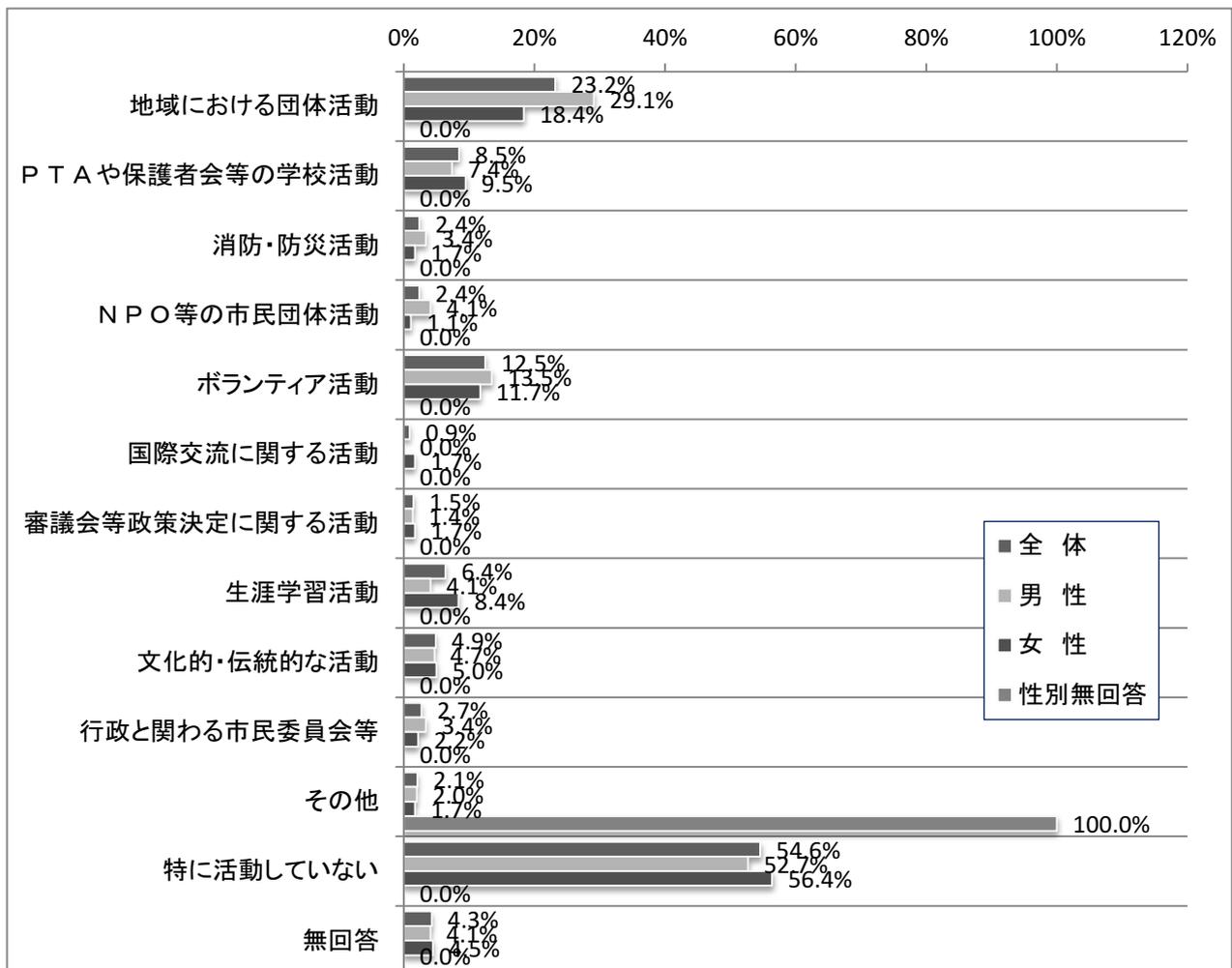
《分析》

- ◆全体として、『同居の家族全員で』（26.5%）の割合が高くなっており、次いで、『介護施設等の職員』（22.6%）、『子ども全員で』（21.3%）となっている。
- ◆性別で、女性は『子ども全員で』（25.1%）、『同居の家族全員で』（24.6%）となっており、男性では『同居の家族全員で』（29.1%）、次いで『介護施設等の職員』（27%）となっている。

## V 地域活動等について

【問21】 現在、あなたが活動しているものを選んでください。(〇はいくつでも)

項目	全体	男性	女性	性別無回答
1 自治会、子ども会等の地域における団体活動	23.2%	29.1%	18.4%	0.0%
2 PTAや保護者会等の学校活動	2.7%	2.0%	3.4%	0.0%
3 消防・防災活動	0.3%	0.7%	0.0%	0.0%
4 NPO等の市民団体活動(まちづくり、社会福祉、環境等)	0.3%	0.7%	0.0%	0.0%
5 ボランティア活動	7.3%	6.1%	8.4%	0.0%
6 国際交流に関する活動	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7 審議会等政策決定に関する活動	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8 生涯学習活動	3.0%	1.4%	4.5%	0.0%
9 文化的・伝統的な活動	1.8%	2.0%	1.7%	0.0%
10 行政と関わる市民委員会等	0.9%	0.7%	1.1%	0.0%
11 その他	1.8%	1.4%	1.7%	100.0%
12 特に活動していない	54.3%	52.0%	56.4%	0.0%
13 無回答	4.3%	4.1%	4.5%	0.0%



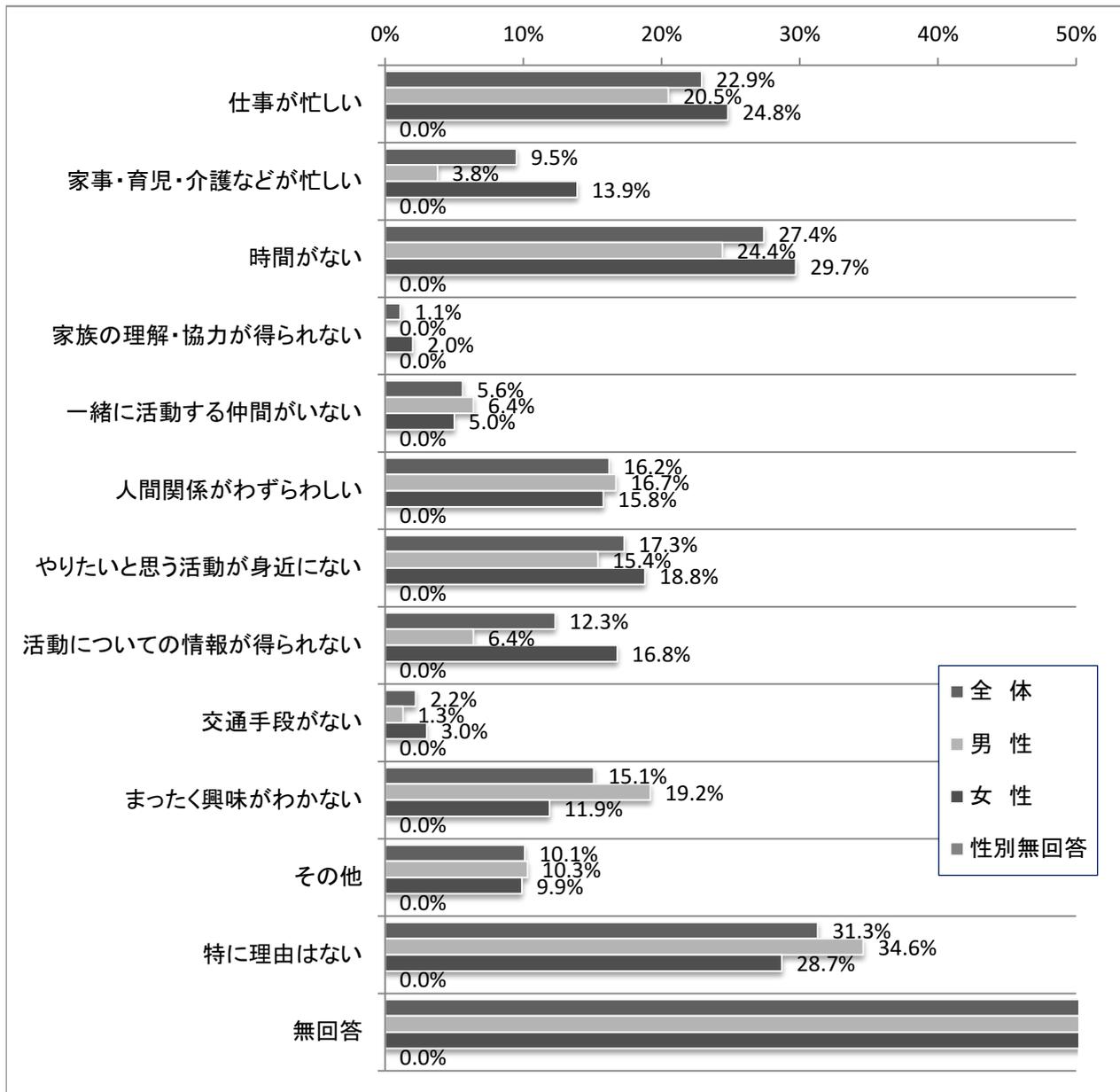
《分析》

- ◆全体として、『特に活動していない』（54.3%）が、最も高くなっている。
- ◆性別で、男女ともに同じ順番で割合が高くなっており、『特に活動していない』、『自治会、子ども会等の地域における団体活動』、『ボランティア活動』がそれぞれ、女性では56.4%、18.4%、8.4%で、男性では52.0%、29.1%、6.1%となっている。
- ◆その他はすべて、10%未満となっている。

【問21-1】 問21で、「12 特に活動していない」に回答された方におたずねします。

その理由は何ですか。（〇はいくつでも）

	項 目	全 体	男 性	女 性	性別無回答
1	仕事が忙しい	22.9%	20.5%	24.8%	0.0%
2	家事・育児・介護などが忙しい	9.5%	3.8%	13.9%	0.0%
3	時間がない	27.4%	24.4%	29.7%	0.0%
4	家族の理解・協力が得られない	1.1%	0.0%	2.0%	0.0%
5	一緒に活動する仲間がいない	5.6%	6.4%	5.0%	0.0%
6	人間関係がわずらわしい	16.2%	16.7%	15.8%	0.0%
7	やりたいと思う活動が身近にない	17.3%	15.4%	18.8%	0.0%
8	活動についての情報が得られない	12.3%	6.4%	16.8%	0.0%
9	交通手段がない	2.2%	1.3%	3.0%	0.0%
10	まったく興味がわからない	15.1%	19.2%	11.9%	0.0%
11	その他	10.1%	10.3%	9.9%	0.0%
12	特に理由はない	31.3%	34.6%	28.7%	0.0%
13	無回答	82.1%	91.0%	74.3%	0.0%



《分析》

- ◆全体として、『特に理由はない』（31.3%）の割合が高くなっている。
- ◆性別で、女性は『時間がない』（29.7%）、『仕事が忙しい』（24.8%）の順で割合が高くなっており、男性は『特に理由はない』（34.6%）、『時間がない』（24.4%）、『仕事が忙しい』（20.5%）の順で割合が高くなっている。

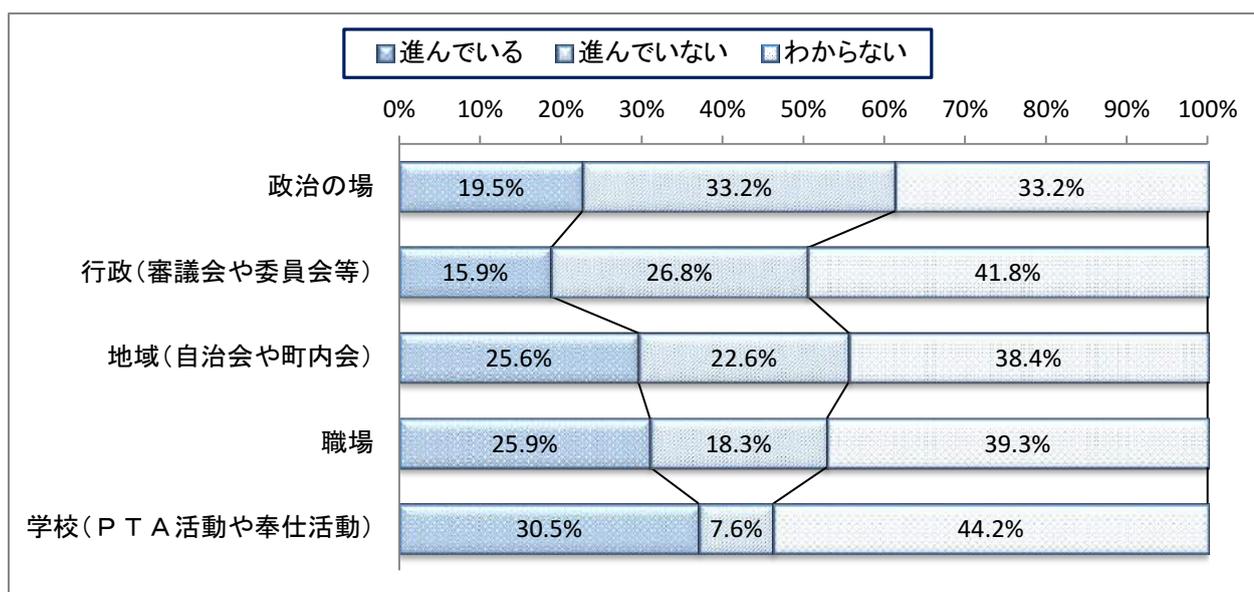
## VI 政策・方針決定の場への参画について

【問22】 次のそれぞれの場で女性の参画が進んでいるかどうかお答えください。

また、「進んでいない」と回答された方は、その主な理由を下記の「理由欄」から選んで番号を記入してください。(○はそれぞれ1つ、理由もそれぞれ1つ)

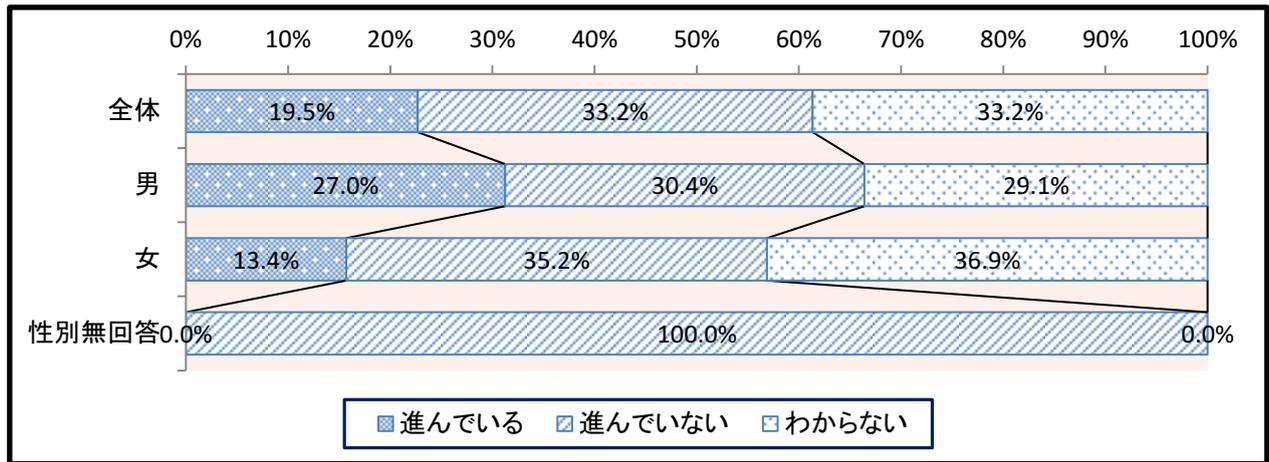
※注:「無回答」の方は除いています。

	項目	進んでいる	進んでいない	わからない
1	政治の場	19.5%	33.2%	33.2%
2	行政(審議会や委員会等)	15.9%	26.8%	41.8%
3	地域(自治会や町内会)	25.6%	22.6%	38.4%
4	職場	25.9%	18.3%	39.3%
5	学校(PTA活動や奉仕活動)	30.5%	7.6%	44.2%

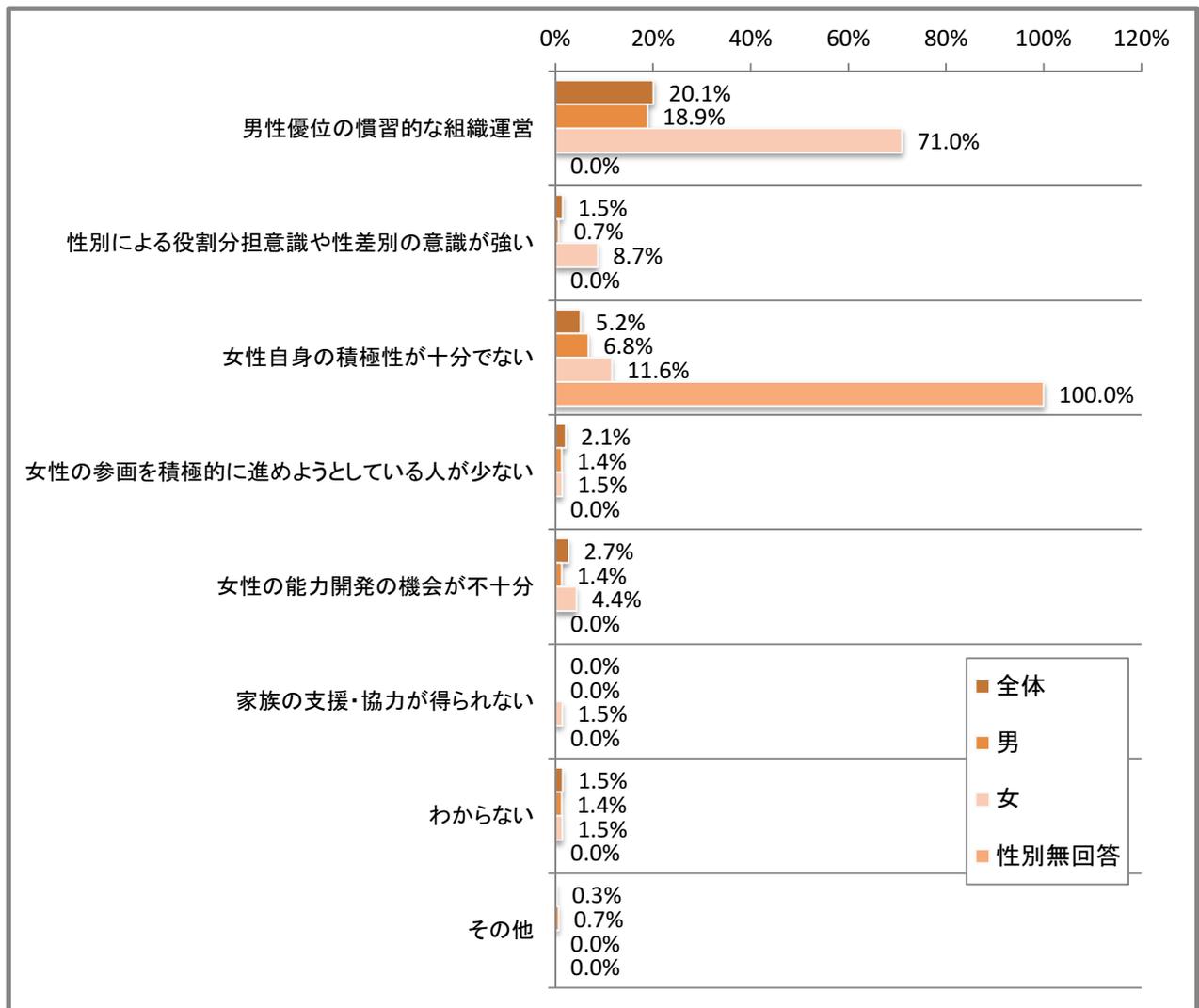


《分析》

◆全体として、『進んでいる』の割合は「学校(P T A 活動や奉仕活動)」(30.5%)が最も高くなっており、『進んでいない』は『政治の場』(33.2%)が最も高くなっている。



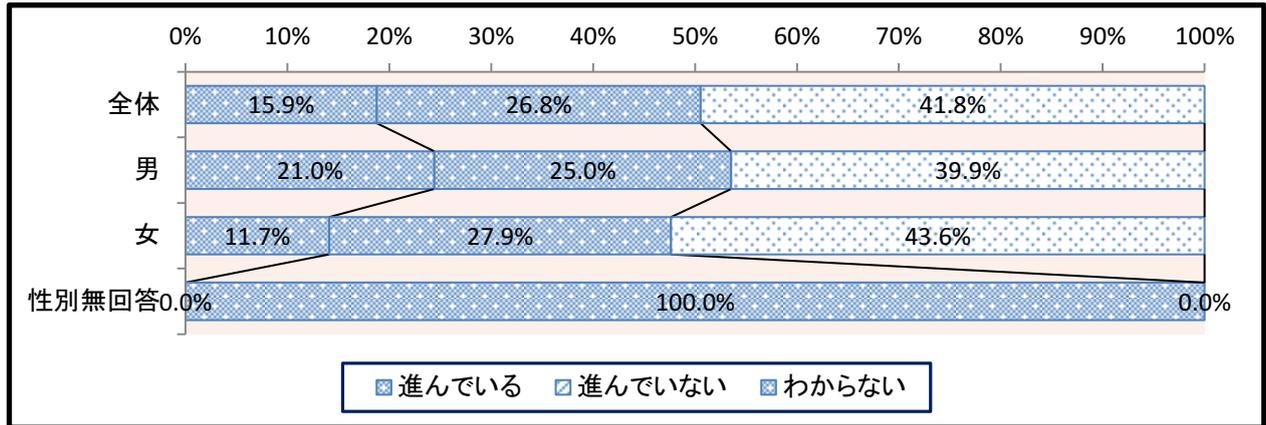
◎「進んでいない」と回答された方の主な理由



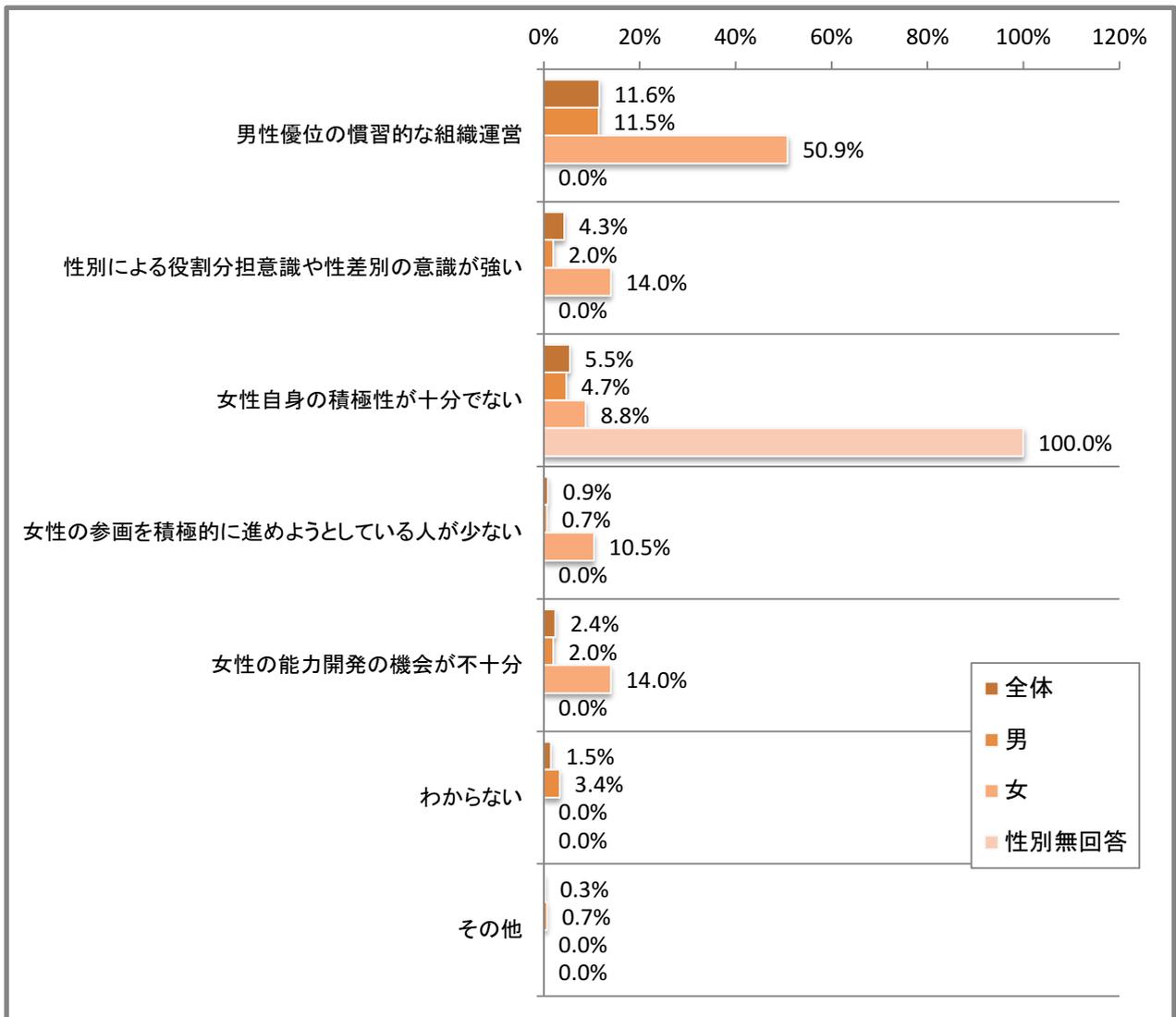
《分析》

◆全体として、『進んでいない』理由は「男性優位の慣習的な組織運営」（20.1%）となっている。

2 行政(審議会や委員会等)

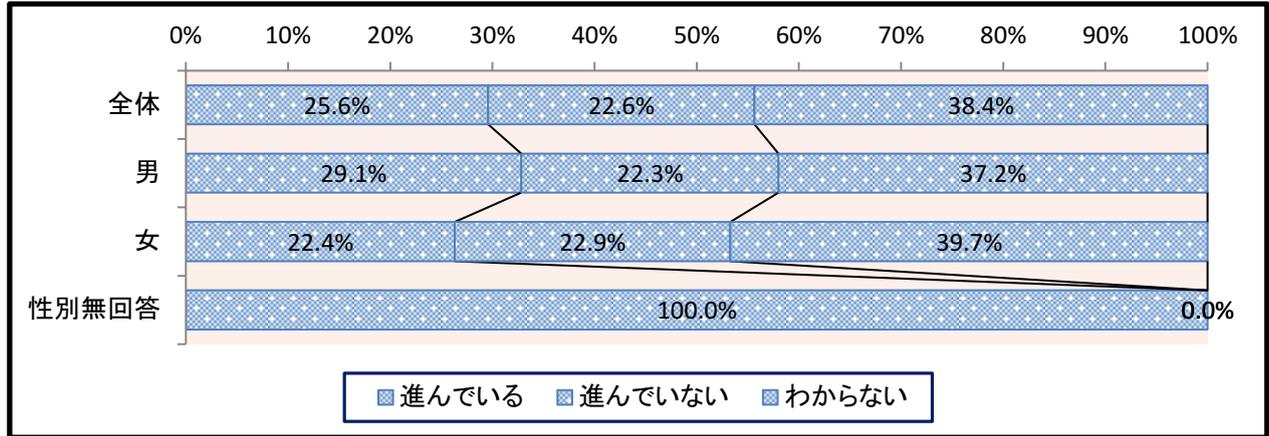


◎「進んでいない」と回答された方の主な理由

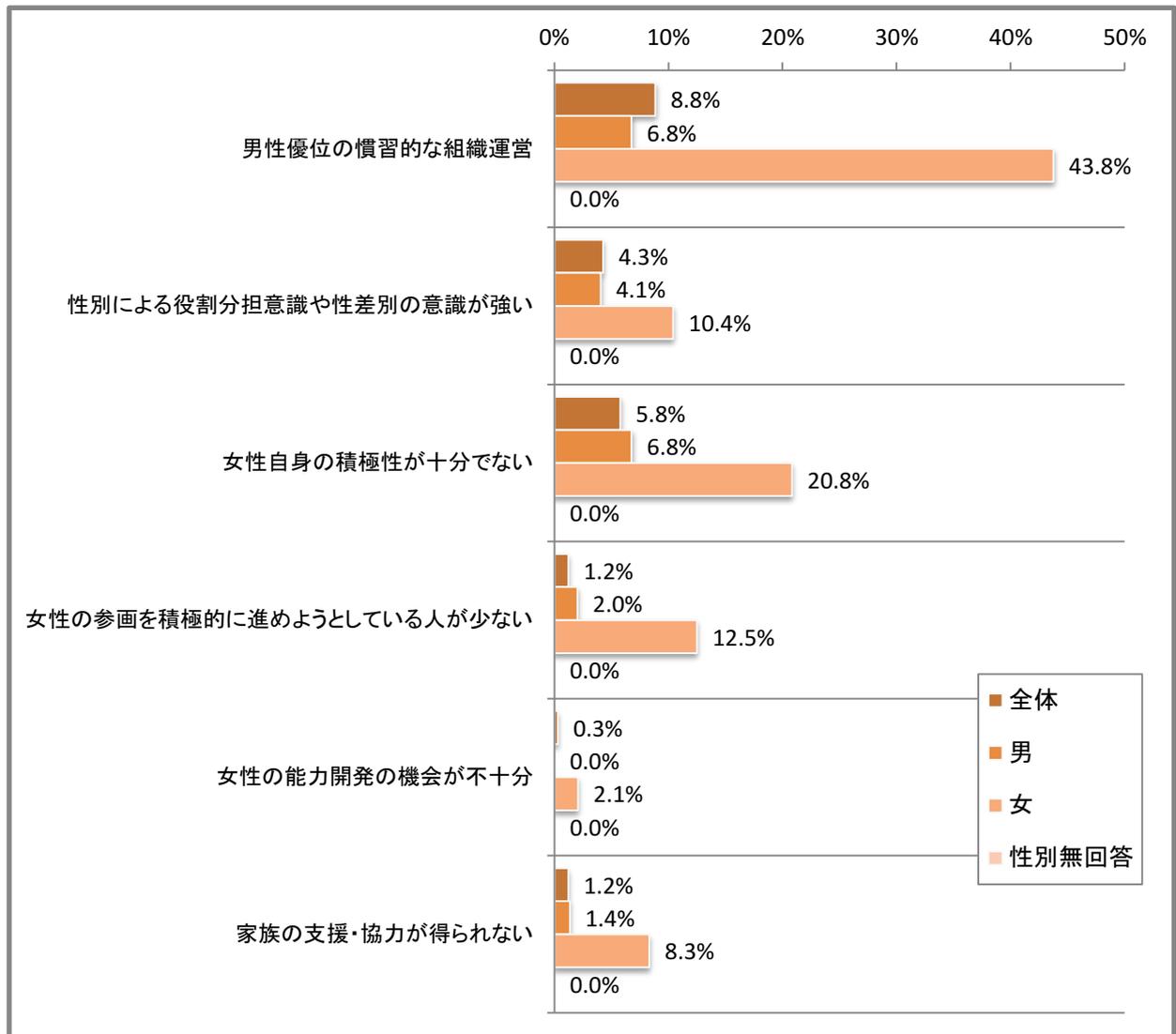


《分析》

◆性別で、『進んでいない』理由は、前回調査と同様に、男女ともに『男性優位の慣習的な組織運営』で、女性が50.9%と突出して高くなっており、男性は11.5%となっている。

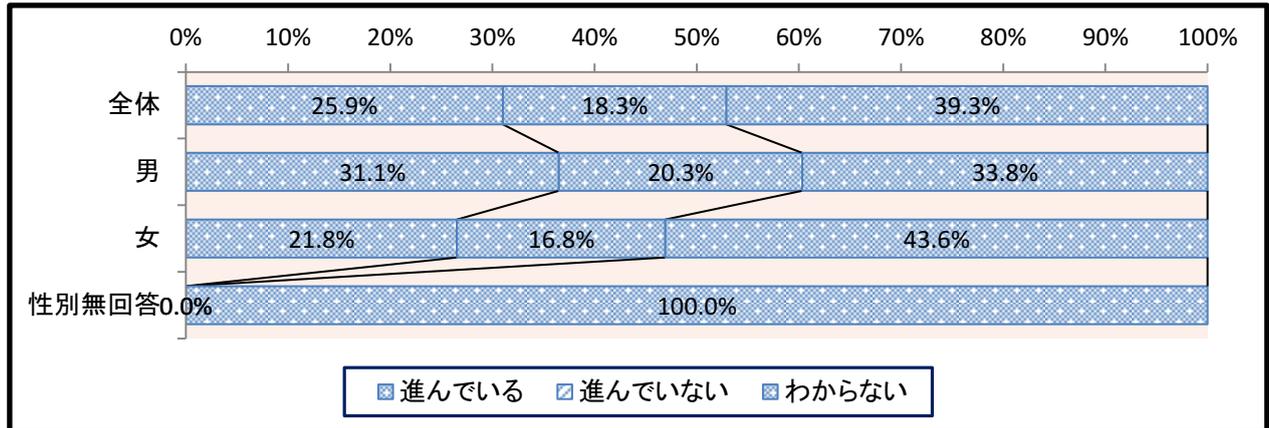


### ◎「進んでいない」と回答された方の主な理由

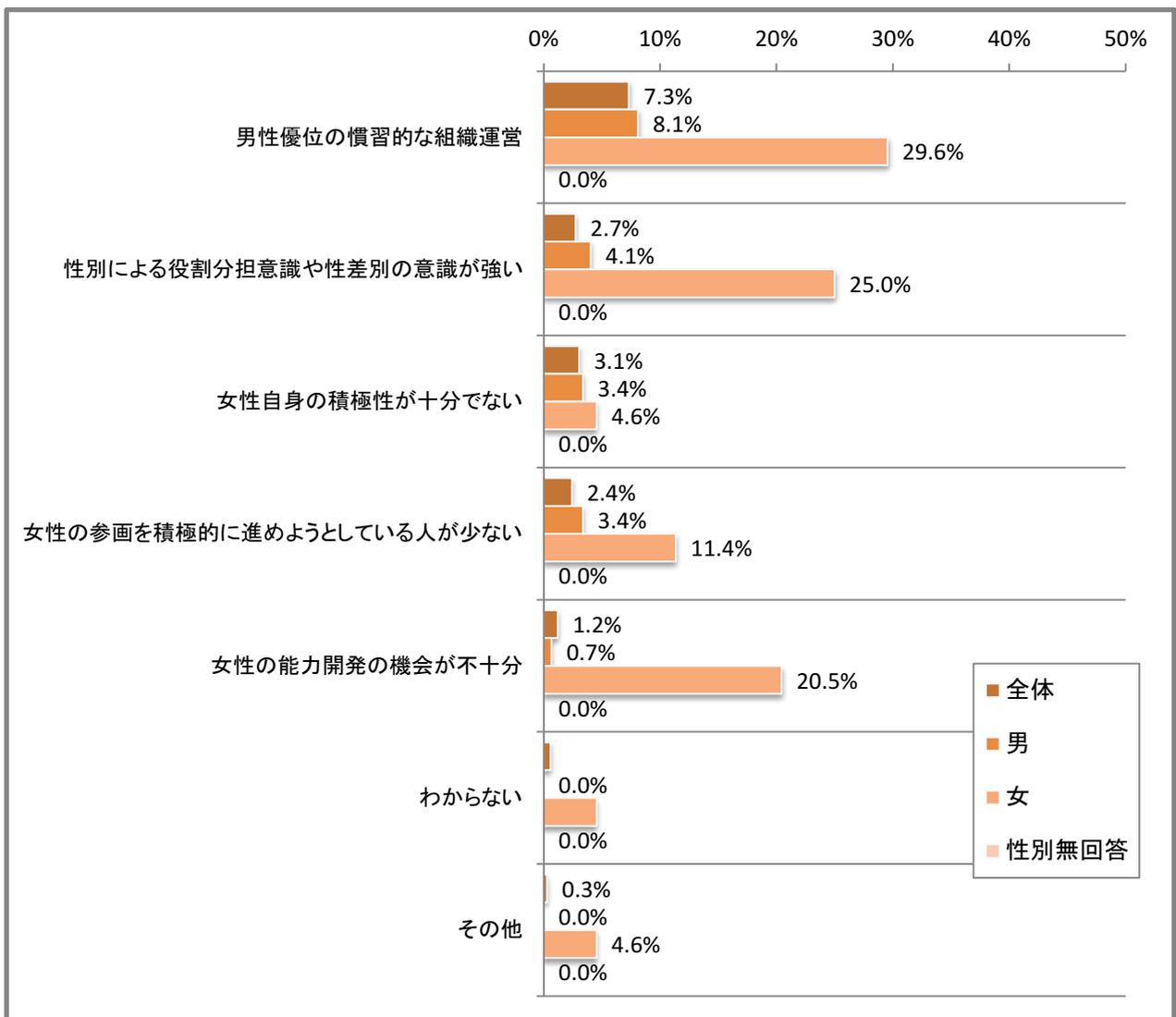


### 《分析》

- ◆性別で、『進んでいない』理由は、女性は「男性優位の慣習的な組織運営」（43.8%）で最も高くなっており、男性は同率で『男性優位の慣習的な組織運営』と「女性自身の積極性が十分でない」が6.8%となっている。

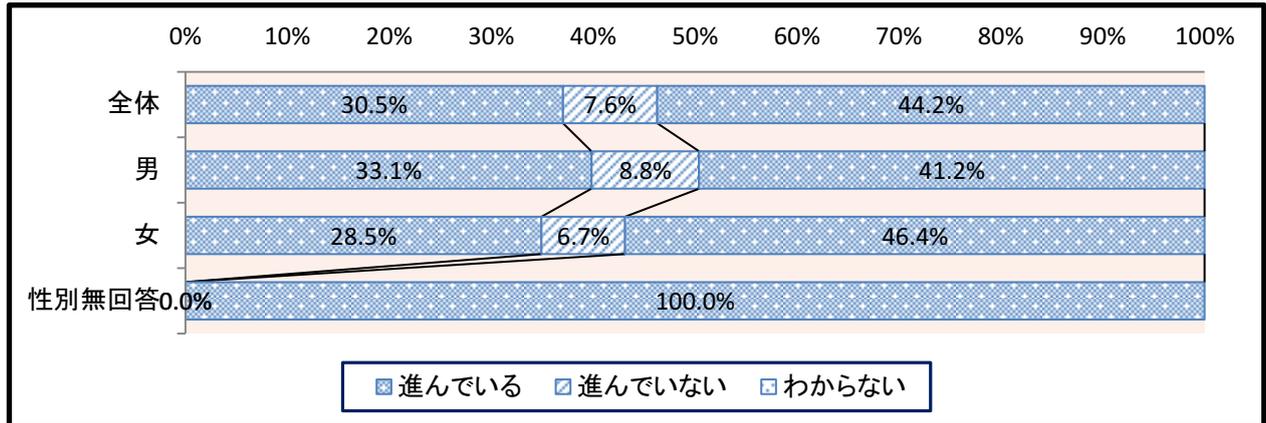


◎「進んでいない」と回答された方の主な理由

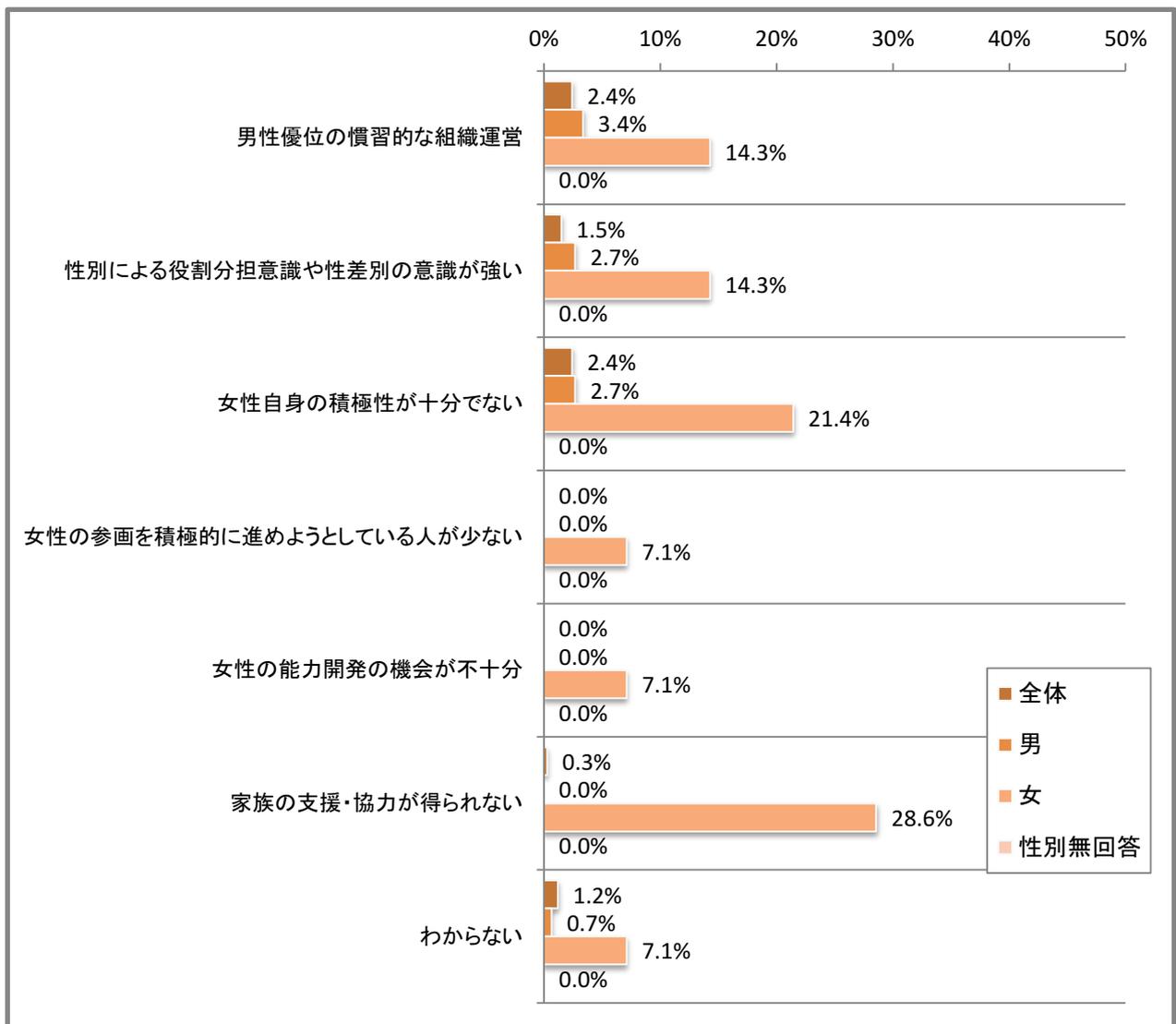


《分析》

- ◆性別で、『進んでいない』理由は、女性は「男性優位の慣習的な組織運営」（29.6%）、「性別による役割分担意識や性差別の意識が強い」（25.0%）、「女性の能力開発の機会が不十分」（20.5%）の順で割合が高くなっており、男性は「男性優位の慣習的な組織運営」（8.1%）と10%未満となっている。



◎「進んでいない」と回答された方の主な理由



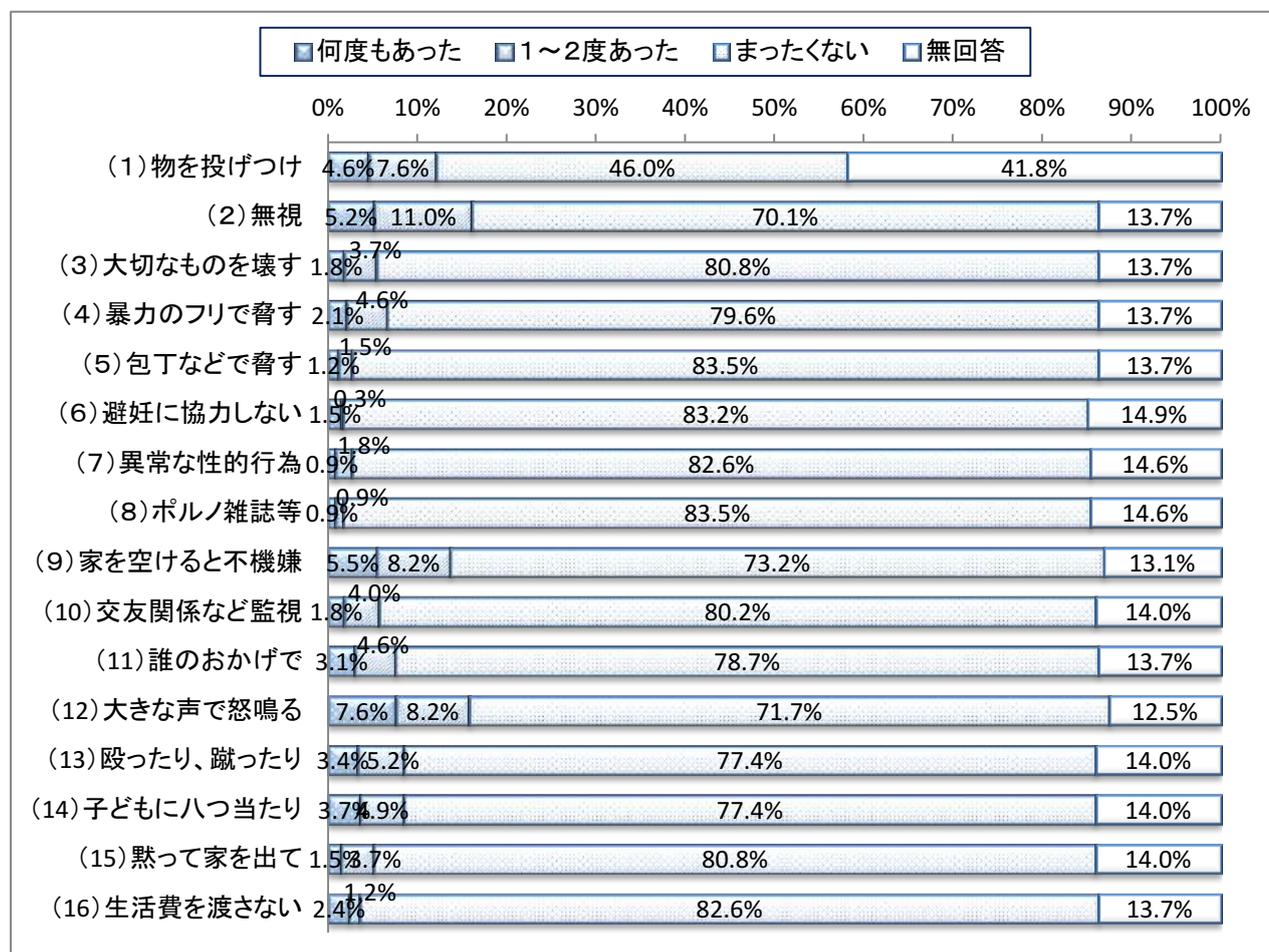
《分析》

- ◆性別で、『進んでいない』理由は、女性は『家族の支援・協力が得られない』（28.6%）、次いで『女性自身の積極性が十分でない』（21.4%）、の割合が高くなっており、男性は、『男性優位の慣習的な組織運営』（3.4%）となっている。

## Ⅶ 配偶者や恋人等から受ける、暴力等について

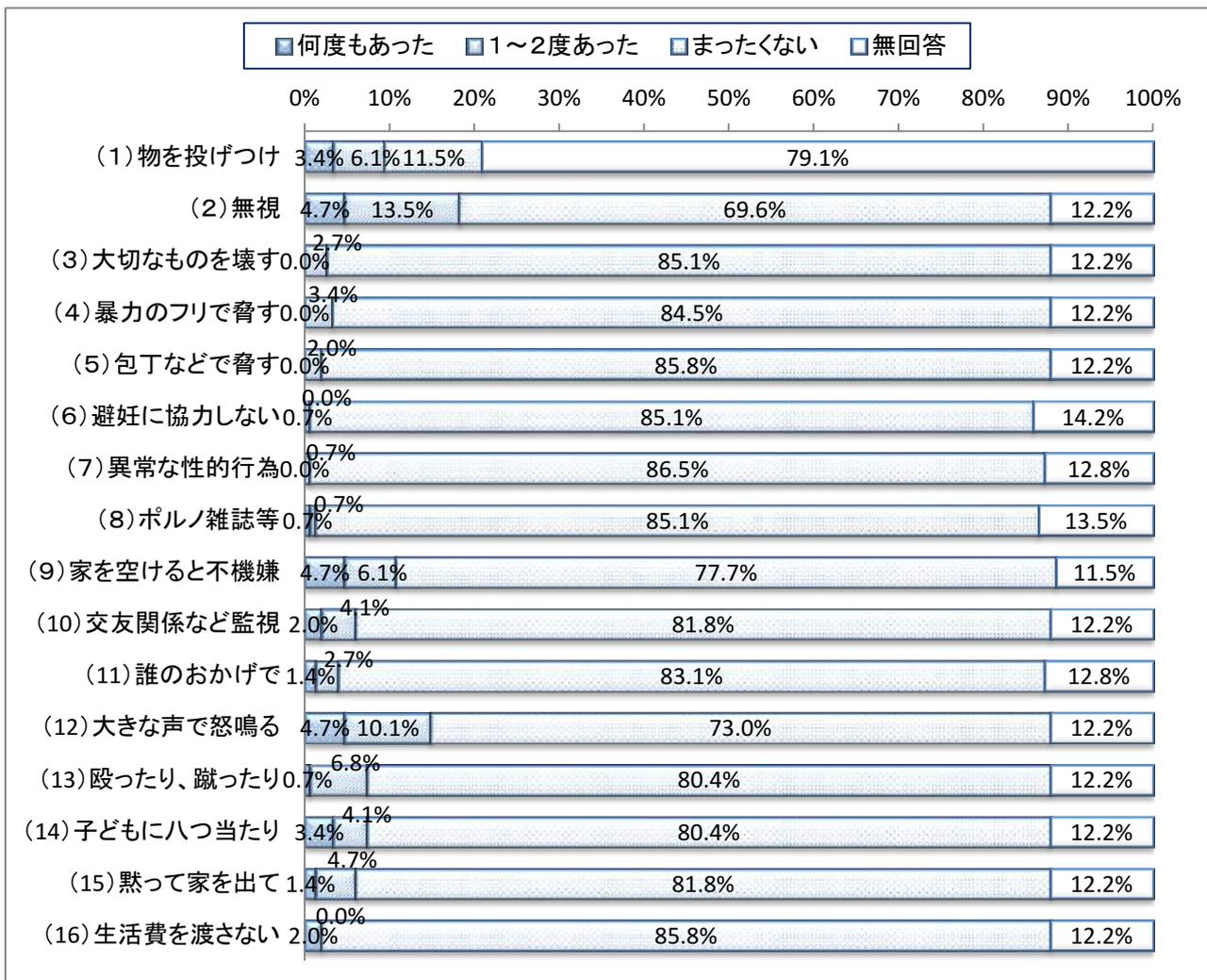
【問23】 あなたはこれまでに配偶者(配偶者と離別または死別された方もお答えください)や恋人等から次のようなことをされたことがありますか。(○はそれぞれ1つ)

項目	何度もあった	1～2度あった	まったくない	無回答
1 物を投げつけたり、壊したりする	4.6%	7.6%	46.0%	41.8%
2 何を言っても無視する	5.2%	11.0%	70.1%	13.7%
3 大切にしているものを、わざと壊したり捨てたりする	1.8%	3.7%	80.8%	13.7%
4 暴力を振るうフリをして脅す	2.1%	4.6%	79.6%	13.7%
5 包丁などで脅す	1.2%	1.5%	83.5%	13.7%
6 避妊に協力しない	1.5%	0.3%	83.2%	14.9%
7 異常な性的行為を強要する	0.9%	1.8%	82.6%	14.6%
8 無理やりポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	0.9%	0.9%	83.5%	14.6%
9 家を空けると不機嫌になる	5.5%	8.2%	73.2%	13.1%
10 交友関係や携帯電話などを細かく監視する	1.8%	4.0%	80.2%	14.0%
11 「誰のおかげで食べていかれるのか」などと言う	3.1%	4.6%	78.7%	13.7%
12 大きな声で怒鳴る	7.6%	8.2%	71.7%	12.5%
13 殴ったり、蹴ったりする	3.4%	5.2%	77.4%	14.0%
14 子どもに八つ当たりする	3.7%	4.9%	77.4%	14.0%
15 黙って家を出て行き、連絡してこない	1.5%	3.7%	80.8%	14.0%
16 生活費を渡さない	2.4%	1.2%	82.6%	13.7%



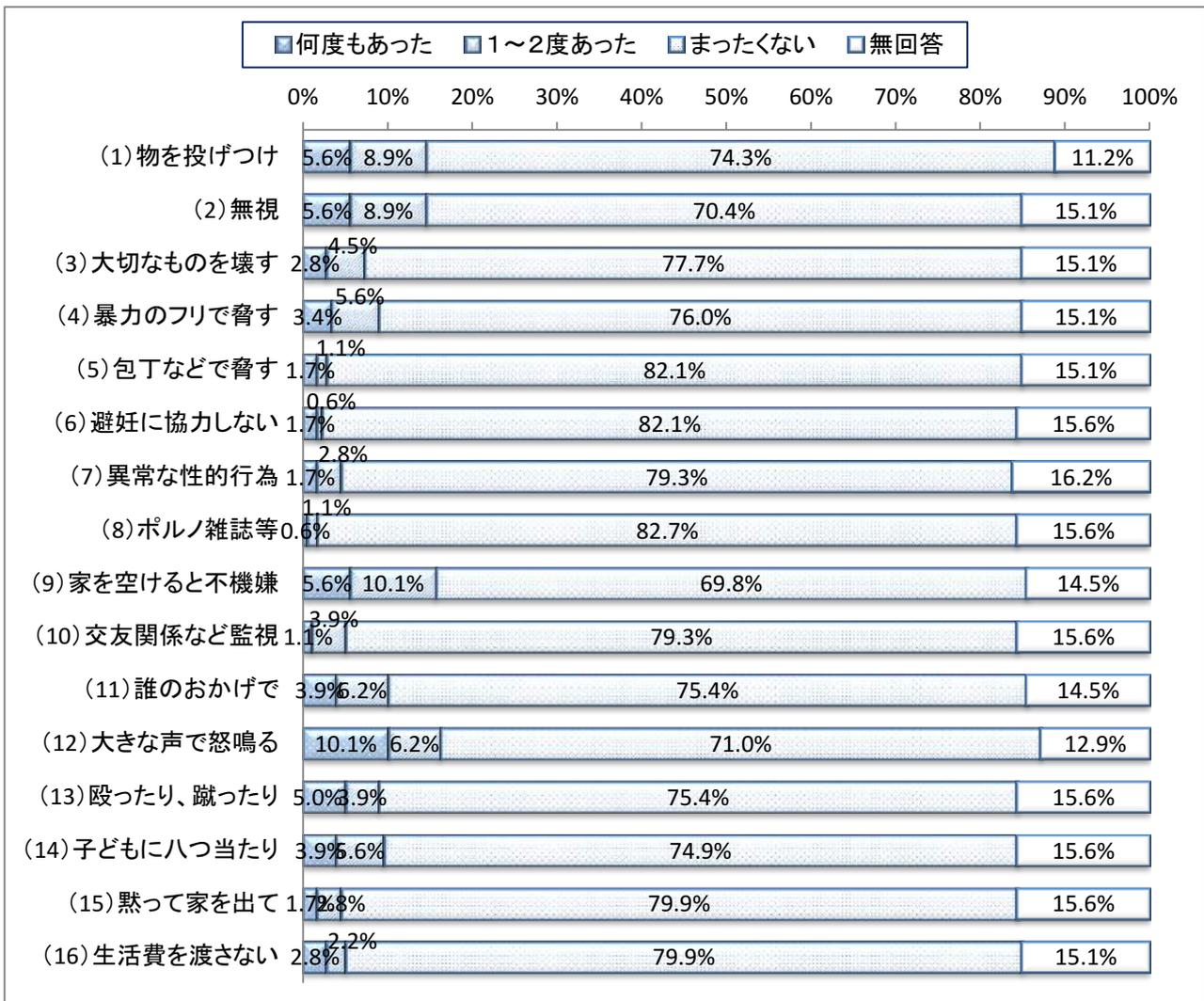
★男性

	項目	何度もあった	1～2度あった	まったくない	無回答
1	物を投げつけたり、壊したりする	3.4%	6.1%	11.5%	79.1%
2	何を言っても無視する	4.7%	13.5%	69.6%	12.2%
3	大切にしているものを、わざと壊したり捨てたりする	0.0%	2.7%	85.1%	12.2%
4	暴力を振るうフリをして脅す	0.0%	3.4%	84.5%	12.2%
5	包丁などで脅す	0.0%	2.0%	85.8%	12.2%
6	避妊に協力しない	0.7%	0.0%	85.1%	14.2%
7	異常な性的行為を強要する	0.0%	0.7%	86.5%	12.8%
8	無理やりポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	0.7%	0.7%	85.1%	13.5%
9	家を空けると不機嫌になる	4.7%	6.1%	77.7%	11.5%
10	交友関係や携帯電話などを細かく監視する	2.0%	4.1%	81.8%	12.2%
11	「誰のおかげで食べていかれるのか」などと言う	1.4%	2.7%	83.1%	12.8%
12	大きな声で怒鳴る	4.7%	10.1%	73.0%	12.2%
13	殴ったり、蹴ったりする	0.7%	6.8%	80.4%	12.2%
14	子どもに八つ当たりする	3.4%	4.1%	80.4%	12.2%
15	黙って家を出て行き、連絡してこない	1.4%	4.7%	81.8%	12.2%
16	生活費を渡さない	2.0%	0.0%	85.8%	12.2%



★女性

	項目	何度もあった	1～2度あった	まったくない	無回答
1	物を投げつけたり、壊したりする	5.6%	8.9%	74.3%	11.2%
2	何を言っても無視する	5.6%	8.9%	70.4%	15.1%
3	大切にしているものを、わざと壊したり捨てたりする	2.8%	4.5%	77.7%	15.1%
4	暴力を振るうフリをして脅す	3.4%	5.6%	76.0%	15.1%
5	包丁などで脅す	1.7%	1.1%	82.1%	15.1%
6	避妊に協力しない	1.7%	0.6%	82.1%	15.6%
7	異常な性的行為を強要する	1.7%	2.8%	79.3%	16.2%
8	無理やりポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	0.6%	1.1%	82.7%	15.6%
9	家を空けると不機嫌になる	5.6%	10.1%	69.8%	14.5%
10	交友関係や携帯電話などを細かく監視する	1.1%	3.9%	79.3%	15.6%
11	「誰のおかげで食べていかれるのか」などと言う	3.9%	6.2%	75.4%	14.5%
12	大きな声で怒鳴る	10.1%	6.2%	71.0%	12.9%
13	殴ったり、蹴ったりする	5.0%	3.9%	75.4%	15.6%
14	子どもに八つ当たりする	3.9%	5.6%	74.9%	15.6%
15	黙って家を出て行き、連絡してこない	1.7%	2.8%	79.9%	15.6%
16	生活費を渡さない	2.8%	2.2%	79.9%	15.1%

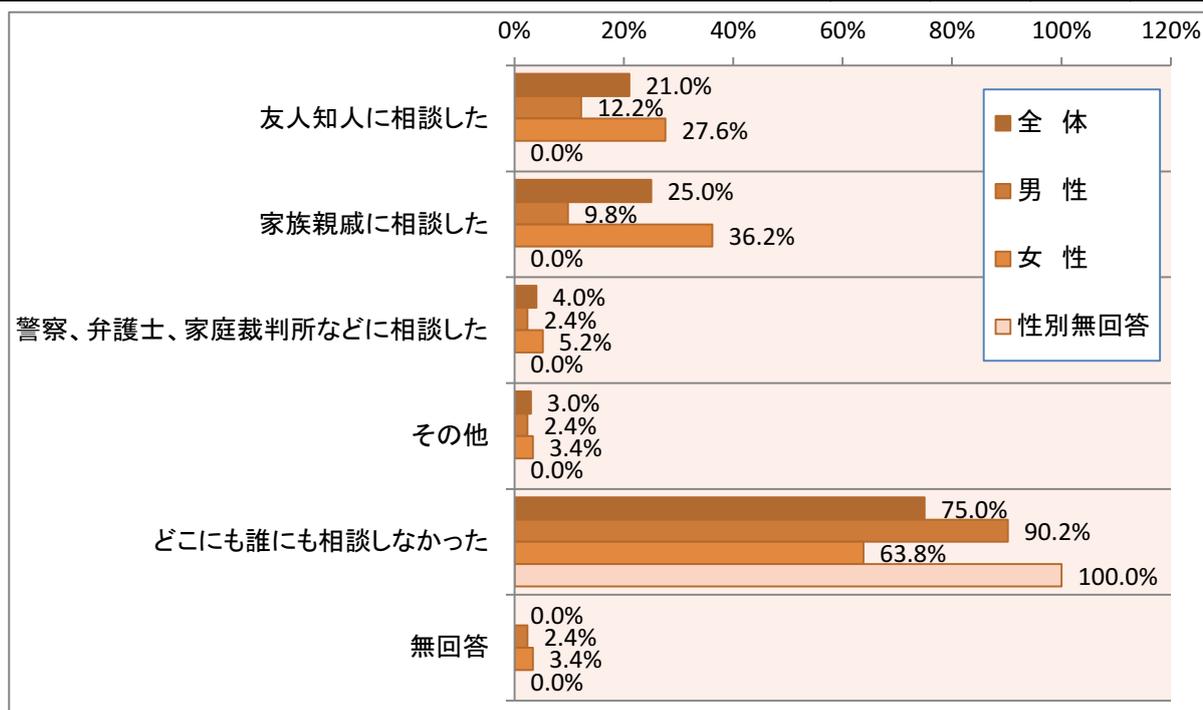


《分析》

- ◆全体として、『何度もあった』は、「大きな声で怒鳴る」（7.6%）が最も割合が高くなっており、『1～2度あった』は、「何を言っても無視する」（11.0%）が最も割合が高くなっている。
- ◆性別で、『何度もあった』は、「大きな声で怒鳴る」が女性（10.1%）となっており、他の項目は10%未満となっている。
- ◆性別で「1～2度あった」は、女性が『家を空けると不機嫌になる』（10.1%）、男性は『大きな声で怒鳴る』（10.1%）となっている。

**【問23-1】** 問23で、1つでも「何どもあった」、「1～2度あった」とお答えの方にお聞きします。それらを受けた時、あなたは誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。  
 （当てはまるものすべてに○してください）

	項 目	全 体	男 性	女 性	性別無回答
1	友人知人に相談した	21.0%	12.2%	27.6%	0.0%
2	家族親戚に相談した	25.0%	9.8%	36.2%	0.0%
3	警察、弁護士、家庭裁判所などに相談した	4.0%	2.4%	5.2%	0.0%
4	医師に相談した	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5	人権擁護委員に相談した	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6	公的な機関(県、市など)に相談した	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7	その他	3.0%	2.4%	3.4%	0.0%
8	どこにも誰にも相談しなかった	75.0%	90.2%	63.8%	100.0%
9	無回答	0.0%	2.4%	3.4%	0.0%

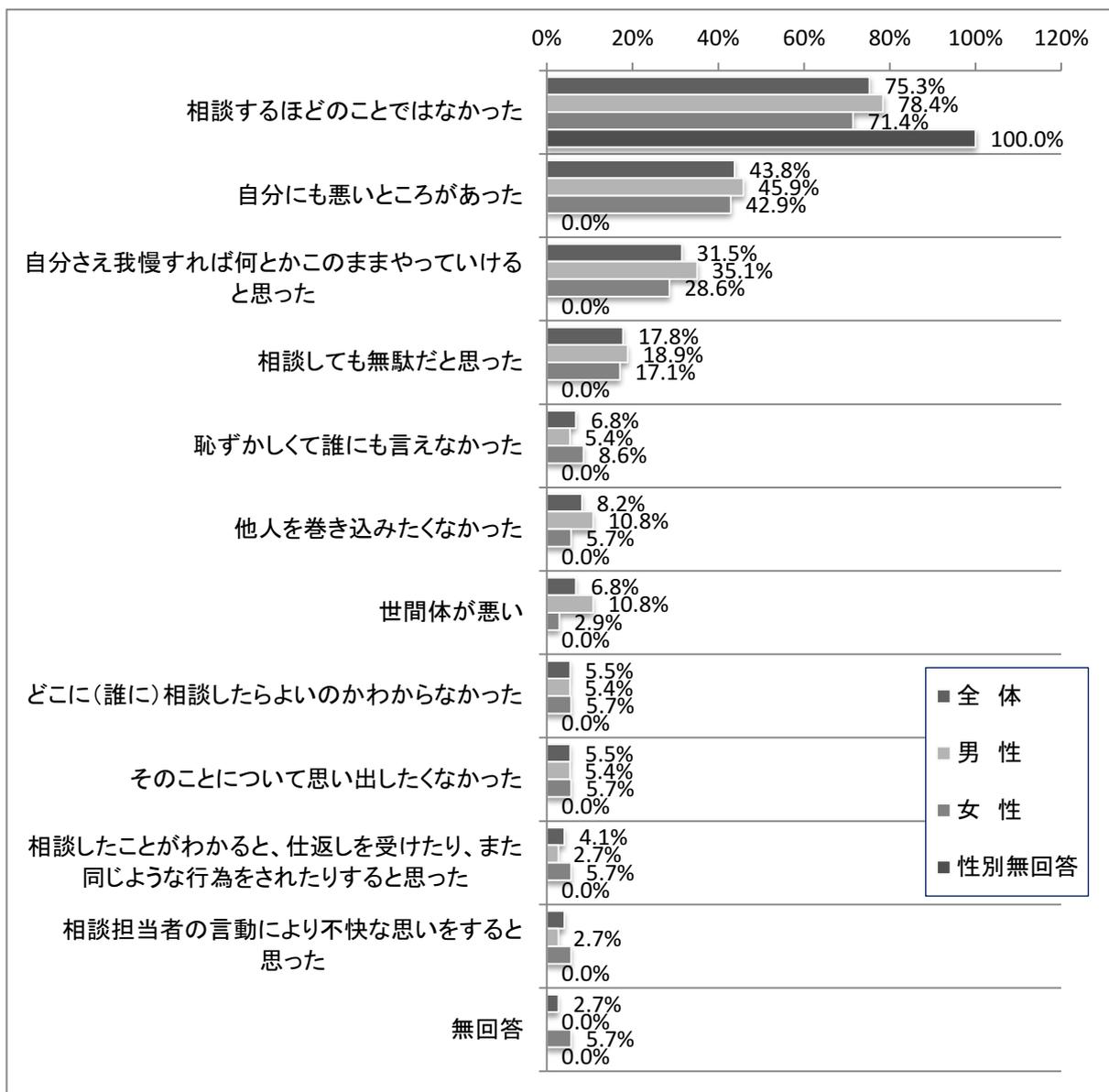


《分析》

- ◆全体として『どこにも誰にも相談しなかった』（75.0%）の割合が最も高くなっている。
- ◆性別で、女性は『どこにも誰にも相談しなかった』（63.8%）、『家族親戚に相談した』（36.2%）、『友人知人に相談した』（27.6%）の順で割合が高くなっており男性では、『どこにも誰にも相談しなかった』（90.2%）、『友人知人に相談した』（12.2%）の順で割合が高くなっている。

【問23-2】問23-1で「8 どこにも誰にも相談しなかった」とお答えの方にお聞きします。  
その理由は何ですか。（〇はいくつでも）

	項 目	全 体	男 性	女 性	性別無回答
1	相談するほどのことはなかった	75.3%	78.4%	71.4%	100.0%
2	自分にも悪いところがあった	43.8%	45.9%	42.9%	0.0%
3	自分さえ我慢すれば何とかこのままやっていたらと思った	31.5%	35.1%	28.6%	0.0%
4	相談しても無駄だと思った	17.8%	18.9%	17.1%	0.0%
5	恥ずかしくて誰にも言えなかった	6.8%	5.4%	8.6%	0.0%
6	他人を巻き込みたくなかった	8.2%	10.8%	5.7%	0.0%
7	世間体が悪い	6.8%	10.8%	2.9%	0.0%
8	どこに(誰に)相談したらよいのかわからなかった	5.5%	5.4%	5.7%	0.0%
9	そのことについて思い出したくなかった	5.5%	5.4%	5.7%	0.0%
10	相談したことがわかると、仕返しを受けたり、また同じような行為をされたりすると思った	4.1%	2.7%	5.7%	0.0%
11	相談担当者の言動により不快な思いをすと思った	4.1%	2.7%	5.7%	0.0%
12	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
13	無回答	2.7%	0.0%	5.7%	0.0%



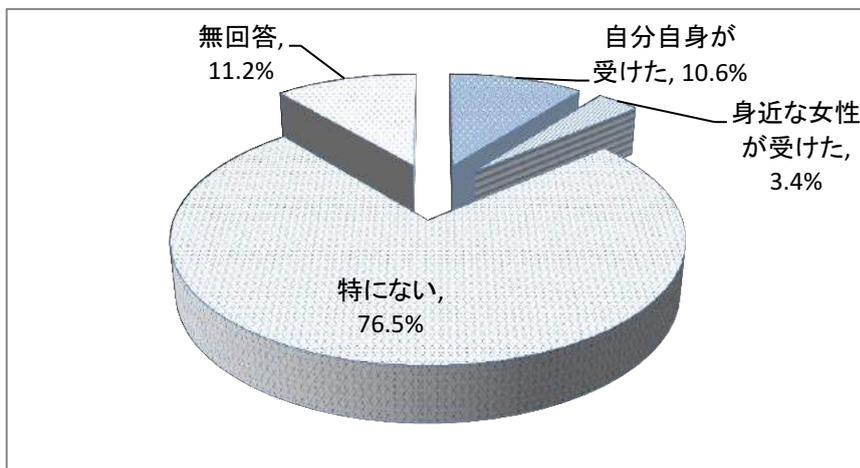
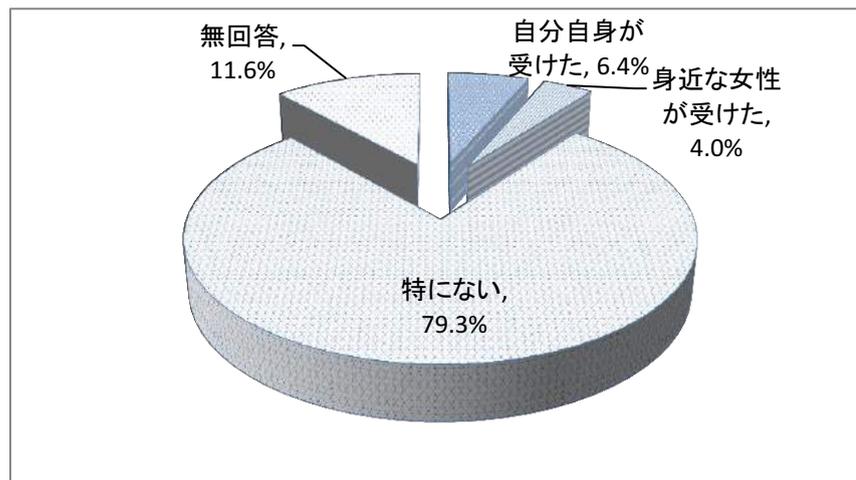
《分析》

- ◆性別で、男女ともに同じ順番で割合が高くなっており、『相談するほどのことではなかった』、『自分にも悪いところがあった』、『自分さえ我慢すれば何とかこのままやっていけると思った』が、それぞれ、女性では71.4%、42.9%、28.6%で、男性では78.4%、45.9%、35.1%となっている。
- ◆その他、女性では『相談しても無駄だと思った』（17.1%）、男性では『相談しても無駄だと思った』（18.9%）、『他人を巻き込みたくなかった』と『世間体が悪い』（10.8%）が同じ割合になっている。

【問24】 あなたは、セクシュアル・ハラスメントを受けたことがありますか。(○はい/○いいえ/○どちらでもない)

性別	自分自身が受けた	身近な女性が受けた	身近な男性が受けた	特にない	無回答
全体	6.4%	4.0%	0.0%	79.3%	11.6%
男	1.4%	4.7%	0.0%	82.4%	12.2%
女	10.6%	3.4%	0.0%	76.5%	11.2%
性別無回答	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

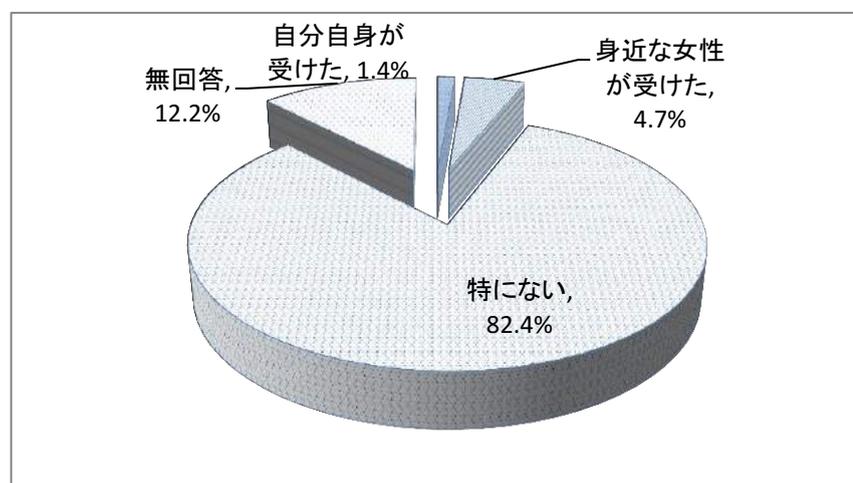
★全体



★女性

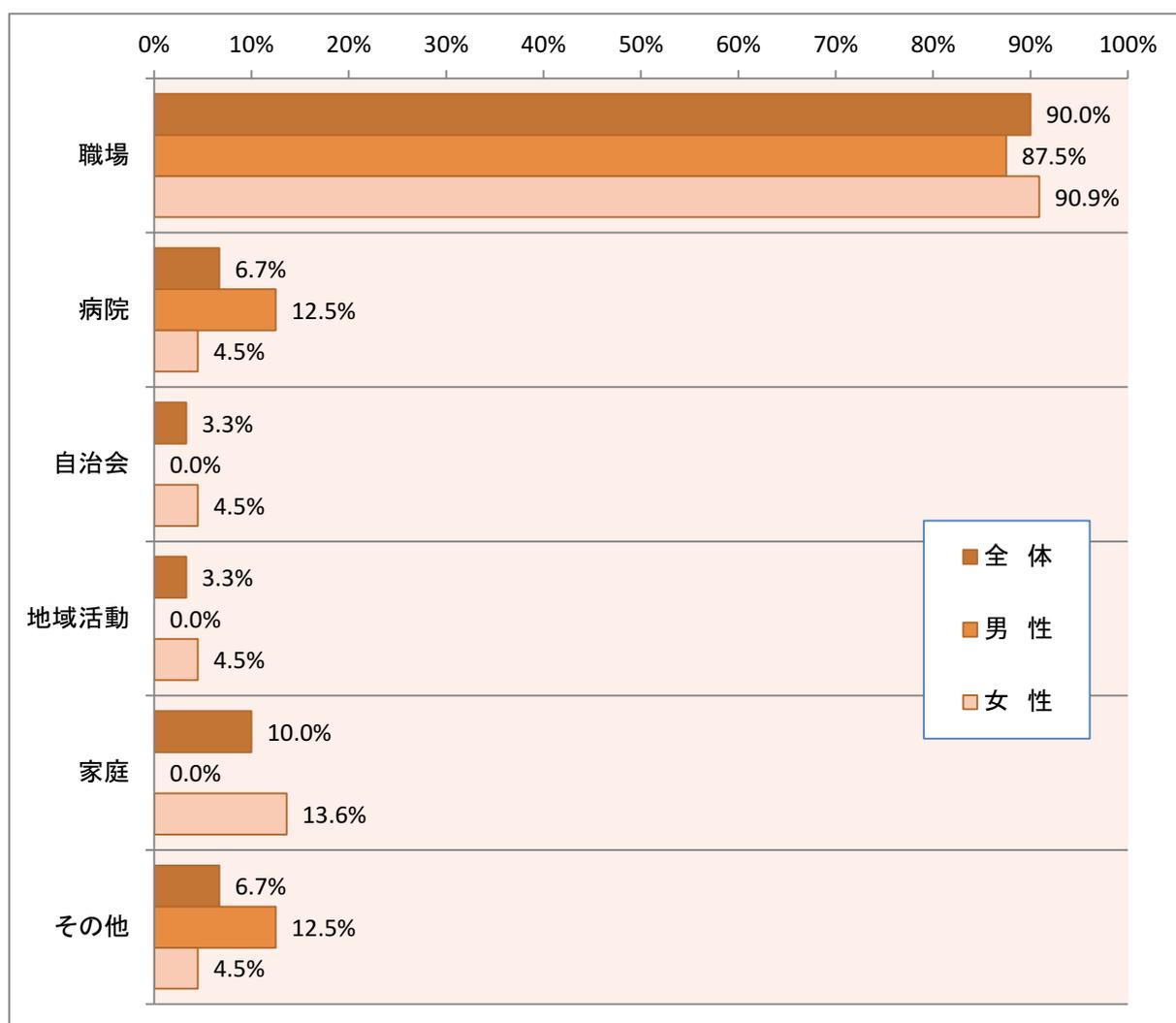
『自分自身が受けた』(10.6%)の割合が、1割を超えている。

★男性



【問24-1】 問24で、「1」～「3」の「受けた」とお答えの方におたずねします。  
どこで受けましたか。(〇はいくつでも)

	項 目	全 体	男 性	女 性	性別無回答
1	職場	90.0%	87.5%	90.9%	0.0%
2	病院	6.7%	12.5%	4.5%	0.0%
3	PTA	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4	自治会	3.3%	0.0%	4.5%	0.0%
5	地域活動	3.3%	0.0%	4.5%	0.0%
6	家庭	10.0%	0.0%	13.6%	0.0%
7	学校	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8	その他	6.7%	12.5%	4.5%	0.0%

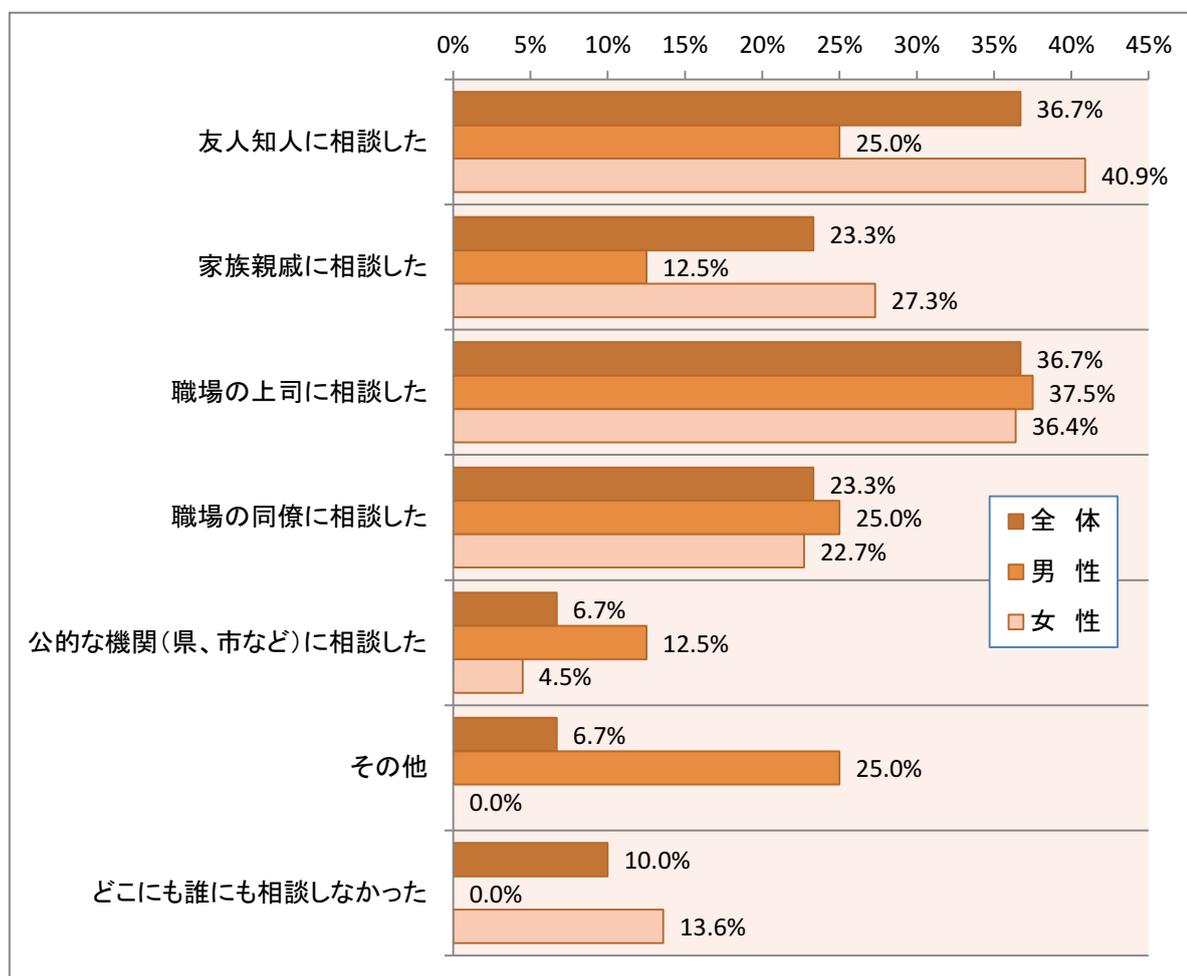


《分析》

◆性別で、「受けた」場所は、女性は『職場』（90.9%）の割合が突出して高くなっている。また、男性も『職場』（87.5%）となっており、前回調査（職場40%）の約2倍、と割合がとても高くなっている。

【問24-2】 問24で、「1」～「3」の「受けた」とお答えの方におたずねします。  
そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(〇はいくつでも)

	項 目	全 体	男 性	女 性	性別無回答
1	友人知人に相談した	36.7%	25.0%	40.9%	0.0%
2	家族親戚に相談した	23.3%	12.5%	27.3%	0.0%
3	警察、弁護士、家庭裁判所などに相談した	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4	職場の上司に相談した	36.7%	37.5%	36.4%	0.0%
5	職場の同僚に相談した	23.3%	25.0%	22.7%	0.0%
6	公的な機関(県、市など)に相談した	6.7%	12.5%	4.5%	0.0%
7	その他	6.7%	25.0%	0.0%	0.0%
8	どこにも誰にも相談しなかった	10.0%	0.0%	13.6%	0.0%

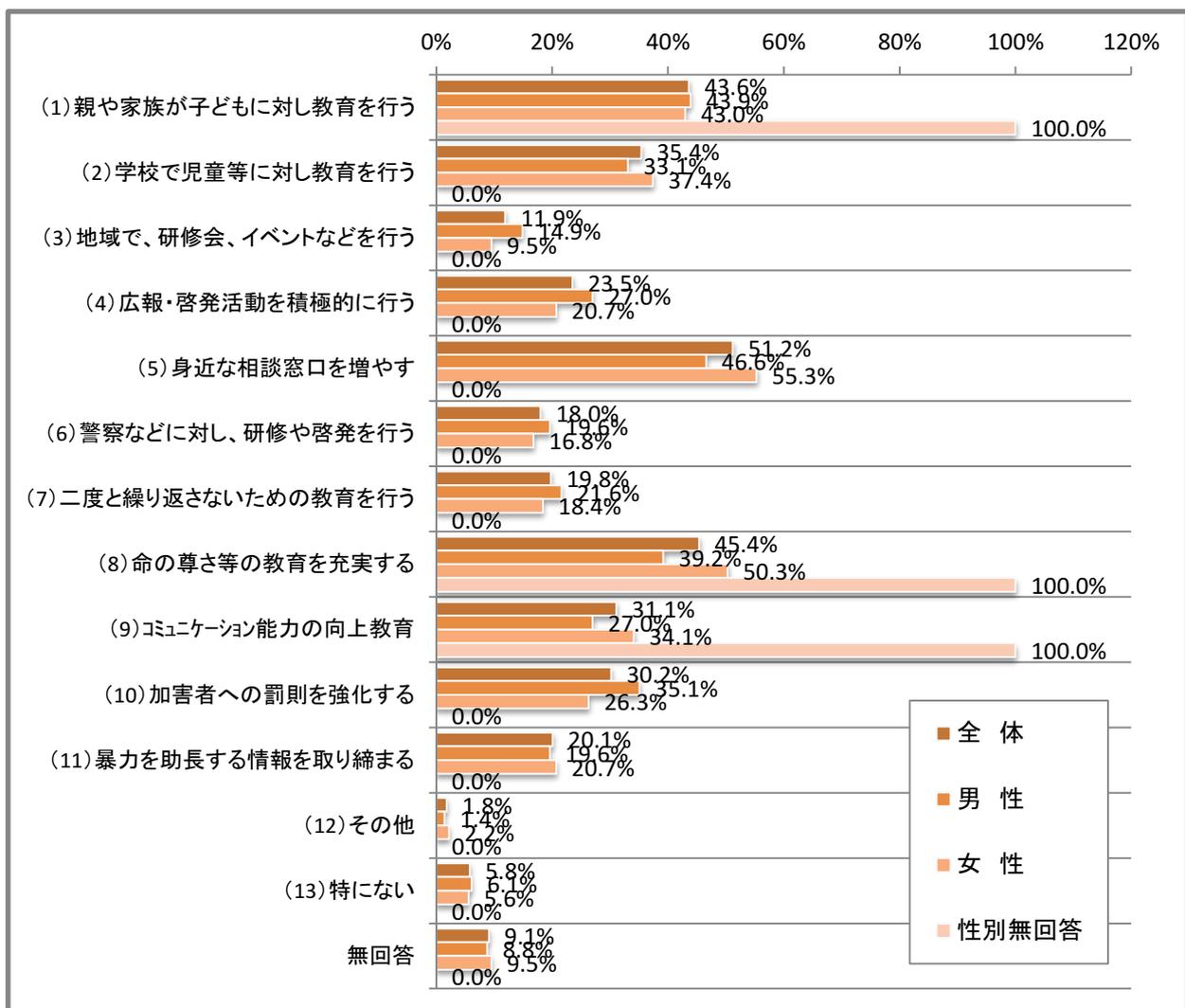


《分析》

◆性別で、女性は『友人知人に相談した』(40.9%)、『職場の上司』(36.4%)、『家族親戚に相談した』(27.3%)、『職場の同僚に相談した』(22.7%)の順で割合が高くなっており、男性は『職場の上司に相談した』(37.5%)が高くなっている。(前回調査で男性は、『どこにも誰にも相談しなかった』(80%)となっていた)

【問25】 男女間における暴力をなくすためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
 (○は5つまで)

項目	全体	男性	女性	性別無回答
1 家庭で親や家族が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う	43.6%	43.9%	43.0%	100.0%
2 学校・大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う	35.4%	33.1%	37.4%	0.0%
3 地域で、暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う	11.9%	14.9%	9.5%	0.0%
4 メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う	23.5%	27.0%	20.7%	0.0%
5 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	51.2%	46.6%	55.3%	0.0%
6 被害者を発見しやすい立場にある警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う	18.0%	19.6%	16.8%	0.0%
7 暴力を振るったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う	19.8%	21.6%	18.4%	0.0%
8 命の尊さや思いやりについての教育、学習機会を充実する	45.4%	39.2%	50.3%	100.0%
9 コミュニケーション能力を向上するための教育を行う	31.1%	27.0%	34.1%	100.0%
10 加害者への罰則を強化する	30.2%	35.1%	26.3%	0.0%
11 暴力を助長するおそれのある情報(雑誌、コンピューターソフトなど)を取り締まる	20.1%	19.6%	20.7%	0.0%
12 その他	1.8%	1.4%	2.2%	0.0%
13 特にない	5.8%	6.1%	5.6%	0.0%
14 無回答	9.1%	8.8%	9.5%	0.0%



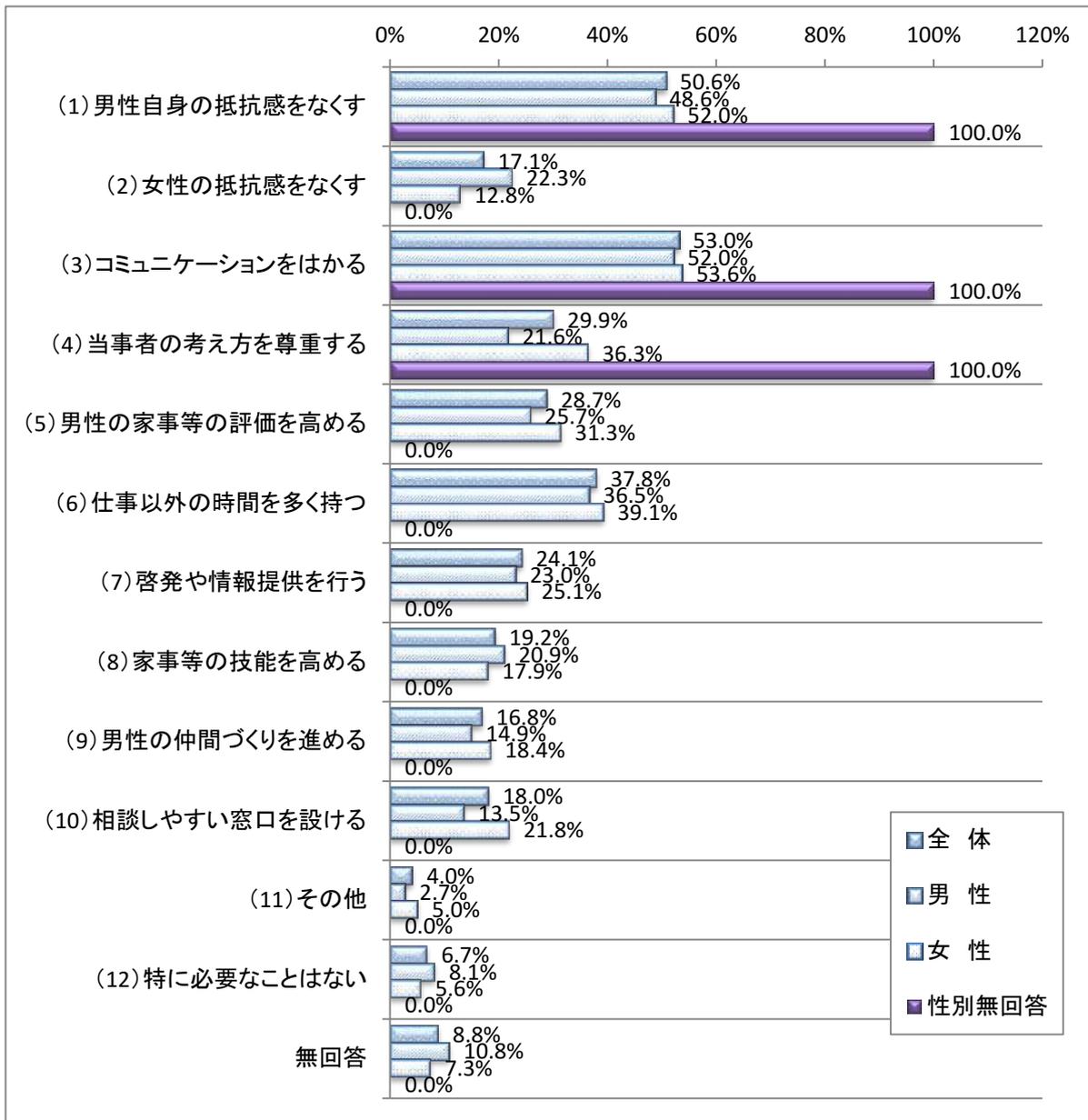
《分析》

- ◆全体として、『被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす』（51.2%）が最も高い割合となっている。
  
- ◆性別で、男女ともに同じ順番で割合が高くなっており、『被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす』、『家庭で親や家族が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う』、『命の尊さや思いやりについての教育、学習機会を充実する』がそれぞれ女性では69.3%、63.1%、62.6%、男性では46.6%、43.9%、39.2%となっている。
  
- ◆性別で、ほぼ同じような割合の項目が多い中、『加害者への罰則を強化する』が、女性は26.3%、男性は35.1%となっている。

## VIII 今後の取り組みについて

【問26】 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は5つまで)

項 目		全 体	男 性	女 性	性別無回答
1	男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす	50.6%	48.6%	52.0%	100.0%
2	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくす	17.1%	22.3%	12.8%	0.0%
3	夫婦や家族間での会話など、コミュニケーションをよくはかる	53.0%	52.0%	53.6%	100.0%
4	年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等について当事者の考え方を尊重する	29.9%	21.6%	36.3%	100.0%
5	社会の中で、男性による家事などについても、その評価を高める	28.7%	25.7%	31.3%	0.0%
6	労働時間の短縮や休暇を取得することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする	37.8%	36.5%	39.1%	0.0%
7	男性が家事などに関心を高めるよう啓発や情報提供を行う	24.1%	23.0%	25.1%	0.0%
8	研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高める	19.2%	20.9%	17.9%	0.0%
9	子育てや介護、地域活動を行うための、男性の仲間(ネットワーク)づくりを進める	16.8%	14.9%	18.4%	0.0%
10	仕事との両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設ける	18.0%	13.5%	21.8%	0.0%
11	その他	4.0%	2.7%	5.0%	0.0%
12	特に必要なことはない	6.7%	8.1%	5.6%	0.0%
13	無回答	8.8%	10.8%	7.3%	0.0%

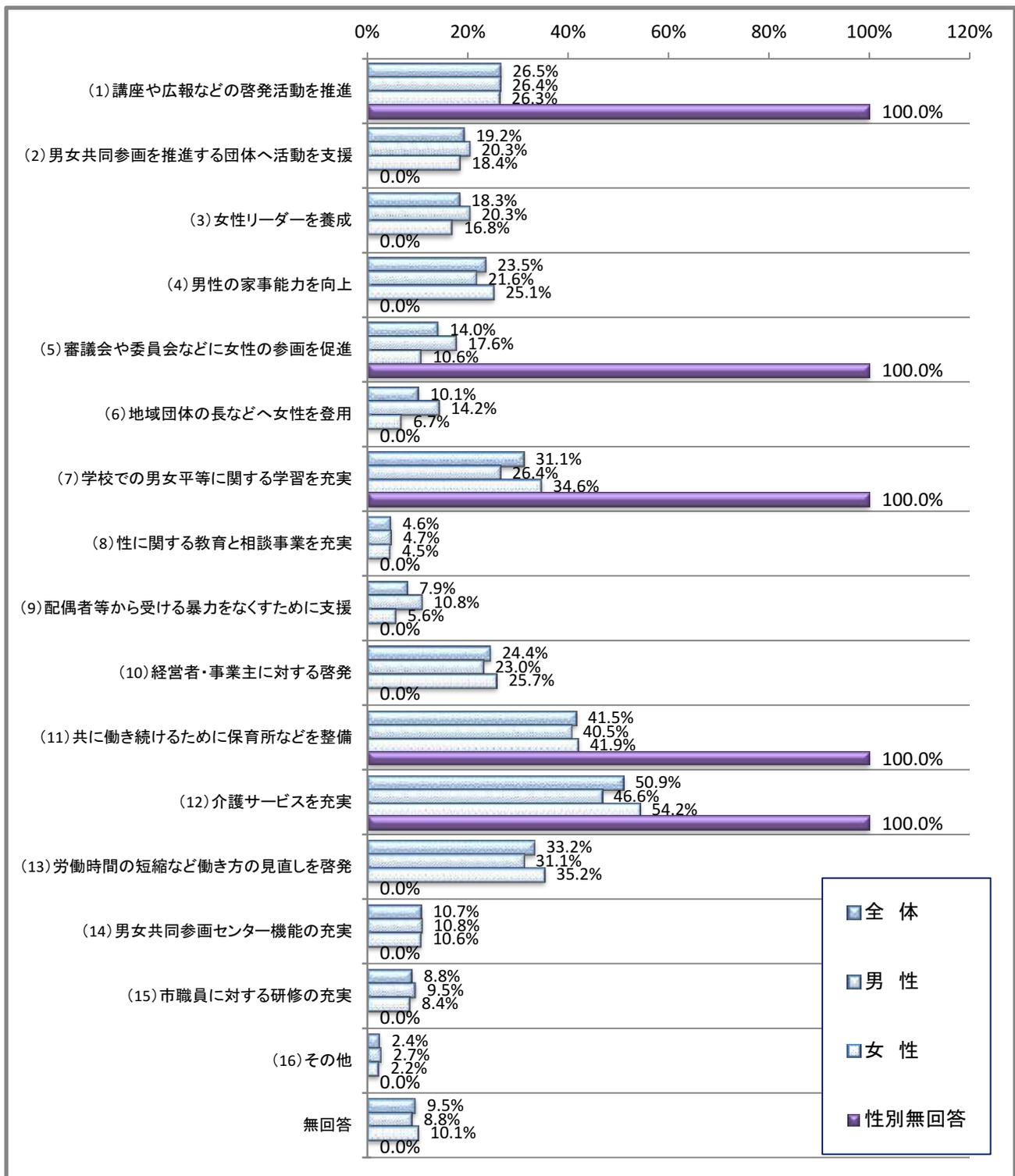


《分析》

- ◆全体として、『夫婦や家族間での会話など、コミュニケーションをよくはかる』（53.0%）が最も高い割合となっている。
- ◆性別では、男女ともに同じ順番で割合が高くなっており、『夫婦や家族間での会話などコミュニケーションをよくはかる』、『男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす』、『労働時間の短縮や休暇を取得することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする』、『男性が家事などに関心を高めるよう啓発や情報提供を行う』がそれぞれ、女性では97.2%、92.7%、69.3%、44.1%、男性では52.0%、48.6%、36.5%、23.0%の順に割合が高くなっている。

【問27】男女共同参画社会を実現するために、境港市はどのようなことに取り組んでいけばよいと思いますか。(〇は5つまで)

項 目		全 体	男 性	女 性	性別無回答
1	講座や広報などの啓発活動を推進する	26.5%	26.4%	26.3%	100.0%
2	男女共同参画を推進する団体へ活動を支援する	19.2%	20.3%	18.4%	0.0%
3	女性リーダーを養成する	18.3%	20.3%	16.8%	0.0%
4	男性の家事能力を向上させる	23.5%	21.6%	25.1%	0.0%
5	審議会や委員会などに女性の参画を促進させる	14.0%	17.6%	10.6%	100.0%
6	地域団体の長などへ女性を登用する	10.1%	14.2%	6.7%	0.0%
7	学校での男女平等に関する学習を充実する	31.1%	26.4%	34.6%	100.0%
8	性に関する教育と相談事業を充実する	4.6%	4.7%	4.5%	0.0%
9	配偶者や恋人等から受ける暴力をなくすために支援する	7.9%	10.8%	5.6%	0.0%
10	経営者・事業主に対する男女平等について啓発する	24.4%	23.0%	25.7%	0.0%
11	男女が共に働き続けるために保育所などを整備する	41.5%	40.5%	41.9%	100.0%
12	介護が必要な高齢者や病人の施設やサービスを充実する	50.9%	46.6%	54.2%	100.0%
13	労働時間の短縮や休暇の取得など、働き方の見直しを啓発する	33.2%	31.1%	35.2%	0.0%
14	男女共同参画センター機能の充実を図る	10.7%	10.8%	10.6%	0.0%
15	市職員に対する男女共同参画に係る研修の充実	8.8%	9.5%	8.4%	0.0%
16	その他	2.4%	2.7%	2.2%	0.0%
17	無回答	9.5%	8.8%	10.1%	0.0%



《分析》

◆全体としては、『介護が必要な高齢者や病人の施設やサービスを充実する』（50.9%）の割合が最も高くなっている。

◆性別では男女ともに、同じ順番で割合が高くなっており、『介護が必要な高齢者や病人の施設やサービスを充実する』、『男女が共に働き続けるために保育所などを整備する』、『労働時間の短縮や休暇の取得など、働き方の見直しを啓発する』、『学校での男女平等に関する学習を充実する』がそれぞれ、女性では54.2%、41.9%、35.2%、34.6%、男性では46.6%、40.5%、31.1%、26.4%の順に高くなっている。